

羽生市公共施設白書

平成28年3月

目次

1章	はじめに	1
1.	白書作成の背景と目的	1
(1)	背景	1
(2)	公共施設白書作成の目的	1
2.	対象施設	2
2章	市の概況	4
1.	位置・地勢	4
2.	市の沿革	5
3.	人口動向	6
(1)	人口の推移と将来人口の見通し	6
4.	財政状況	7
(1)	歳入の状況（普通会計）	7
(2)	歳出の状況（普通会計）	8
(3)	公共施設にかかる投資的経費の状況（普通会計）	9
3章	公共施設の状況	10
1.	保有の状況	10
(1)	施設数と施設規模	10
(2)	建築年と老朽化	11
(3)	耐震化状況	12
2.	利用状況	14
(1)	利用者数の推移	15
(2)	児童・生徒数の推移	16
(3)	貸室等の利用状況	17
(4)	公営住宅の入居状況	18
3.	運営の状況	19
4.	将来の更新等費用	20
5.	施設分類別の状況	22
(1)	市民文化系施設	24
(2)	社会教育系施設	28
(3)	スポーツ・レクリエーション系施設	30
(4)	産業系施設	32
(5)	学校教育系施設	44

(6) 子育て支援施設	48
(7) 保健・福祉施設	52
(8) 行政系施設	54
(9) 公営住宅	56
(10) 供給処理施設	58
(11) その他	62
4章 市民アンケート調査結果	64
1. 概要	64
2. 公共施設の利用状況	65
3. 将来の公共施設に関する方策	66
4. 今後の公共施設のあり方	67
5. 公共施設の削減の考え方	68
5章 公共施設の課題	69
1. 公共施設を取り巻く現状からみた課題	69
(1) 人口の推移と見通しからみた課題	69
(2) 財政状況からみた課題	69
(3) 公共施設の現状からみた課題	69
2. 市民アンケート調査結果からみた課題	70
(1) 施設分類ごとの課題	70
(2) 公共施設の維持管理等に関する課題	70
3. 課題のまとめと検討の方向性	71
6章 資料編	73
1. 対象施設一覧	74
2. 用語集	82

※文章及び、図表の数値は、端数処理をしているため合計と一致しない場合がある

1章 はじめに

1. 白書作成の背景と目的

(1) 背景

近年、人口減少や少子高齢化の進行などに伴い、社会構造や市民ニーズが変化してきています。本市では、昭和40年代から60年代の人口増加に伴う需要の増大に応じて学校や市営住宅などの公共施設が整備されてきましたが、これらの施設は建築後30年以上経過したものが多く、老朽化の進行や耐震性不足に伴う施設の改修や更新などを図っていく必要が生じています。

一方、人口減少に伴う税収の伸び悩みが予測されるなかで、高齢化社会の進行に伴う社会福祉関連経費の増大による財政の逼迫が懸念されています。

このような背景の中、公共施設の全体を把握し、長期的な視点をもって、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の適切な配置を実現することが求められています。

(2) 公共施設白書作成の目的

人口減少や少子高齢化の進行に伴い、税収の伸び悩みや支出の増加が懸念される中、公共施設の維持管理においては、限られた予算の中で、より効率的な施設の管理・運営が求められています。

そのため、本市が保有する公共施設の基本情報・経費・利用状況等を把握し、公共施設の維持管理等に関する課題を取りまとめ、今後、公共施設マネジメントを推進していくうえでの基礎的な情報の集約を図ることを目的として「羽生市公共施設白書」を作成します。

2. 対象施設

本白書では本市が有する 84 施設、144 棟の公共施設を対象とし、以下の 11 分類でとりまとめています。

本白書の対象範囲

施設分類	施設名	施設数	棟数
1 市民文化系施設	羽生市産業文化ホール	15 施設	16 棟
	羽生市中央公民館、羽生市新郷公民館、羽生市須影公民館、 羽生市岩瀬公民館、羽生市川俣公民館、羽生市井泉公民館、 羽生市手子林公民館、羽生市三田ヶ谷公民館、羽生市村君公民館		
	羽生市須影集会所、羽生市稲子集会所、 羽生市桑崎集会所、羽生市下岩瀬集会所、 羽生市西新田集会所		
2 社会教育系施設	図書館・郷土資料館	2 施設	3 棟
	お種さん資料館		
3 スポーツ・レクリエーション系施設	羽生市体育館	2 施設	6 棟
	羽生中央公園		
4 産業系施設	羽生市民プラザ、羽生勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）	6 施設	10 棟
	羽生市女性センター（パープル羽生）		
	羽生市三田ヶ谷農林公園「キャッセ羽生」		
	羽生市三田ヶ谷農村センター		
	道の駅はにゅう		
5 学校教育系施設	羽生北小学校、新郷第一小学校、新郷第二小学校、 須影小学校、岩瀬小学校、川俣小学校、井泉小学校、 手子林小学校、三田ヶ谷小学校、村君小学校、羽生南小学校	16 施設	55 棟
	西中学校、南中学校、東中学校		
	羽生市学校給食センター		
	准看護学校		
6 子育て支援施設	羽生市第一保育所、羽生市第二保育所、羽生市第三保育所、 羽生市第四保育所、羽生市第六保育所、羽生市第七保育所	11 施設	11 棟
	羽生南学童保育室、岩瀬学童保育室、羽生北学童保育室、 新郷第1学童保育室、新郷第2学童保育室		
7 保健・福祉施設	羽生市保健センター、羽生市手子林老人憩の家、羽生市井泉老人憩の家	5 施設	6 棟
	羽生市清和園、羽生市もくせいの里		
8 行政系施設	羽生市役所	16 施設	20 棟
	羽生市消防本部、羽生市消防署 西分署、羽生第1消防センター、 羽生第2消防センター、新郷消防センター、岩瀬消防センター、 川俣消防センター、井泉消防センター、須影消防センター、 手子林第1消防センター、手子林第2消防センター、村君消防センター、 三田ヶ谷消防センター		
	羽生駅自由通路、西羽生駅自由通路		
9 公営住宅	宮田団地、南羽生団地、利根ヒルズこすか団地、旭町団地	4 施設	10 棟
10 供給処理施設	羽生市清掃センター	4 施設	4 棟
	粗大ごみ処理場		
	羽生市汚泥再生処理センター		
	羽生市一般廃棄物最終処分場		
11 その他	斎場	3 施設	3 棟
	旧し尿処理場、旧第五保育所		
合計		84 施設	144 棟

※施設分類は、総務省分類（公共施設等更新費用試算ソフト仕様書）による

平成 25 年度末時点



2章 市の概況

1. 位置・地勢

本市は、関東地方のほぼ中央、埼玉県北東部に位置し、東と南は加須市、西は行田市、北は利根川を隔てて群馬県に隣接しています。市域は東西 10.25km、南北 6.71km、面積 58.64km²です。

鉄道は、東武伊勢崎線が市域を南北に走り、羽生駅から浅草駅までは約 80 分、また、JR 久喜駅を經由して大宮駅へ約 40 分、東京駅へ約 80 分で結ばれています。秩父鉄道は羽生駅を起点とし、熊谷駅で JR 高崎線に連絡しています。

道路は、市の西部を国道 122 号が南北に通っており、市の南部を国道 125 号バイパスが東西に通っています。平成 4 年、東北自動車道に羽生インターチェンジが開設され、東京方面・宇都宮方面の各都市へ短時間で結ばれています。これらの幹線道路を中心に県道及び市道がネットワークされています。

本市の位置



2. 市の沿革

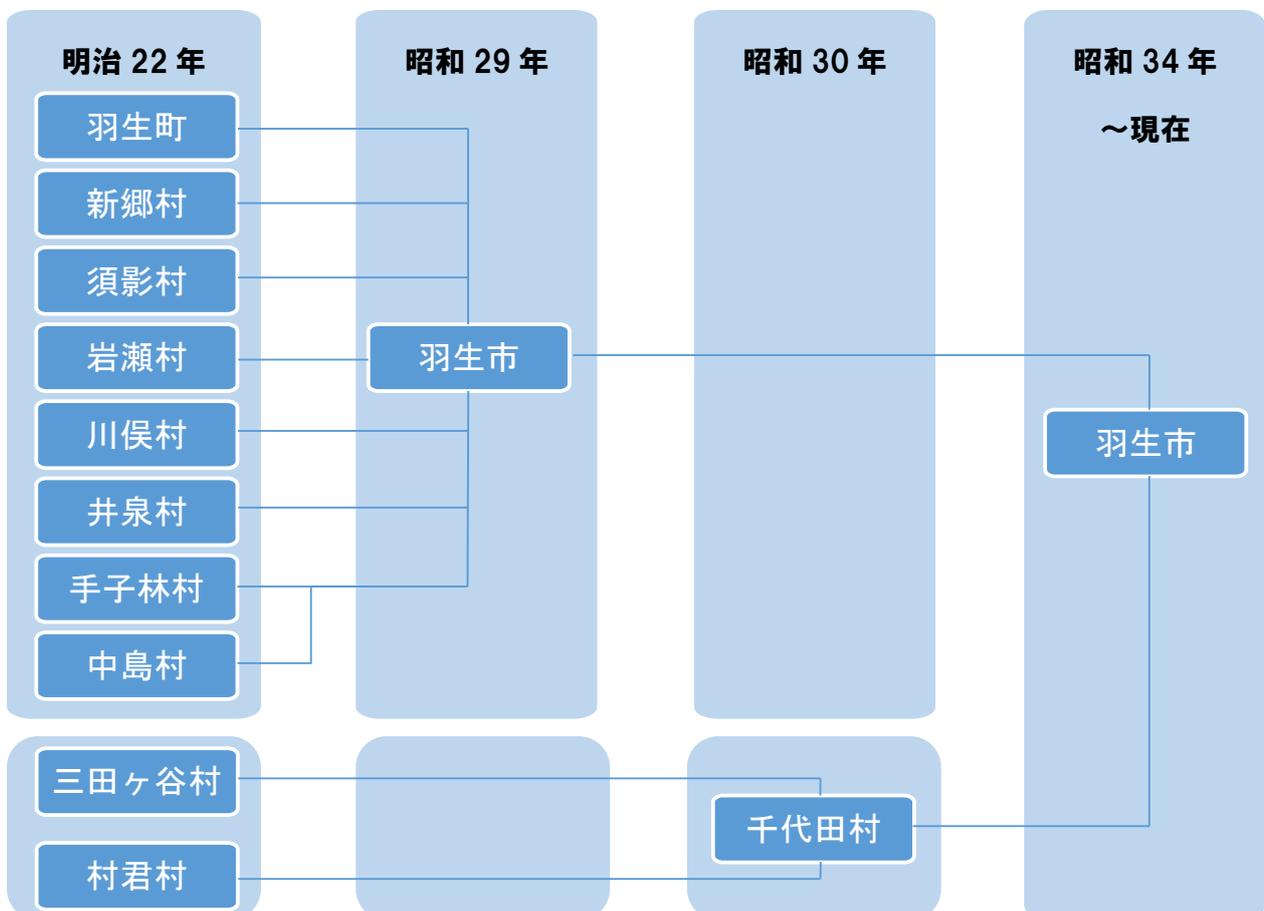
明治 22 年に町村制施行により羽生町、新郷村、須影村、岩瀬村、川俣村、井泉村、手子林村、中島村の 1 町 7 村が成立しました。その後変遷をたどり、昭和 29 年に 1 町 6 ヶ村が合併し、県下 16 番目、全国 434 番目の市として羽生市が誕生しました。

その後、昭和 30 年に三田ヶ谷村、村君村が合併し千代田村となり、昭和 34 年にはその千代田村が羽生市に編入合併し、現在の羽生市に至っています。

本市の沿革

年月日	沿革
明治 22 年 4 月 1 日	町村制施行により、32 村が合併し、羽生町、新郷村、須影村、岩瀬村、川俣村、井泉村、手子林村、中島村の 1 町 7 村となる
昭和 29 年 9 月 1 日	羽生町、6 ヶ村が合併し、県下 16 番目、全国 434 番目の市として羽生市が誕生
昭和 30 年 1 月 1 日	三田ヶ谷村、村君村の合併により、千代田村となる
昭和 34 年 4 月 1 日	千代田村が羽生市に編入合併

本市の沿革



3. 人口動向

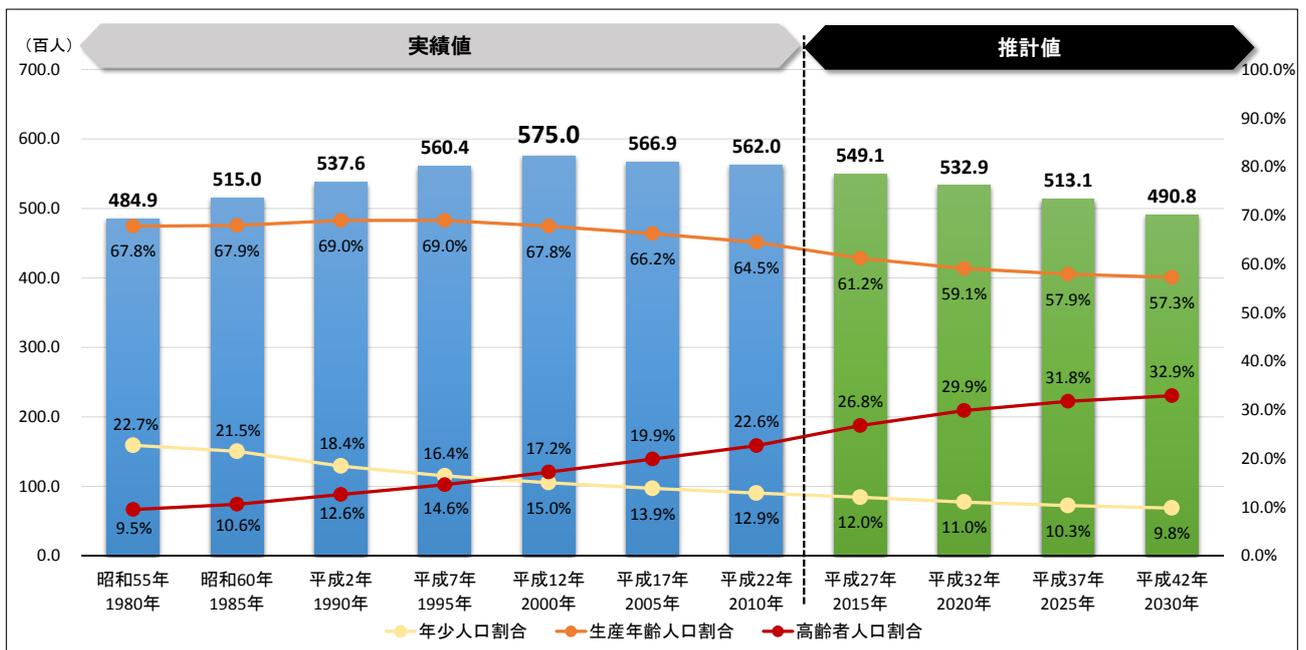
(1) 人口の推移と将来人口の見通し

<人口減少、少子高齢化の進行>

本市の国勢調査人口は平成 12 年まで一貫して増加傾向を示し、その後減少に転じ、平成 22 年では約 5 万 6 千人まで減少しています。将来の人口も一貫して減少傾向となり、平成 42 年では、約 4 万 9 千人まで減少する見通しとなっています。

年齢 3 階層別将来人口割合をみると、平成 22 年の年少人口は 12.9%、65 歳以上の高齢者人口は 22.6%であり、平成 42 年では年少人口が 9.8%に減少、高齢者人口 32.9%に増加し、さらに少子高齢化が進行する見通しとなっています。

総人口と年齢 3 階層別人口割合の推移と見通し



出典：国勢調査（昭和 55 年～平成 22 年）、国立社会保障・人口問題研究所（平成 27～平成 42 年）

※年少人口：15 歳未満の人口、生産年齢人口：15 歳以上 65 歳未満の人口、高齢者人口：65 歳以上の人口

4. 財政状況

(1) 歳入の状況（普通会計）

<現在の財源を確保していくことが厳しい状況へ>

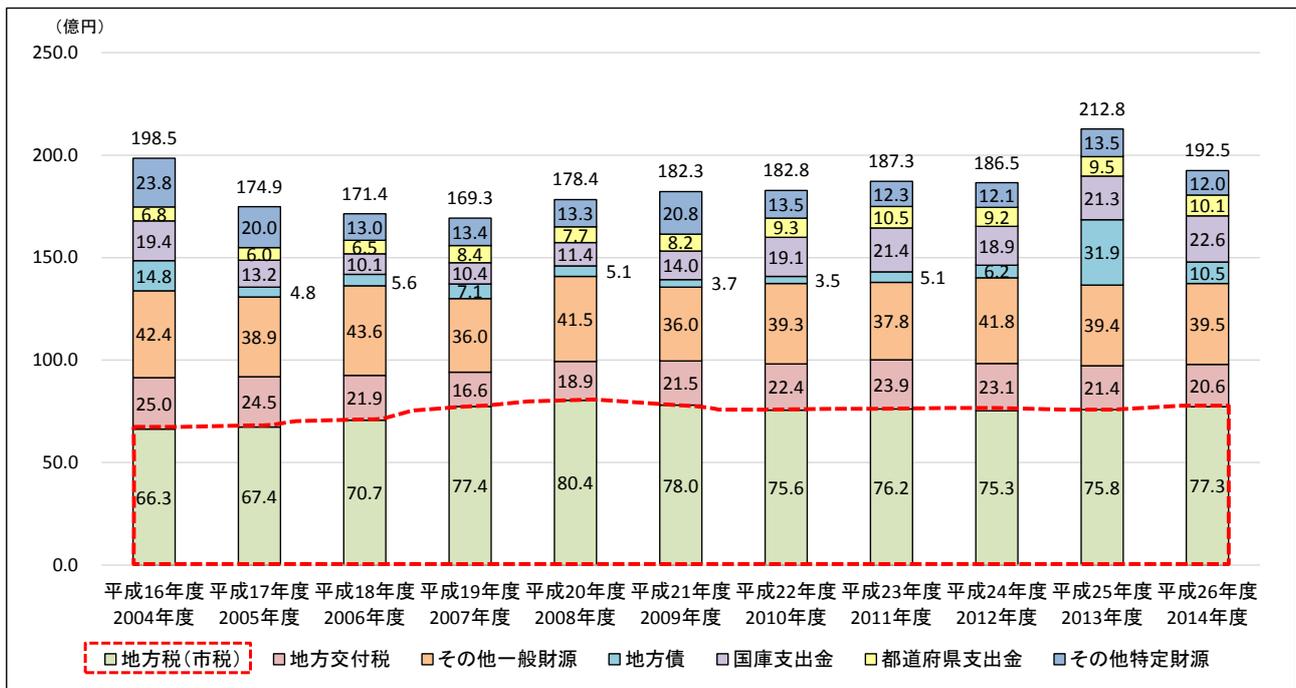
平成17年度から平成19年度まではおおむね170億円程度で推移しており、平成20年度以降は、特異的な値である平成25年度を除くと180億円から190億円前後で推移しています。

地方税（市税）は、平成20年度の約80億円をピークに、その後は75億円から77億円程度で推移しています。

市民税収入では、国の「三位一体の改革」により、平成19年1月から所得税（国税）が地方税に税源移譲されました。

市の歳入の根幹を占める地方税（市税）収入は、今後の高齢化の進展、生産年齢人口の減少などを踏まえると、大幅な伸びは期待できない状況となっており、現在の財源を確保していくことは厳しい状況にあります。

歳入の推移（普通会計）



【地方税】

市が収入する税の総称。市民税（個人、法人）、固定資産税、軽自動車税等

【地方交付税】

国と地方の財源調整と地域間の財源の偏りを調整するため、国が地方へ交付する交付金

【国庫支出金（都道府県支出金）】

国や県から市へ交付される補助金等の総称

(2) 歳出の状況（普通会計）

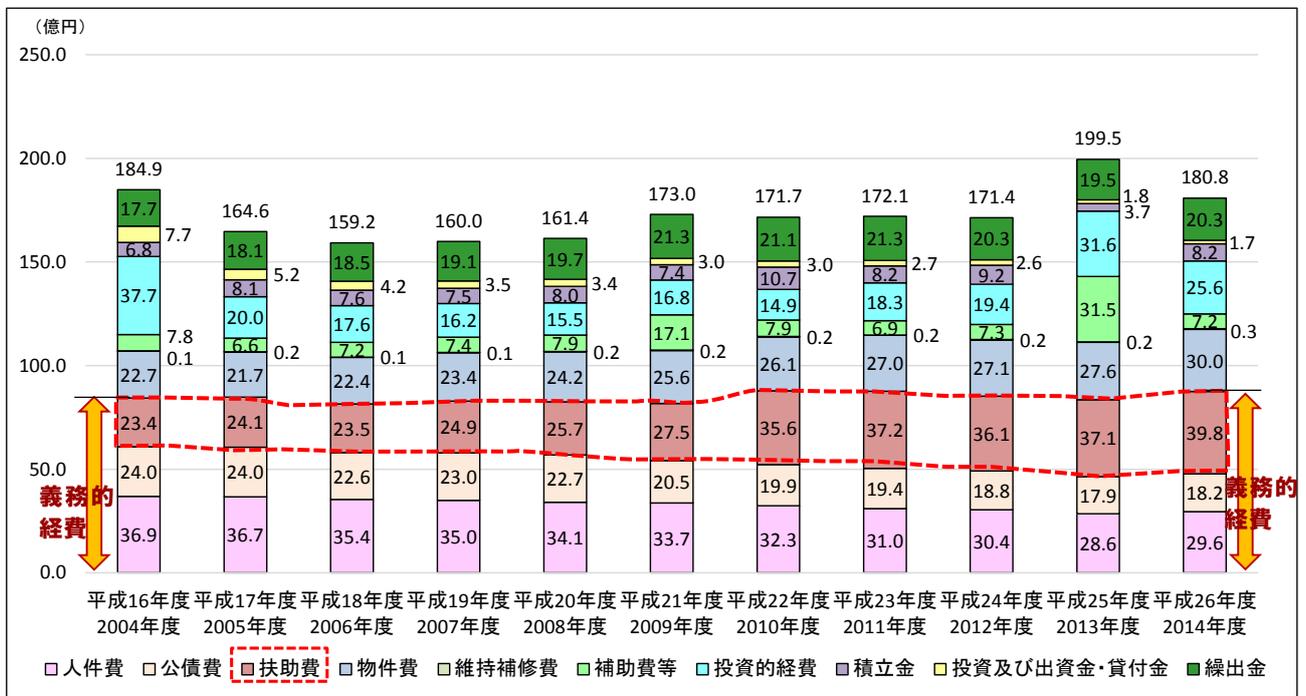
<義務的経費の扶助費は増加傾向>

平成17年度から平成20年度までは、おおむね160億円程度で推移しており、平成21年度以降は、特異的な値である平成25年度を除くと170億円から180億円程度で推移しています。

歳出の内訳をみると、義務的経費の人員費、公債費は減少傾向にありますが、扶助費は増加傾向を示し、平成26年度で約40億円、平成16年度に比べて約70%の増加となっています。

義務的経費である扶助費が増加傾向にあり、今後においても高齢化の進行などによる増加が見込まれます。そのため、財政状況は更に厳しいものとなり、公共施設等の整備に要する経費である投資的経費についても、現在の水準を維持していくことが困難になることが想定されます。

歳出の推移（普通会計）



【義務的経費】

支出が義務的で任意では削減できない経費であり、歳出のうち人員費、公債費、扶助費

【公債費】

地方自治体が借り入れた地方債（借金）の元金と利子の償還（返済）金及び一時借入金の利子の合算額

【扶助費】

社会保障制度の一環として、生活保護法などの各種法令に基づいて支払われる経費、及び地方公共団体が単独で行っている住民福祉に要する経費

【物件費】

消耗品などの物品購入費や、光熱水費、委託などに要する経費

【投資的経費】

学校、ごみ処理施設等、将来に残る施設等を整備するための経費

【繰出金】

一般会計から特別会計等に対して支払う経費であり、本白書では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療（老人保健医療）等に対する一般会計の負担金

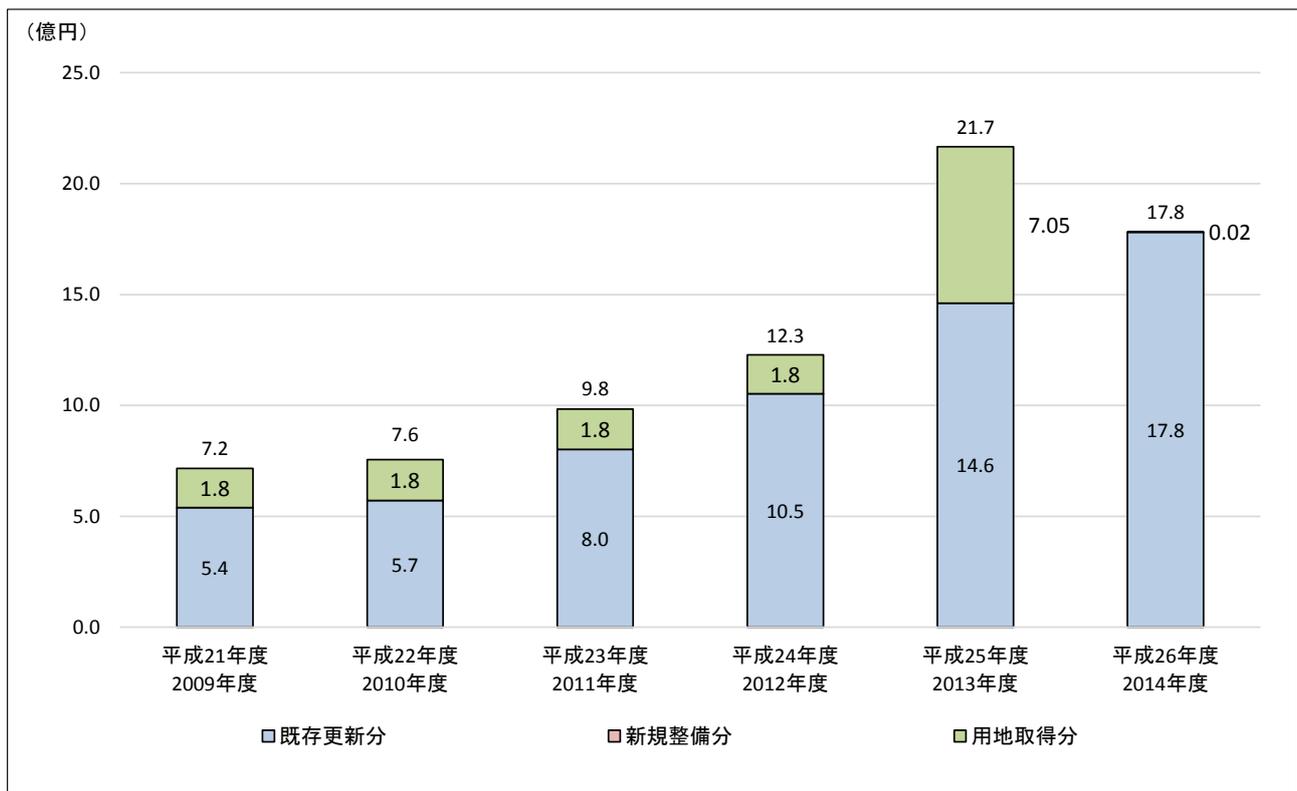
(3) 公共施設にかかる投資的経費の状況（普通会計）

＜一貫して増加傾向にある投資的経費＞

公共施設にかかる投資的経費は平成 22 年度以降、一貫して増加傾向を示しており、平成 26 年度では約 18 億円となっています。

今後は、人口減少や高齢化社会の進行により市の財政状況が一層厳しくなることが想定され、公共施設の維持管理にかかる財源の確保も困難になることから、公共施設の総量の縮減、事業コストの削減などに取り組む必要があります。

投資的経費の推移（普通会計）



平成 26 年度末時点

※既存更新分：公共施設の建替え及び改修など、既存の公共施設を更新等するための経費

※新規整備分：新たな公共施設を建設するための経費

※用地取得分：公共施設を建設するために用地を取得するための経費等

3章 公共施設の状況

1. 保有の状況

(1) 施設数と施設規模

<公共施設の延床面積の半数近くを学校教育系施設が占める>

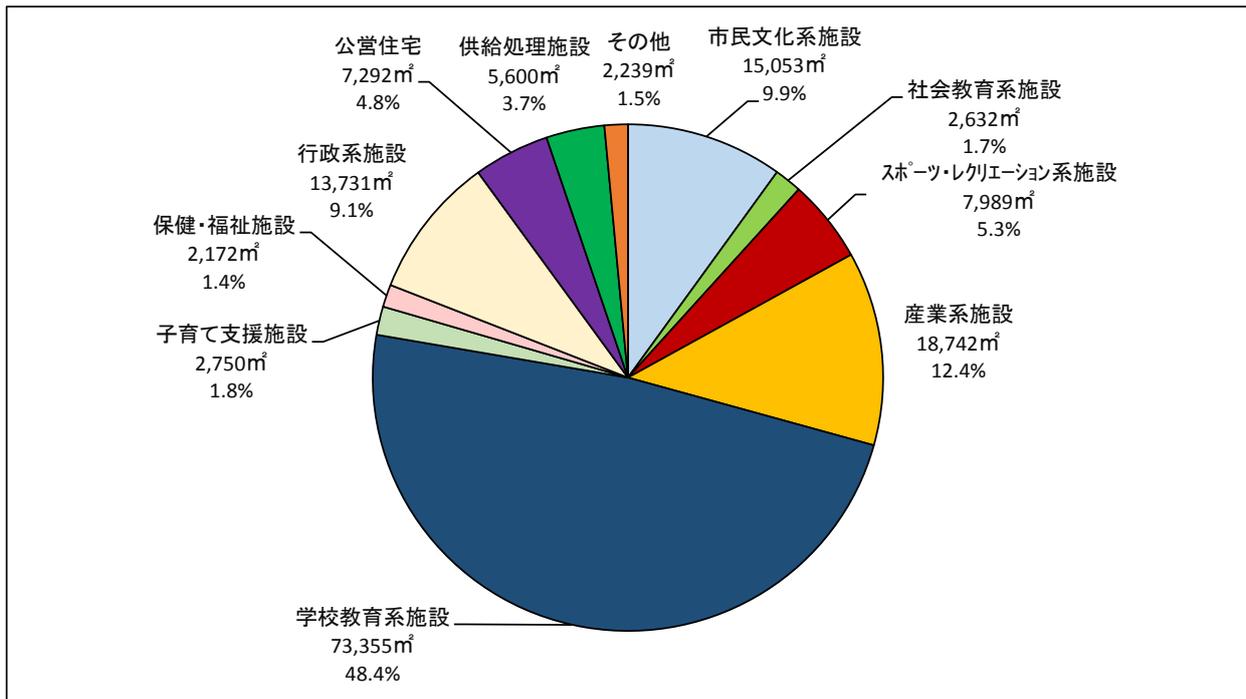
本市の公共施設は 84 施設で、総延床面積は約 15.2 万㎡となっています。その主な内訳は、学校教育系施設が約 7.3 万㎡（48.4%）と最も多く、次いで産業系施設が約 1.9 万㎡（12.4%）、市民文化系施設が約 1.5 万㎡（9.9%）の順となっています。

施設数と施設規模

施設分類	施設数	構成比 (%)	延床面積 (㎡)	構成比 (%)
市民文化系施設	15 施設	17.9	15,053	9.9
社会教育系施設	2 施設	2.4	2,632	1.7
スポーツ・レクリエーション系施設	2 施設	2.4	7,989	5.3
産業系施設	6 施設	7.1	18,742	12.4
学校教育系施設	16 施設	19.0	73,355	48.4
子育て支援施設	11 施設	13.1	2,750	1.8
保健・福祉施設	5 施設	6.0	2,172	1.4
行政系施設	16 施設	19.0	13,731	9.1
公営住宅	4 施設	4.8	7,292	4.8
供給処理施設	4 施設	4.8	5,600	3.7
その他	3 施設	3.6	2,239	1.5
合計	84 施設	100.0	151,553	100.0

平成 25 年度末時点

施設分類別延床面積



(2) 建築年と老朽化

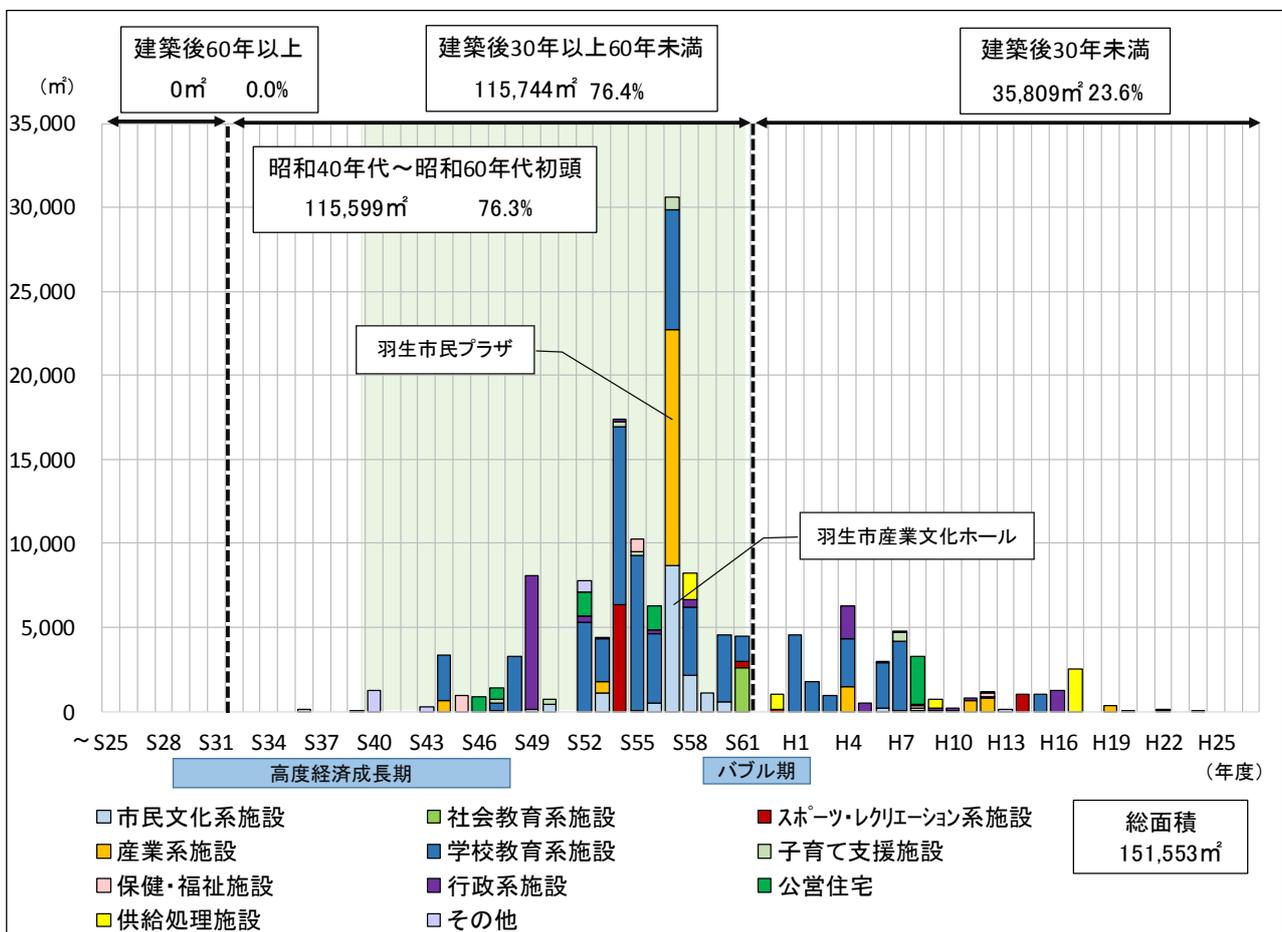
＜昭和40年代から昭和60年代初頭に整備が集中している公共施設＞

本市の公共施設は昭和40年代から昭和60年代初頭に集中的に整備されており、この期間に整備された公共施設の延床面積は約12万㎡で、公共施設全体の76.3%を占めています。

また、建築後30年以上経過した施設は約12万㎡となっており、公共施設全体の76.4%を占めています。

一般的に、鉄筋コンクリート造の建物は、建築後30年程度で大規模改修、60年程度で建替えが必要になるとされており、今後、昭和40年代～昭和60年代初頭に整備された施設の大規模改修や更新に対応するための費用が集中的に発生し、財政負担が増大することが懸念されます。

公共施設の建築年度別延床面積



平成25年度末時点

(3) 耐震化状況

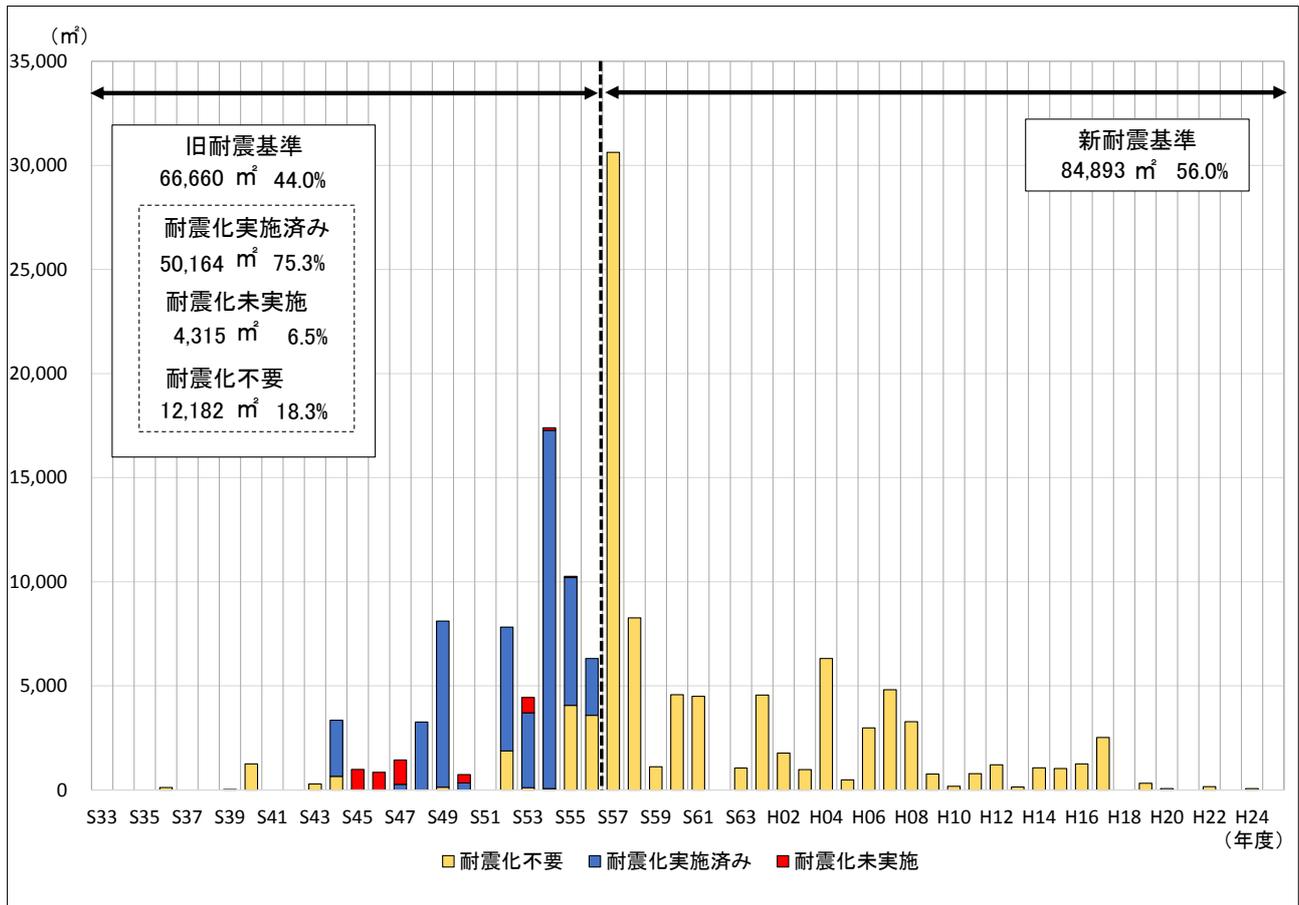
<耐震性を有している公共施設の延床面積の割合は約 97%>

①公共施設全体の耐震化の状況

新耐震基準の公共施設の延床面積は 84,893 m² (56.0%) です。

旧耐震基準の公共施設の延床面積は 66,660 m² (44.0%) であり、そのうち耐震化未実施の公共施設の延床面積は 4,315 m² (6.5%) です。

公共施設の耐震化状況



※耐震化不要：旧耐震基準で建築された施設のうち、耐震診断により耐震性を有していると判定された施設など

※旧耐震基準：建築物の設計において適用される地震（中地震：震度 5 程度）に耐えることのできる構造の基準で、昭和 56 年 5 月 31 日までの建築確認において適用されていた基準

※新耐震基準：建築物の設計において適用される地震（大地震：震度 6 強）に耐えることのできる構造の基準で、昭和 56 年 6 月 1 日以降の建築確認において適用されている基準

②施設分類別の耐震化の状況

施設分類別にみると、子育て支援施設、供給処理施設、その他は、耐震性を有している施設の割合が100%となっています。

保健・福祉関連施設は、耐震化未実施の施設の延床面積の割合が45.3%となっています。

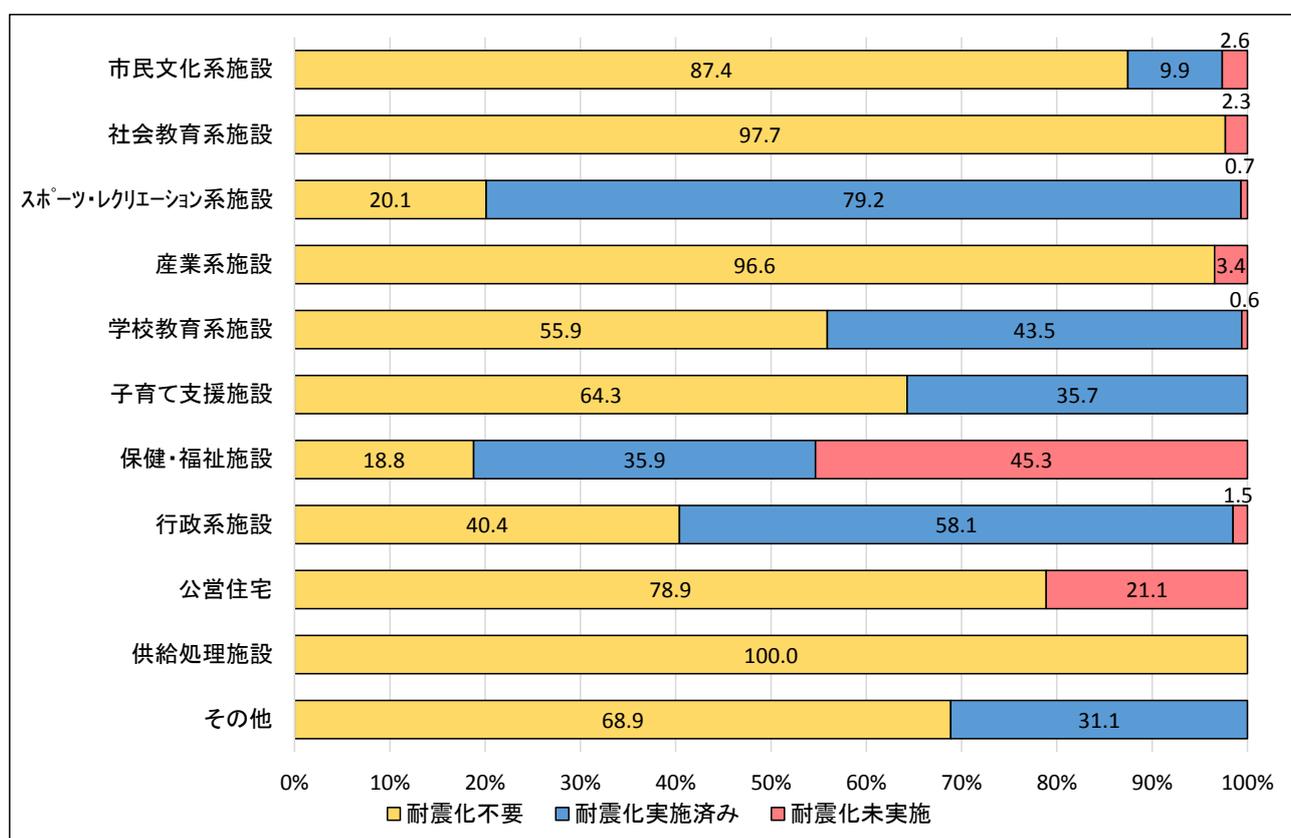
施設分類別耐震化状況

施設分類	耐震化不要		耐震化実施済み		耐震化未実施		合計	
	延床面積 (㎡)	構成比 (%)	延床面積 (㎡)	構成比 (%)	延床面積 (㎡)	構成比 (%)	延床面積 (㎡)	構成比 (%)
市民文化系施設	13,163	87.4	1,492	9.9	397	2.6	15,053	100.0
社会教育系施設	2,571	97.7	0	0.0	61	2.3	2,632	100.0
スポーツ・レクリエーション系施設	1,607	20.1	6,328	79.2	54	0.7	7,989	100.0
産業系施設	18,098	96.6	0	0.0	644	3.4	18,742	100.0
学校教育系施設	41,017	55.9	31,909	43.5	429	0.6	73,355	100.0
子育て支援施設	1,768	64.3	982	35.7	0	0.0	2,750	100.0
保健・福祉施設	408	18.8	780	35.9	985	45.3	2,172	100.0
行政系施設	5,548	40.4	7,976	58.1	206	1.5	13,731	100.0
公営住宅	5,753	78.9	0	0.0	1,539	21.1	7,292	100.0
供給処理施設	5,600	100.0	0	0.0	0	0.0	5,600	100.0
その他	1,542	68.9	697	31.1	0	0.0	2,239	100.0
合計	97,074	64.1	50,164	33.1	4,315	2.8	151,553	100.0

※耐震化不要：新耐震基準で建築された施設、旧耐震基準で建築された施設のうち、耐震診断により耐震性を有していると判定された施設など

※学校教育系施設のうち、小中学校の校舎や体育館等の耐震化は完了しています。

施設分類別耐震化状況の構成比



2. 利用状況

利用状況の調査対象施設は下表のとおりです。ただし、一般利用がない施設及び利用状況の把握が困難な施設については、対象から除いています。

利用状況の調査対象施設

施設分類		施設名	対象施設	調査項目
1	市民文化系施設	羽生市産業文化ホール	○	利用者数 貸室等
		羽生市中央公民館、羽生市新郷公民館、羽生市須影公民館、 羽生市岩瀬公民館、羽生市川俣公民館、羽生市井泉公民館、 羽生市手子林公民館、羽生市三田ヶ谷公民館、羽生市村君公民館	○	利用者数 貸室等
		羽生市須影集会所、羽生市稲子集会所、 羽生市桑崎集会所、羽生市下岩瀬集会所、 羽生市西新田集会所	○	利用者数 貸室等
2	社会教育系施設	図書館・郷土資料館、お種さん資料館	○	利用者数
3	スポーツ・レクリエーション系施設	羽生市体育館、羽生中央公園	○	利用者数 貸室等
4	産業系施設	羽生市民プラザ、羽生勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）	○	利用者数 貸室等
		羽生市女性センター（パープル羽生）	○	利用者数 貸室等
		羽生市三田ヶ谷農林公園「キヤッセ羽生」	○	利用者数
		三田ヶ谷農村センター	○	利用者数
		道の駅はにゅう	○	利用者数
5	学校教育系施設	羽生北小学校、新郷第一小学校、新郷第二小学校、 須影小学校、岩瀬小学校、川俣小学校、井泉小学校、 手子林小学校、三田ヶ谷小学校、村君小学校、羽生南小学校	○	児童数
		西中学校、南中学校、東中学校	○	生徒数
		羽生市学校給食センター	×	—
		准看護学校	×	—
6	子育て支援施設	羽生市第一保育所、羽生市第二保育所、羽生市第三保育所、 羽生市第四保育所、羽生市第六保育所、羽生市第七保育所	○	児童数
		羽生南学童保育室、岩瀬学童保育室、羽生北学童保育室、 新郷第1学童保育室、新郷第2学童保育室	○	児童数
7	保健・福祉施設	羽生市保健センター、羽生市手子林老人憩の家、 羽生市井泉老人憩の家	○	利用者数
		羽生市清和園、羽生市もくせいの里	×	—
8	行政系施設	羽生市役所	○	利用者数
		羽生市消防本部、羽生市消防署 西分署、羽生第1消防センター、 羽生第2消防センター、新郷消防センター、岩瀬消防センター、 川俣消防センター、井泉消防センター、須影消防センター、 手子林第1消防センター、手子林第2消防センター、村君消防センター、 三田ヶ谷消防センター	×	—
		羽生駅自由通路、西羽生駅自由通路	×	—
9	公営住宅	宮田団地、南羽生団地、利根ヒルズこすか団地、旭町団地	○	入居戸数 管理戸数
10	供給処理施設	羽生市清掃センター	×	—
		粗大ごみ処理場	×	—
		羽生市汚泥再生処理センター	×	—
		羽生市一般廃棄物最終処分場	×	—
11	その他	斎場	○	利用者数
		旧し尿処理場、旧第五保育所	×	—

(1) 利用者数の推移

＜平成 26 年度の公共施設の年間利用者は約 130 万人＞

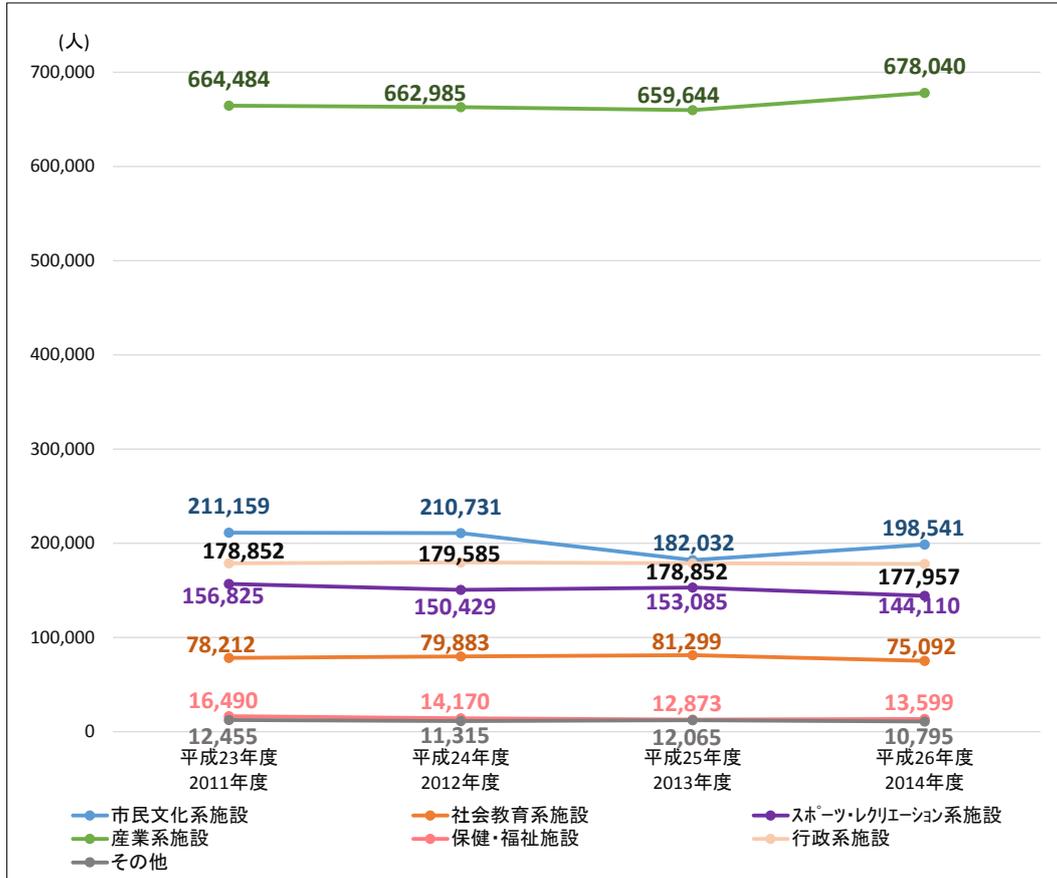
一般市民から利用される公共施設である、市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツ・レクリエーション施設などの総利用者数は、横ばい傾向であり平成 23 年度から平成 26 年度は約 130 万人前後で推移しています。

施設分類別でみると、産業系施設の利用者は増加傾向にあるものの、その他の施設はいずれも横ばい若しくは減少傾向となっています。

公共施設の利用者数

施設分類	施設数	利用者数(人)			
		平成23年度 2011年度	平成24年度 2012年度	平成25年度 2013年度	平成26年度 2014年度
市民文化系施設	15 施設	211,159	210,731	182,032	198,541
社会教育系施設	2 施設	78,212	79,883	81,299	75,092
スポーツ・レクリエーション系施設	2 施設	156,825	150,429	153,085	144,110
産業系施設	6 施設	664,484	662,985	659,644	678,040
保健・福祉施設	5 施設	16,490	14,170	12,873	13,599
行政系施設	1 施設	178,852	179,585	178,852	177,957
その他	1 施設	12,455	11,315	12,065	10,795
合計	31 施設	1,318,477	1,309,098	1,279,850	1,298,134

公共施設の利用者数の推移



(2) 児童・生徒数の推移

<児童・生徒数は減少傾向>

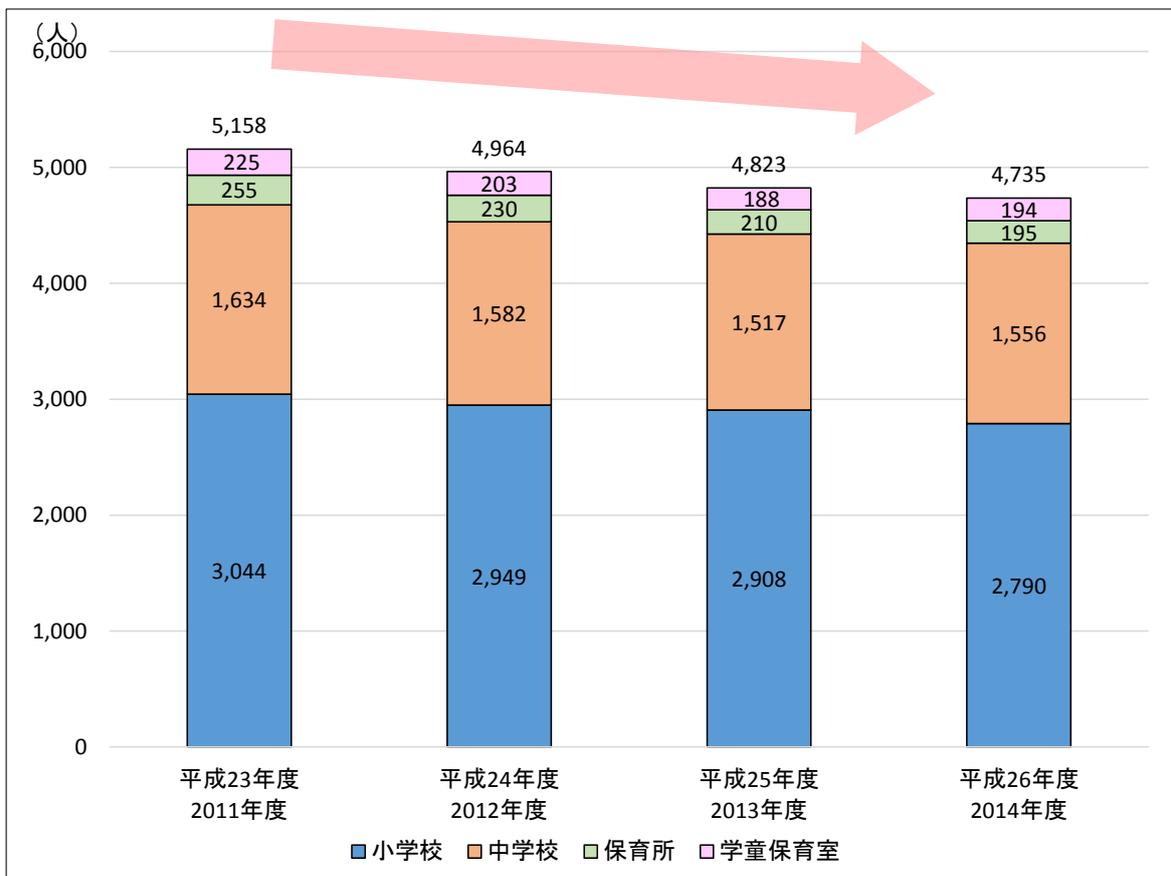
平成26年度の児童・生徒数は、約4,700人となっており、平成23年度に比べて約400人の減少となっています。

特に、保育所は、平成23年度から平成26年度の4カ年で23.5%の減少となっており、他の施設と比べて減少率が大きくなっています。

児童・生徒数

施設分類		施設数	児童・生徒数(人)			
			平成23年度 2011年度	平成24年度 2012年度	平成25年度 2013年度	平成26年度 2014年度
学校教育系施設	小学校	11 施設	3,044	2,949	2,908	2,790
	中学校	3 施設	1,634	1,582	1,517	1,556
子育て支援施設	保育所	6 施設	255	230	210	195
	学童保育室	5 施設	225	203	188	194
合計		25 施設	5,158	4,964	4,823	4,735

児童・生徒数の推移



(3) 貸室等の利用状況

<貸室等の稼働率は約 20%>

貸室等のある施設分類は、市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション系施設、産業系施設となっています。平成 26 年度の貸室等の稼働率は、全体で 22.0%となっています。

施設分類別でみると、市民文化系施設で 20.0%、スポーツ・レクリエーション系施設で 28.5%、産業系施設で 22.7%となっています。

平成 23 年度から平成 26 年度の推移は、スポーツ・レクリエーション系施設のみ増加傾向にあり、4 カ年で約 4%稼働率が増加しています。

貸室等の利用状況

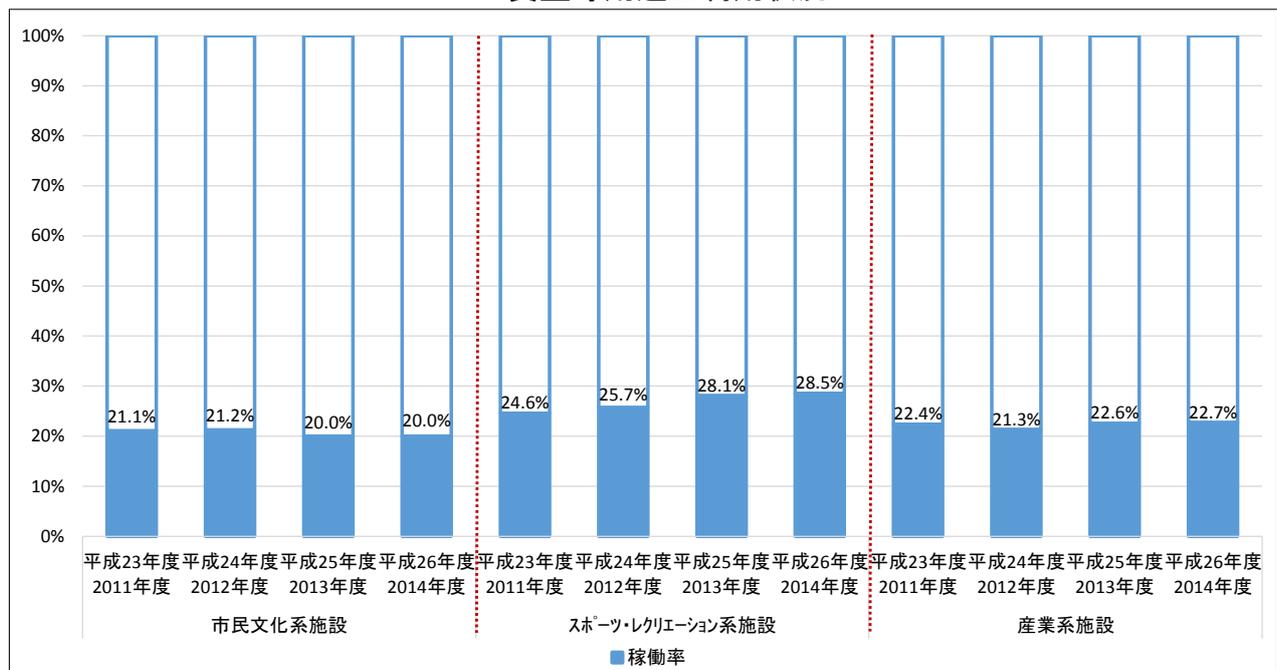
施設分類	項目	平成23年度 2011年度	平成24年度 2012年度	平成25年度 2013年度	平成26年度 2014年度
市民文化系施設	利用可能時間 (時間)	182,083	180,226	179,011	178,469
	稼働時間 (時間)	38,371	38,282	35,841	35,736
	稼働率 (%)	21.1	21.2	20.0	20.0
スポーツ・レクリエーション系施設	利用可能時間 (時間)	43,848	43,776	43,704	43,488
	稼働時間 (時間)	10,772	11,257	12,276	12,414
	稼働率 (%)	24.6	25.7	28.1	28.5
産業系施設	利用可能時間 (時間)	106,804	106,731	105,848	106,146
	稼働時間 (時間)	23,897	22,750	23,874	24,136
	稼働率 (%)	22.4	21.3	22.6	22.7
合計	利用可能時間 (時間)	332,735	330,733	328,563	328,103
	稼働時間 (時間)	73,040	72,289	71,991	72,286
	稼働率 (%)	22.0	21.9	21.9	22.0

※利用可能時間：部屋数×利用可能コマ数×1コマ当り時間

※稼働時間：貸室等の利用コマ数×1コマ当り時間の部屋毎の合計値

※稼働率：(稼働時間÷利用可能時間)×100

貸室等用途の利用状況



(4) 公営住宅の入居状況

<公営住宅の入居率は約 80%>

平成 26 年度における公営住宅の入居状況は、管理戸数 120 戸に対し、入居戸数が 100 戸であり、入居率は 83.3%となっています。平成 23 年度から平成 26 年度の 4 ヶ年の推移は、それほど大きな変動はみられません。

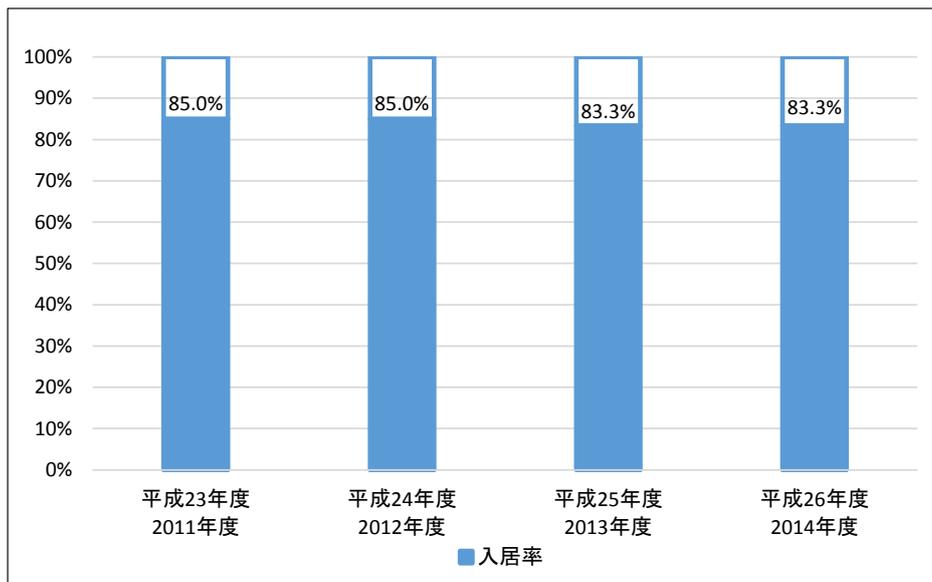
また、管理戸数 120 戸のうち政策空家が平成 23、24 年度は 18 戸、平成 25、26 年度は 20 戸となっています。

公営住宅の入居状況

	平成23年度 2011年度	平成24年度 2012年度	平成25年度 2013年度	平成26年度 2014年度
管理戸数(戸)	120	120	120	120
入居戸数(戸)	102	102	100	100
入居率(%)	85.0	85.0	83.3	83.3

※入居率：(入居戸数/管理戸数)×100

公営住宅の入居状況



3. 運営の状況

<75 施設が直営施設、6 施設が指定管理者による運営>

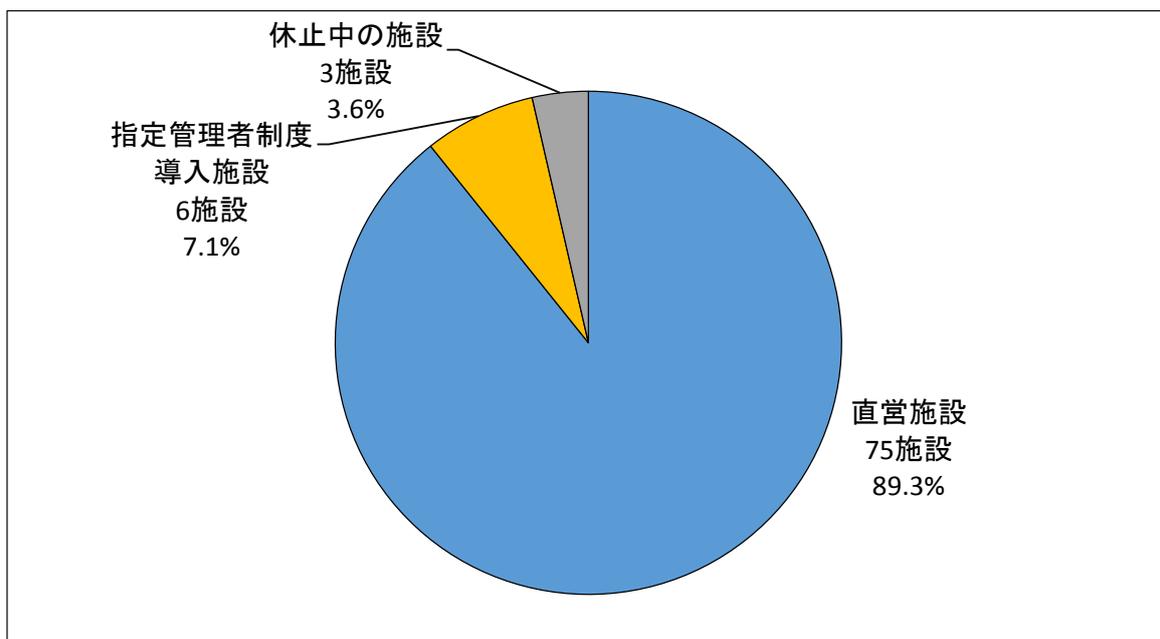
公共施設の運営形態は、84 施設のうち6 施設（羽生市産業文化ホール、羽生勤労者総合福祉センター〈ワークヒルズ羽生〉、道の駅はにゅう、羽生市清和園、羽生市もくせいの里、斎場）が指定管理者制度導入施設となっています。

直営施設のうち7 施設（図書館、お種さん資料館、羽生市学校給食センター、羽生市清掃センター、羽生市一般廃棄物最終処分場、羽生市汚泥再生処理センター、粗大ごみ処理場）は業務を委託しています。

公共施設の管理運営形態

	施設数	構成比 (%)	備考
直営施設	75 施設	89.3	
うち、業務委託を実施している施設	7 施設	9.3	社会教育系施設 図書館・郷土資料館 お種さん資料館 学校教育系施設 羽生市学校給食センター 供給処理施設 羽生市清掃センター 羽生市一般廃棄物最終処分場 羽生市汚泥再生処理センター 粗大ごみ処理場
指定管理者制度導入施設	6 施設	7.1	市民文化系施設 羽生市産業文化ホール 産業系施設 羽生勤労者総合福祉センター(ワークヒルズ羽生) 道の駅はにゅう 保健・福祉施設 羽生市清和園 羽生市もくせいの里 その他 斎場
休止中の施設	3 施設	3.6	子育て支援施設 羽生市第二保育所 その他 旧し尿処理施設 旧第五保育所
合計	84 施設	100.0	

公共施設の管理運営形態



4. 将来の更新等費用

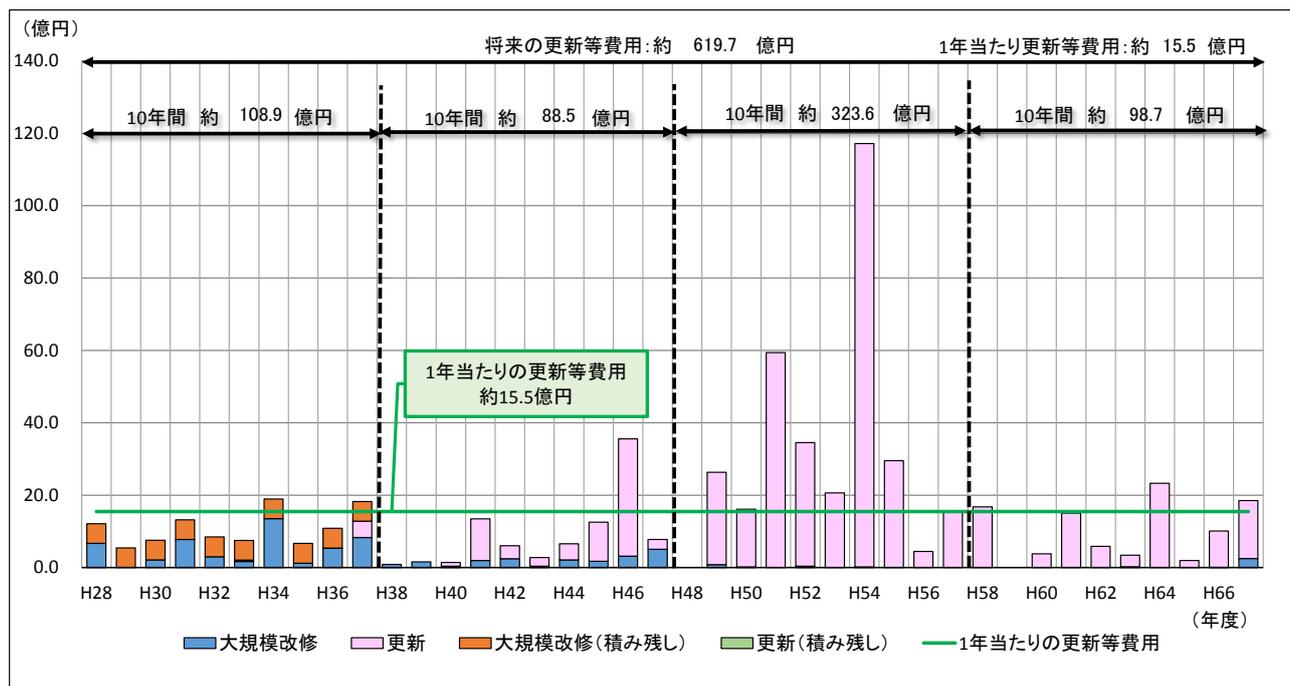
＜今後 40 年間にかかる更新等費用の総額は約 620 億円＞

①公共施設全体の推計

平成 28 年度から平成 67 年度までの 40 年間に、公共施設の更新等費用の総額は約 620 億円と推計され、1 年あたりでは約 16 億円となります。

平成 28 年度から平成 47 年度までの 20 年間は更新等費用が抑えられていますが、平成 48 年度から平成 57 年度に更新等費用のピークが訪れる見通しとなっています。

将来の更新等費用の推計（公共施設）



＜試算条件＞

- ◆推計期間は平成 28 年度から平成 67 年度
- ◆物価変動率、落札率等は考慮しない
- ◆公共施設の更新（建替え）、大規模改修は、更新年数経過後に現在と同じ延床面積で更新
- ◆建築後、60 年で更新（建替え）を実施
- ◆建築後、30 年で大規模改修を実施（ただし、大規模改修の実績がある施設は除く）
- ◆平成 27 年度時点で大規模改修の実施年の 30 年を経過している施設は、積み残しとして平成 28 年度から 10 年間で処理（ただし、大規模改修の実績がある施設は除く）
- ◆更新（建替え）、大規模改修費用の単価は、ふるさと財団「公共施設等更新費用試算ソフト」の値を採用

②施設分類ごとの推計

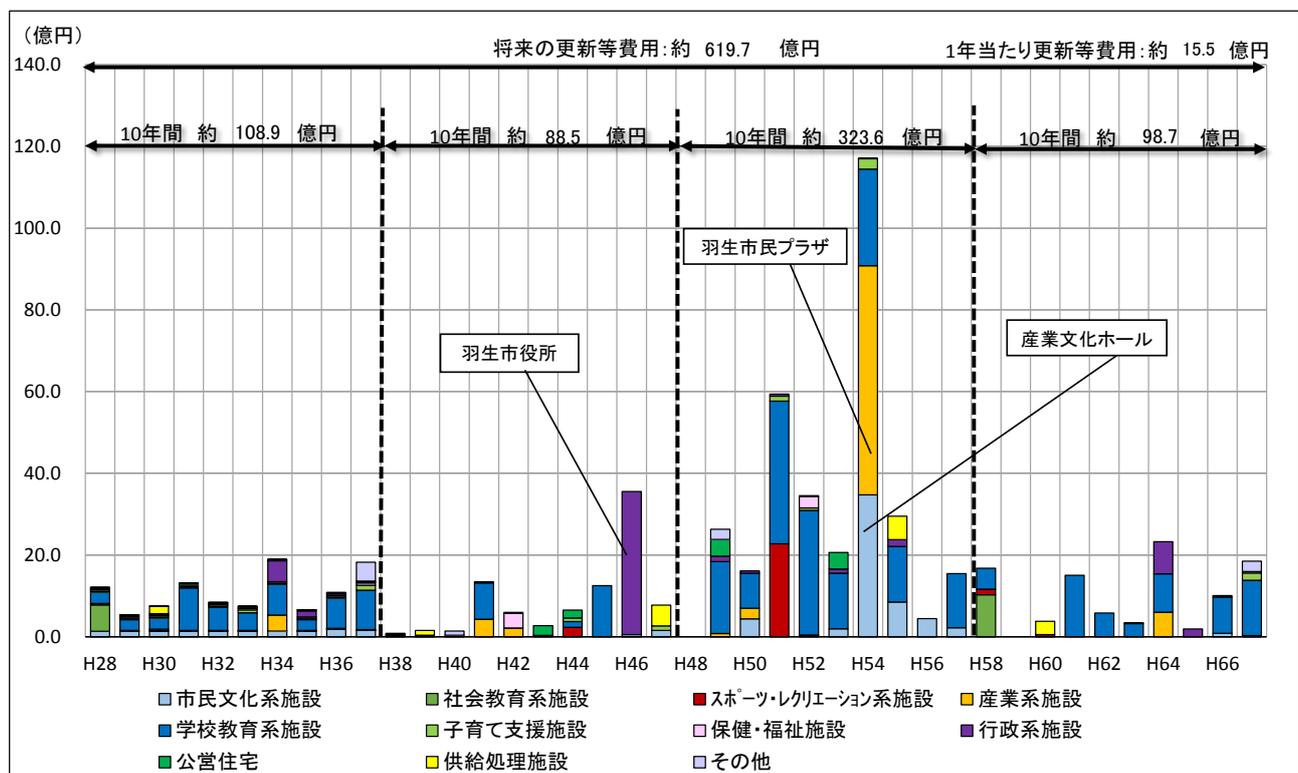
最も延床面積が多い学校教育系施設は、平成28年度から平成67年度までの40年間で約296億円の更新等費用が発生し、特に平成48年度から平成57年度までの10年間で約156億円の更新等費用が必要となるものと想定されます。

平成48年度から平成57年度までの10年間では、市民文化系施設、産業系施設ともに50億円以上の更新等費用が必要となるものと想定されます。

施設分類ごとの将来の更新等費用の推計

分類	将来の更新等費用（百万円）				
	平成28～平成37年	平成38～平成47年	平成48～平成57年	平成58～平成67年	平成28～平成67年（40年間合計）
市民文化系施設	1,453	249	5,635	115	7,452
社会教育系施設	658	0	24	1,028	1,711
スポーツ・レクリエーション系施設	60	232	2,278	196	2,765
産業系施設	538	638	5,966	604	7,747
学校教育系施設	5,557	2,329	15,564	6,102	29,553
子育て支援施設	429	229	435	198	1,291
保健・福祉施設	373	374	281	37	1,065
行政系施設	874	3,639	541	1,012	6,066
公営住宅	262	431	815	0	1,507
供給処理施設	180	622	573	324	1,698
その他	509	104	251	251	1,115
合計	10,893	8,847	32,363	9,867	61,971

施設分類ごとの将来の更新費用の推計



5. 施設分類別の状況

施設分類別の状況では、以下の公共施設を対象として、次頁の項目について整理しています。施設分類によっては、除外している公共施設があるため、「3章 1. 保有の状況」から「3章 4. 将来の更新等費用」の値と一致しない場合があります。

〈整理している施設一覧〉

施設分類	対象施設
市民文化系施設	羽生市産業文化ホール
	羽生市中央公民館、羽生市新郷公民館、羽生市須影公民館、羽生市岩瀬公民館、羽生市川俣公民館、羽生市井泉公民館、羽生市手子林公民館、羽生市三田ヶ谷公民館、羽生市村君公民館、羽生市須影集会所、羽生市稲子集会所、羽生市桑崎集会所、羽生市下岩瀬集会所、羽生市西新田集会所
社会教育系施設	図書館・郷土資料館
スポーツ・レクリエーション系施設	羽生市体育館、羽生中央公園
産業系施設	羽生市民プラザ
	羽生勤労者総合福祉センター(ワークヒルズ羽生)
	羽生市女性センター(パープル羽生)
	羽生市三田ヶ谷農林公園「キヤッセ羽生」
	羽生市三田ヶ谷農村センター
	道の駅はにゅう
学校教育系施設	羽生北小学校、新郷第一小学校、新郷第二小学校、須影小学校、岩瀬小学校、川俣小学校、井泉小学校、手子林小学校、三田ヶ谷小学校、村君小学校、羽生南小学校、西中学校、南中学校、東中学校
	羽生市学校給食センター
子育て支援施設	羽生市第一保育所、羽生市第二保育所、羽生市第三保育所、羽生市第四保育所、羽生市第六保育所、羽生市第七保育所
	羽生南学童保育室、岩瀬学童保育室、羽生北学童保育室、新郷第1学童保育室、新郷第2学童保育室
保健・福祉施設	羽生市保健センター
行政系施設	羽生市役所
公営住宅	宮田団地、南羽生団地、利根ヒルズこすか団地、旭町団地
供給処理施設	羽生市清掃センター、粗大ごみ処理場、羽生市一般廃棄物最終処分場
	羽生市汚泥再生処理センター
その他	斎場

〈整理している項目と内容〉

項 目		内 容
現 況 分 析	施設数	対象施設数
	延床面積	延床面積、全公共施設総延床面積に占める割合
	耐震性を有している延床面積の割合	対象施設のうち耐震性を有している延床面積の割合
	経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満、建築後 30 年以上の延床面積の割合
	利用者数等	対象施設の平成 26 年度の利用者数 ・ (利用者数・児童数・生徒数・入居戸数など)
	運営形態	直営・指定管理の別
	施設運営経費 (経常的経費)	平成 26 年度の支出額 ・ 光熱水費等 ・ 維持保全費 清掃、設備点検、夜間警備、修繕費など ・ 指定管理料 ・ 人件費 施設に常勤(常駐)する正規職員、嘱託職員及び 臨時職員の人数に平均単価を乗じたもの ・ その他 土地、建物の使用料など
	利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	平成 26 年度の施設運営経費を利用者数等で除した額
	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	平成 26 年度の施設使用収入を利用者数等で除した額
	将来の更新等費用	施設分類別の今後 40 年間にかかる更新等費用の合計、公共施設の総更新等費用に占める割合
その他	上記項目を踏まえ、施設分類の現況について整理	

(1) 市民文化系施設

【対象施設：羽生市産業文化ホール】

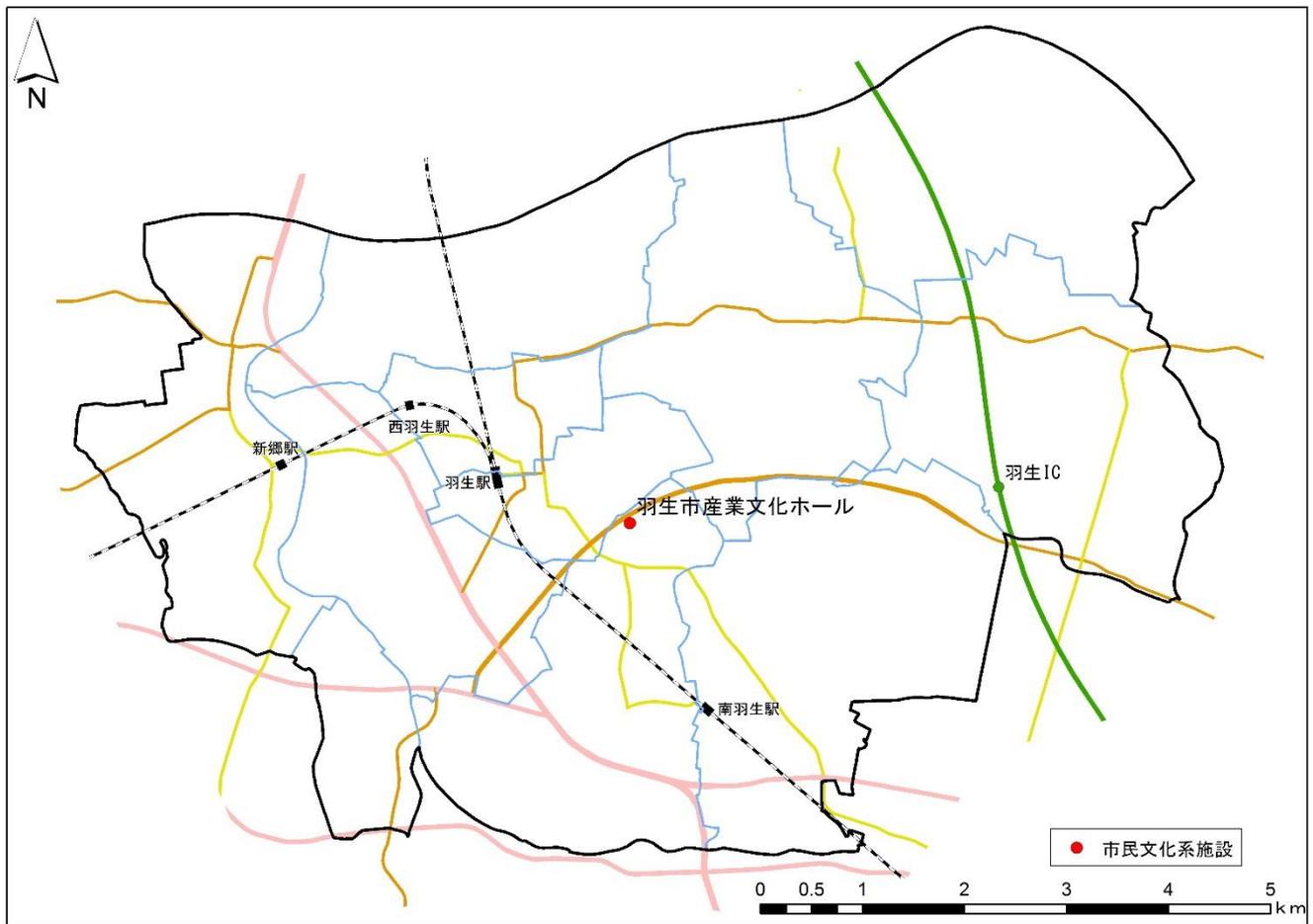
現況分析				
施設数	1 施設			
延床面積	7,604 m ² (全体の 5.0 %)			
耐震性を有している施設の割合	100.0 %			
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満		建築後 30 年以上	
	0.0 %		100.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	68,516 人			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	0 施設	1 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	7,212 万円			
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料	
	指定管理料に含む	122 万円	7,090 万円	
	人件費	その他		
	指定管理料に含む	0 万円		
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	1,053 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	指定管理者が収入	
将来の更新等費用	30.42 億円 (全体の 4.9 %)			
その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後 34 年経過していますが、平成 25 年度から平成 26 年度にかけて大規模改修が実施されています。 ・ 指定管理者による運営となっています。 ・ 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 30 億円と想定されます。 				

施設

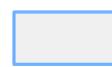


【羽生市産業文化ホール】

位置図



凡例

 行政界	 小学校区	 鉄道	 駅
 高速道路	 国道	 主要地方道	 一般県道

【該当施設：公民館（9 施設）、集会所（5 施設）】

現況分析			
施設数	14 施設		
延床面積	7,449 m ² （全体の 4.9 %）		
耐震性を有している施設の割合	94.7 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	5.8 %	94.2 %	
利用者数（平成 26 年度）	130,025 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	14 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費（平成 26 年度）	11,986 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	1,305 万円	1,926 万円	0 万円
	人件費	その他	
	8,723 万円	32 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費（市の負担）	922 円	利用者 1 人当たりの本人支払額（市の収入）	－円
将来の更新等費用	44.10 億円（全体の 7.1 %）		
その他			
<p>・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 44 億円と想定されます。</p>			

施設

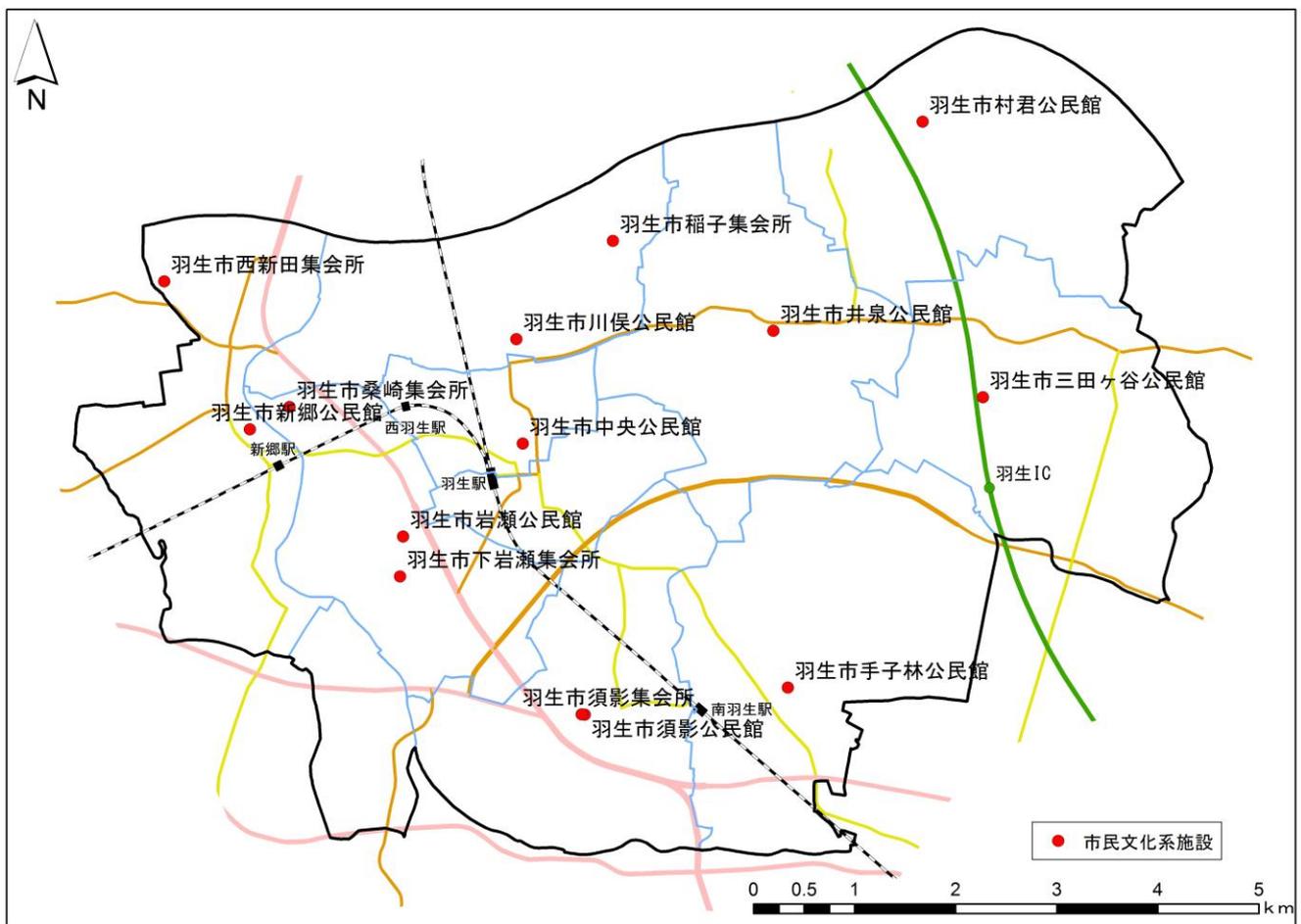


【羽生市中央公民館】

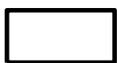
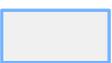


【羽生市須影集会所】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

(2) 社会教育系施設

【対象施設：図書館・郷土資料館】

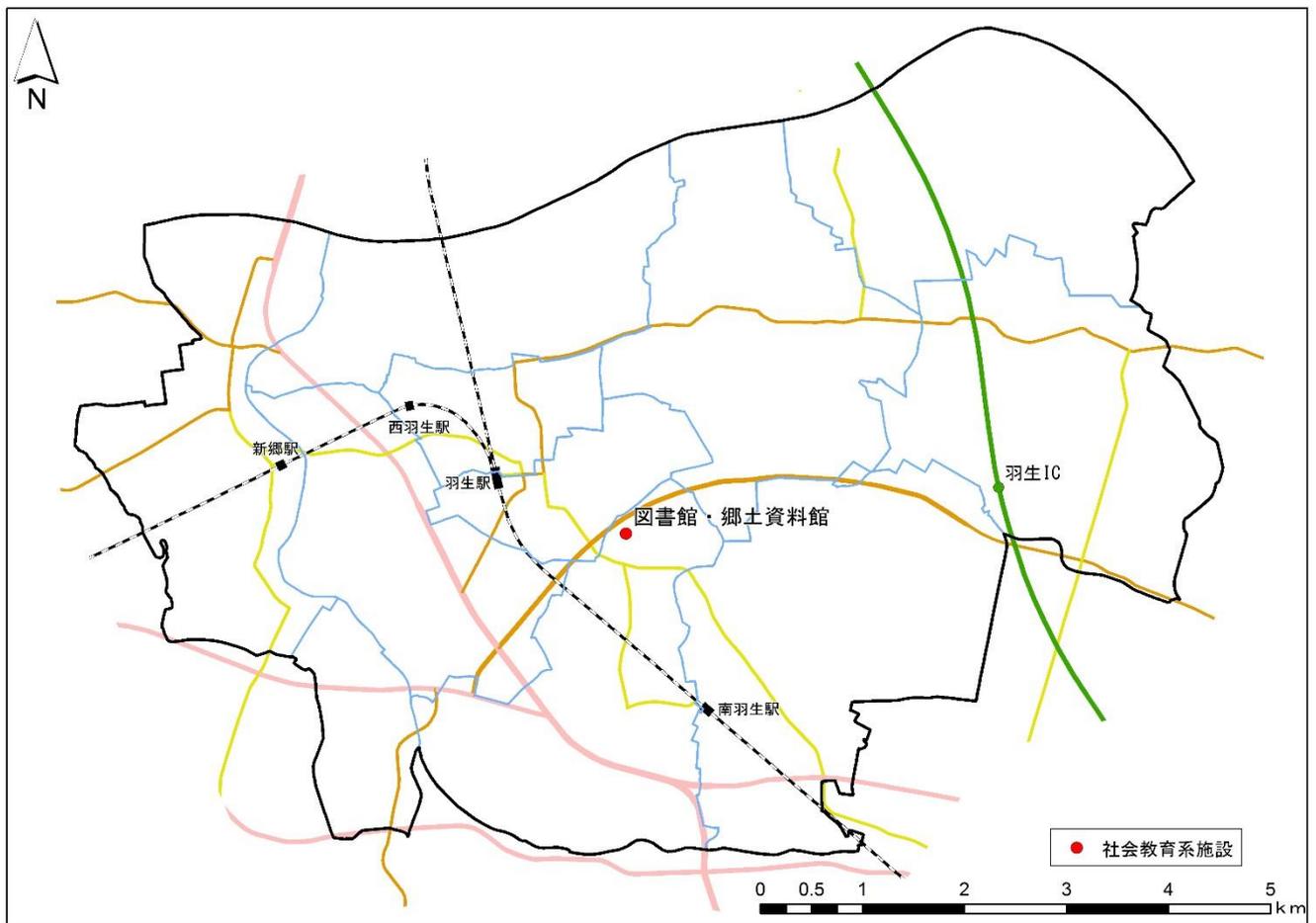
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	2,571 m ² (全体の 1.7 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	0.0 %	100.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	75,023 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	1 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	5,118 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	548 万円	729 万円	0 万円
	人件費	その他	
	3,841 万円	0 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	682 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	－円
将来の更新等費用	16.71 億円 (全体の 2.7 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・運営形態は直営となっておりますが、窓口業務については民間委託しています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 16.7 億円と想定されます。 			

施設



【図書館・郷土資料館】

位置図



凡例

行政界	小学校区	鉄道	駅
高速道路	国道	主要地方道	一般県道

(3) スポーツ・レクリエーション系施設

【対象施設：羽生市体育館、羽生中央公園】

現況分析				
施設数	2 施設			
延床面積	7,989 m ² (全体の 5.3 %)			
耐震性を有している施設の割合	99.3 %			
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上		
	15.2 %	84.8 %		
利用者数 (平成 26 年度)	144,110 人			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	2 施設	0 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	7,807 万円			
	内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
		1,307 万円	2,192 万円	0 万円
		人件費	その他	
4,308 万円	0 万円			
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	542 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	54 円	
将来の更新等費用	27.65 億円 (全体の 4.5 %)			
その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・羽生中央公園では、管理棟が耐震化未実施の建築物となっています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 27.6 億円と想定されます。 ・羽生市体育館使用料約 476 万円、羽生中央公園使用料約 306 万円が収入としてあります。 				

施設

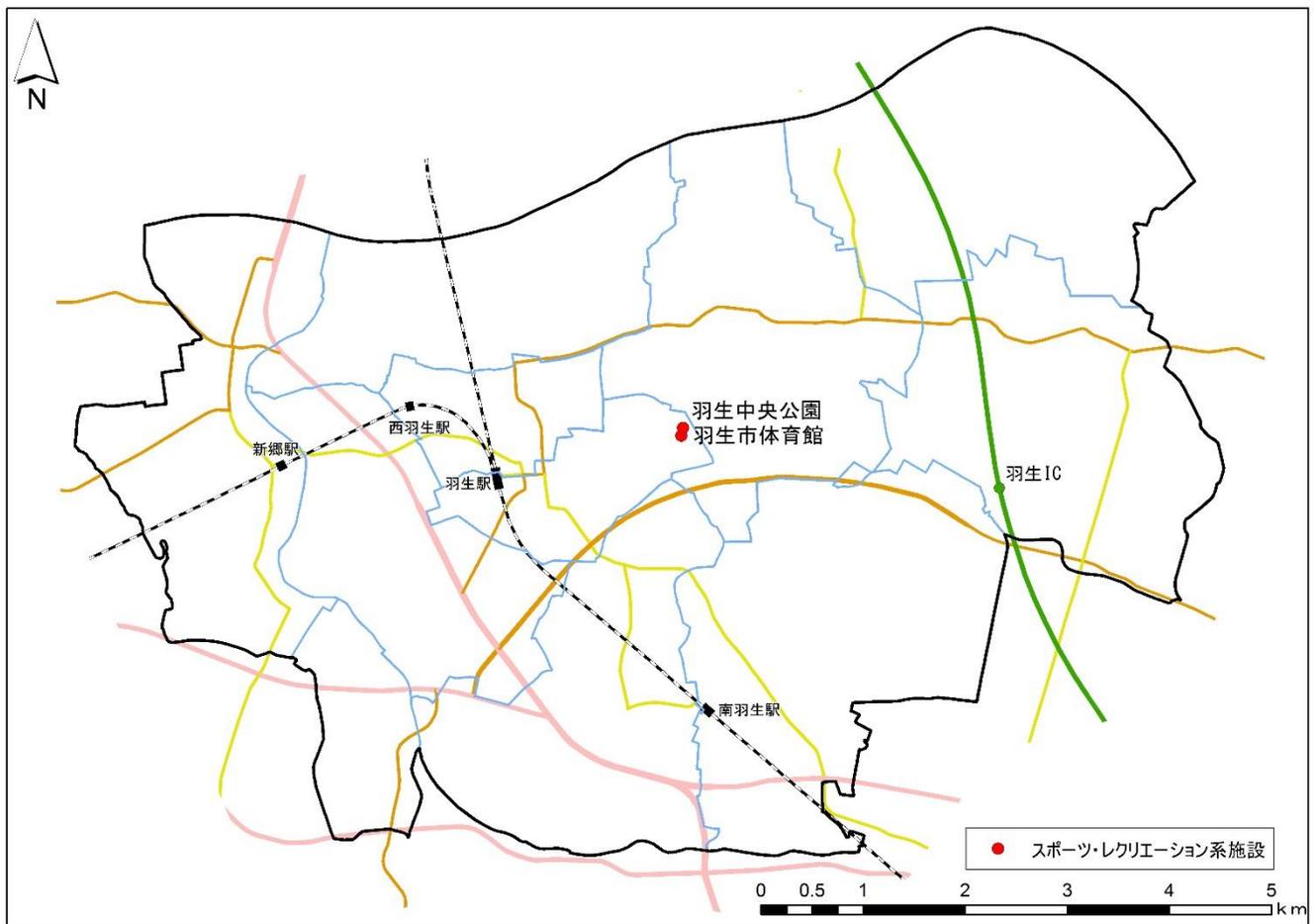


【羽生市体育館】



【羽生中央公園】

位置図



凡例

行政界	小学校区	鉄道	駅
高速道路	国道	主要地方道	一般県道

(4) 産業系施設

【対象施設：羽生市民プラザ】

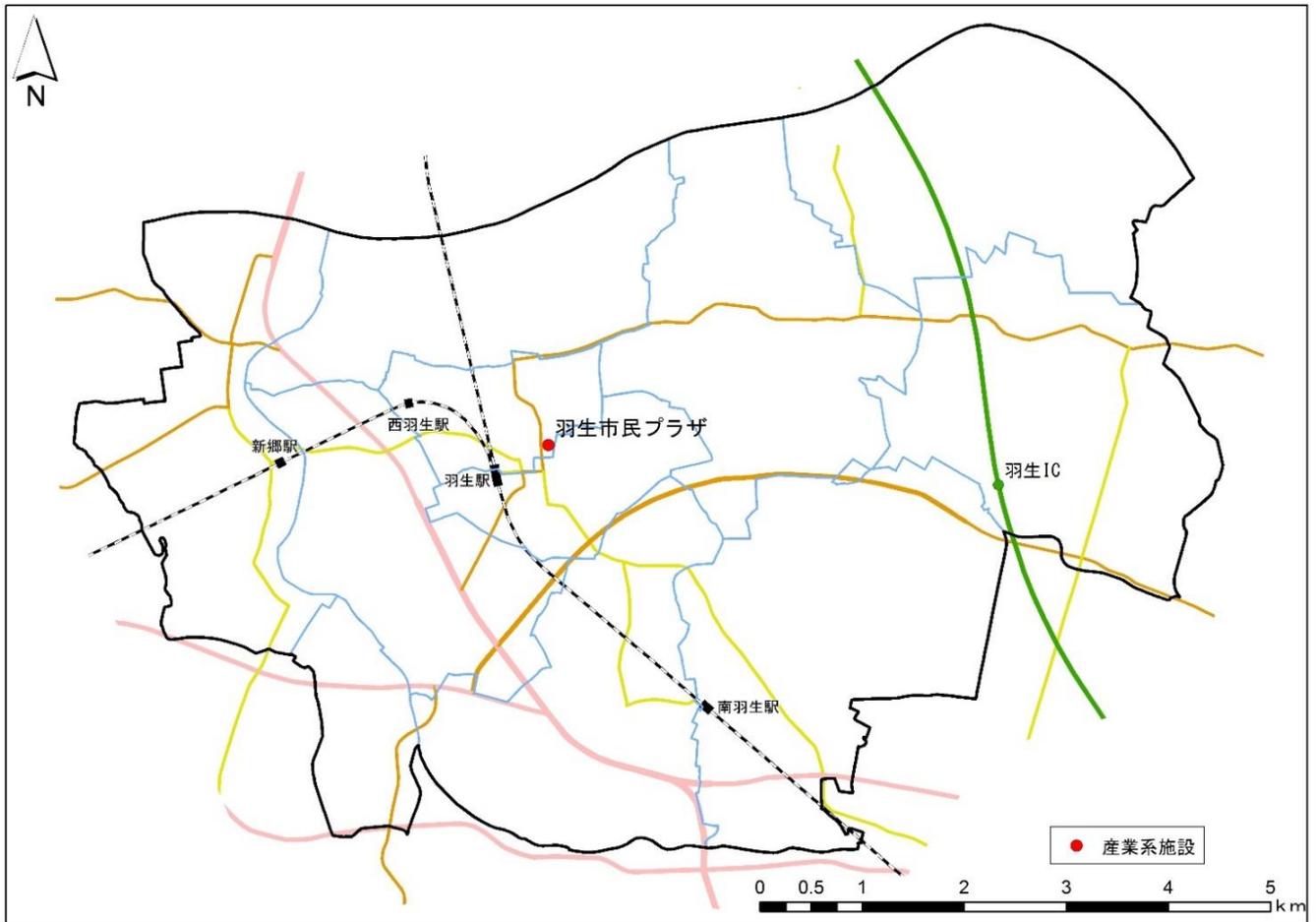
現況分析				
施設数	1 施設			
延床面積	14,014	m ²	(全体の 9.2 %)	
耐震性を有している施設の割合	100.0	%		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上		
	0.0%	100.0 %		
利用者数 (平成 26 年度)	116,454 人			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	1 施設	0 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	6,335 万円			
	内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
		1,783 万円	3,156 円	0 万円
		人件費	その他	
1,396 万円	0 万円			
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	544 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	75 円	
将来の更新等費用	56.06 億円	(全体の 9.0 %)		
その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 57 年度に建築された商業施設を平成 9 年に購入し、研修室、染工房、美術工芸室、イベントホールなどの機能を有するコミュニティー型交流施設に転用しました。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 56 億円と想定されます。 ・施設使用料約 874 万円が収入としてあります。 				

施設

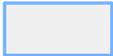


【羽生市民プラザ】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

【対象施設：羽生勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）】

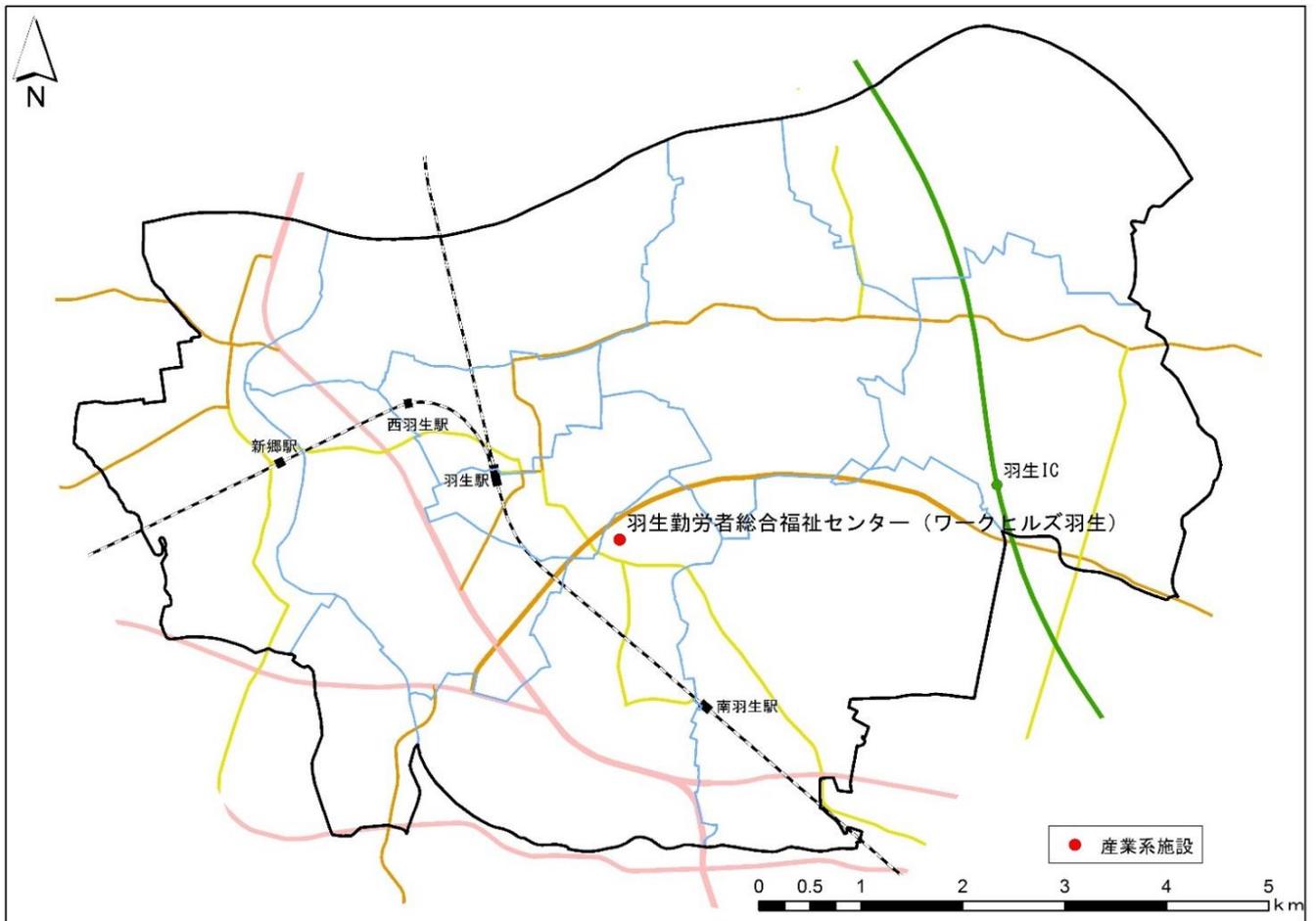
現況分析				
施設数	1 施設			
延床面積	1,510	m ²	(全体の 1.0 %)	
耐震性を有している施設の割合	100.0	%		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満		建築後 30 年以上	
	100.0	%	0.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	47,824 人			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	0 施設	1 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	2,147 万円			
	内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
		0 万円	94 万円	2,037 万円
		人件費	その他	
指定管理料に含む	16 万円			
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	449 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	63 円	
将来の更新等費用	9.82 億円	(全体の 1.6 %)		
その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育室、大会議室、研修室などの機能を有しています。 ・ 指定管理者により運営されております。 ・ 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 9.8 億円と想定されます。 ・ 施設使用料約 303 万円が収入としてあります。 				

施設



【羽生勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）】

位置図



凡例

行政界	小学校区	鉄道	駅
高速道路	国道	主要地方道	一般県道

【対象施設：羽生市女性センター（パープル羽生）】

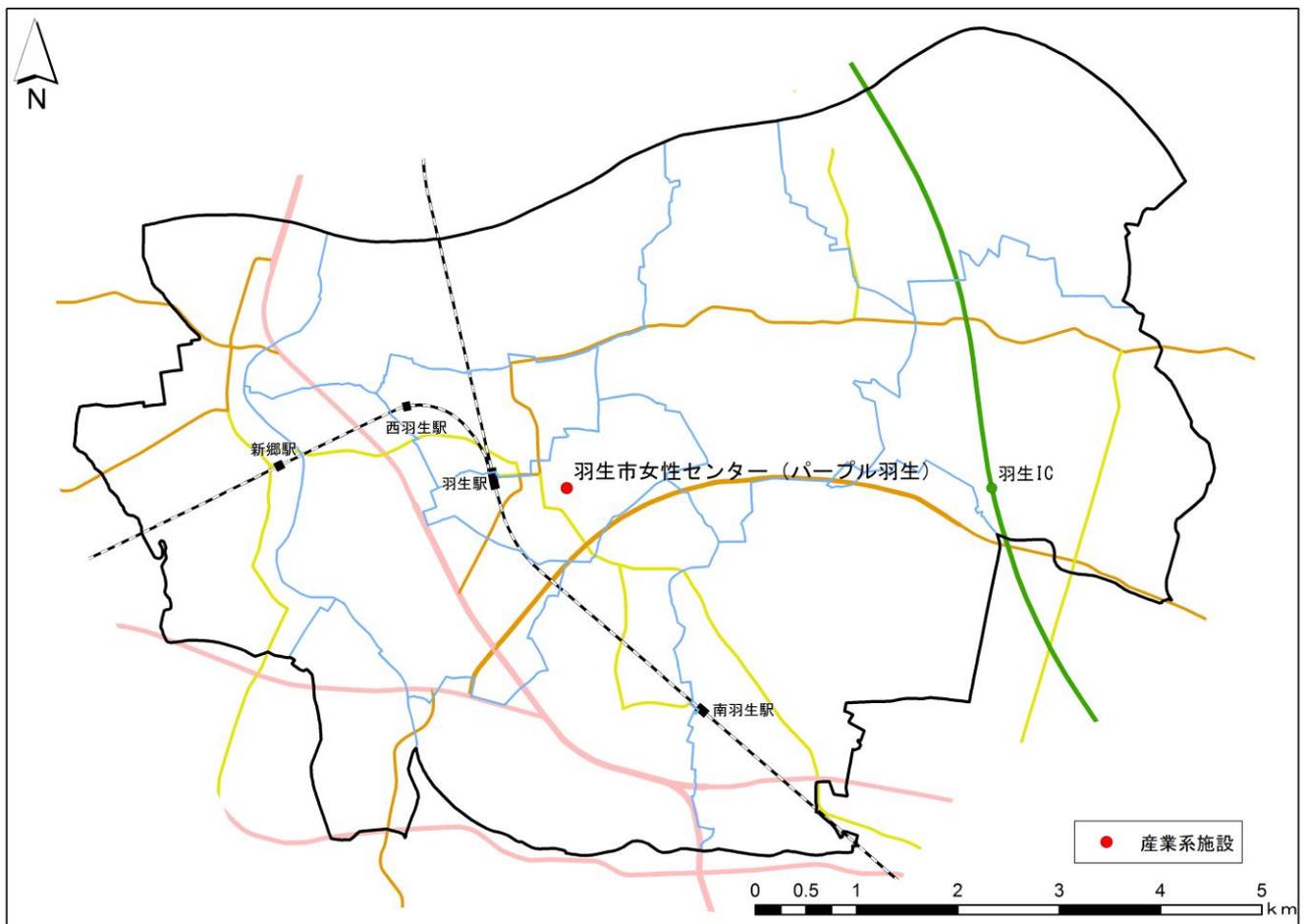
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	653 m ² (全体の 0.4 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	0.0 %	100.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	17,191 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	1 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	1,200 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	116 万円	269 万円	0 万円
	人件費	その他	
815 万円	0 万円		
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	698 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	61 円
将来の更新等費用	2.61 億円 (全体の 0.4 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・昭和 44 年度に建築され、建築後 30 年以上が経過していますが、平成 9 年度に大規模改修を実施しています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 2.6 億円と想定されます。 ・施設使用料約 105 万円が収入としてあります。 			

施設

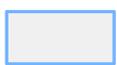


【羽生市女性センター（パープル羽生）】

位置図



凡例

 行政界	 小学校区	 鉄道	 駅
 高速道路	 国道	 主要地方道	 一般県道

【対象施設：羽生市三田ヶ谷農林公園「キヤッセ羽生」】

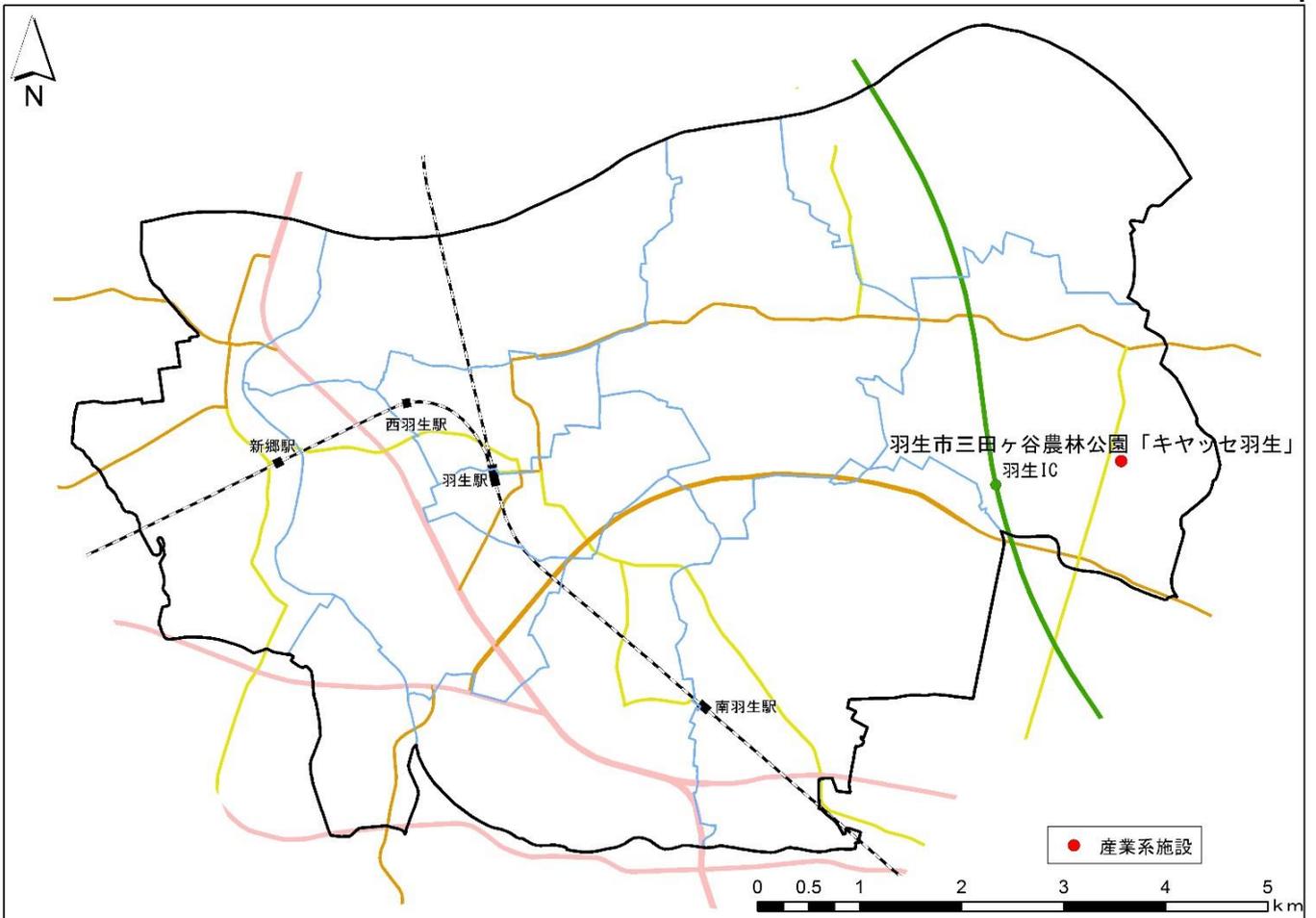
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	1,596 m ² (全体の 1.1 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	100.0 %	0.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	282,474 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	1 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	4,147 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	1,013 万円	1,735 万円	0 万円
	人件費	その他	
	1,397 万円	2 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	147 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	6 円
将来の更新等費用	3.99 億円 (全体の 0.6 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> 平成 11・12 年度に建築された、レストラン、物産館、地ビール工場などを有する複合施設です。 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 4 億円と想定されます。 施設使用料約 157 万円が収入としてあります。 			

施設



【羽生市三田ヶ谷農林公園「キヤッセ羽生」】

位置図



凡例

行政界	小学校区	鉄道	駅
高速道路	国道	主要地方道	一般県道

【対象施設：羽生市三田ヶ谷農村センター】

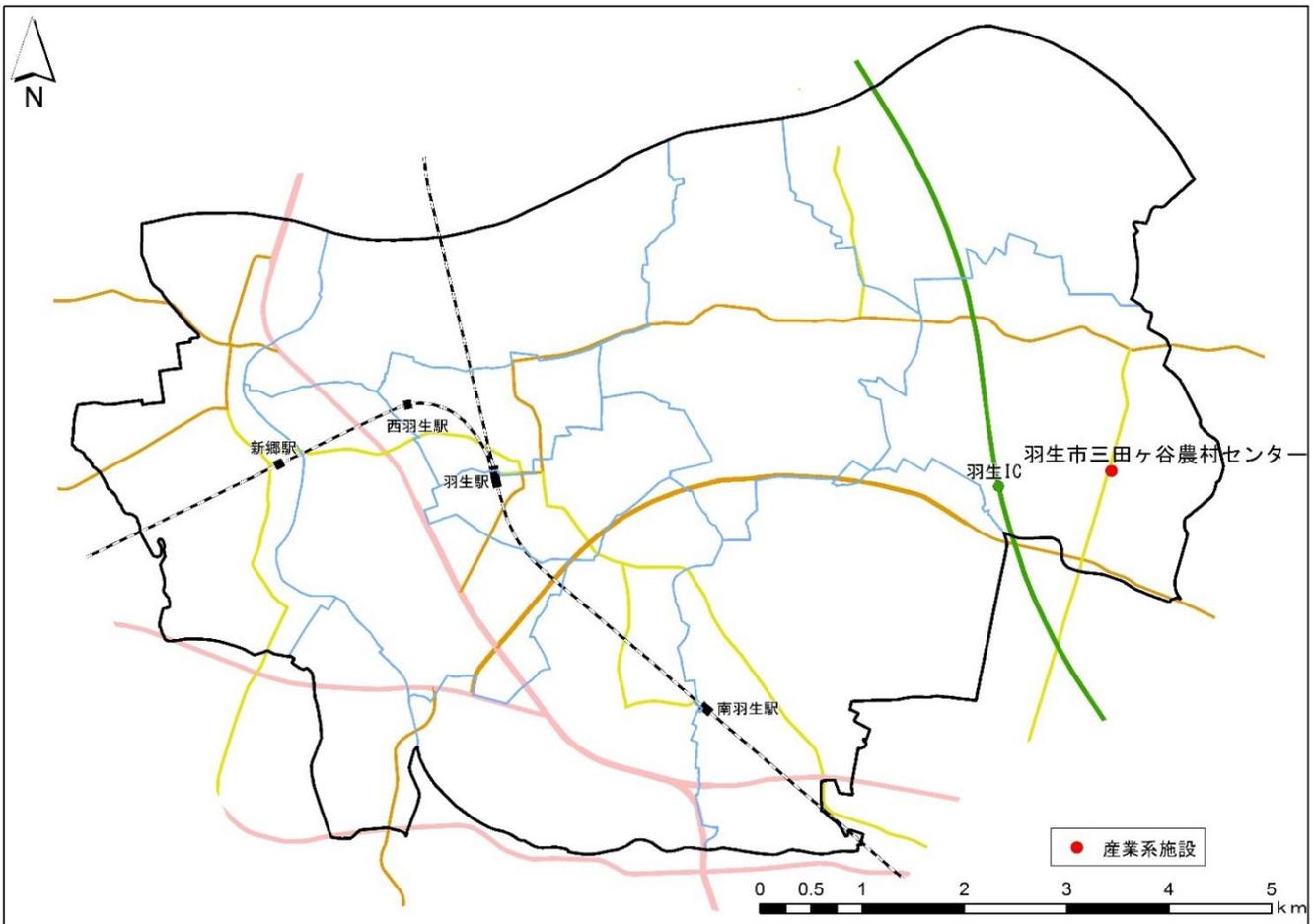
現況分析				
施設数	1 施設			
延床面積	644 m ² (全体の 0.4 %)			
耐震性を有している施設の割合	0.0 %			
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上		
	0.0 %	100.0 %		
利用者数 (平成 26 年度)	4,927 人			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	1 施設	0 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	484 万円			
	内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
		98 万円	386 万円	0 万円
		人件費	その他	
0 万円	0 万円			
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	982 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	－円	
将来の更新等費用	4.18 億円 (全体の 0.7 %)			
その他				
<ul style="list-style-type: none"> ・耐震改修が未実施となっています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 4 億円と想定されます。 				

施設



【羽生市三田ヶ谷農村センター】

位置図



凡例

行政界	小学校区	鉄道	駅
高速道路	国道	主要地方道	一般県道

【対象施設：道の駅はにゅう】

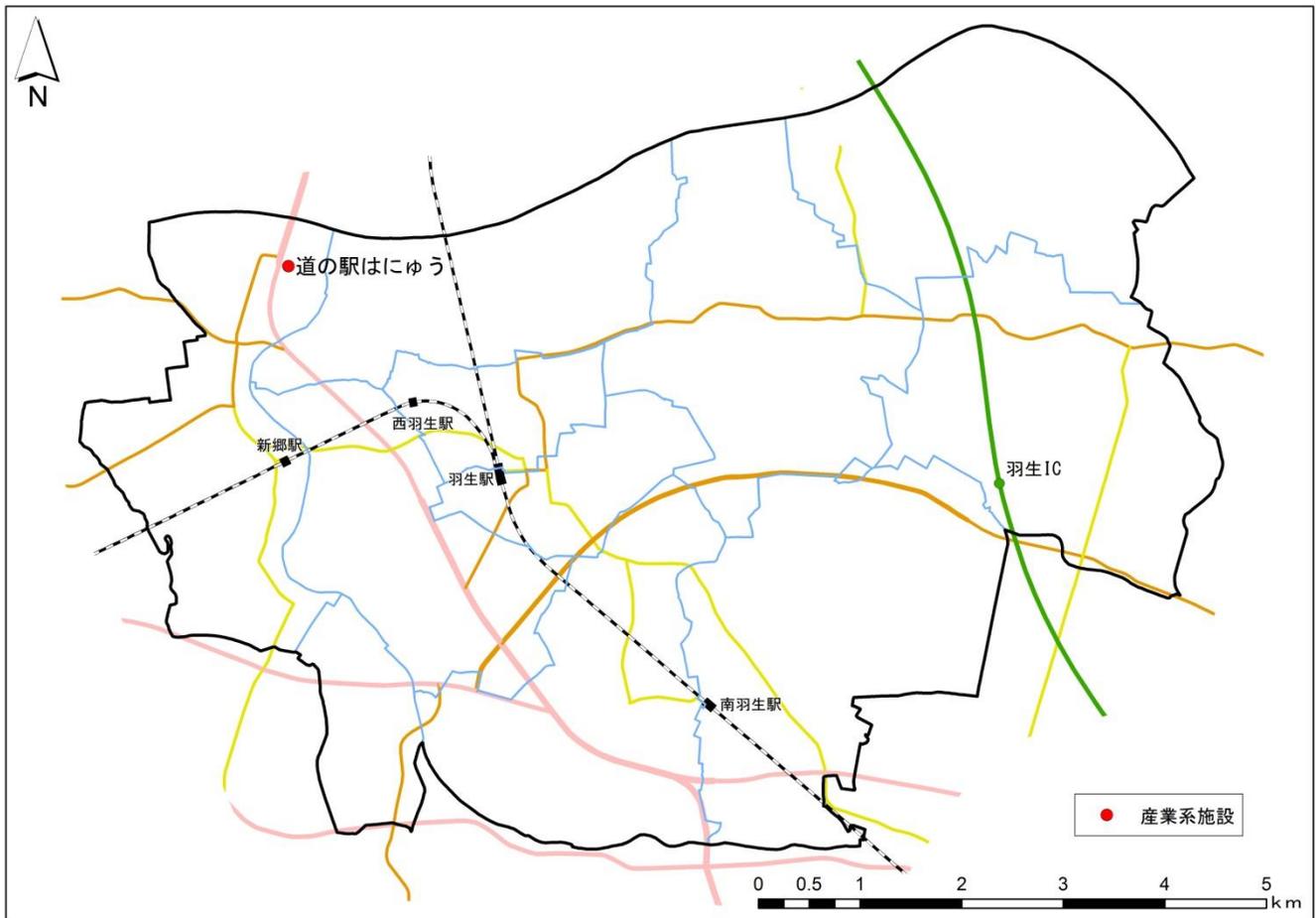
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	324 m ²	(全体の 0.2 %)	
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	100.0 %	0.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	209,170 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	0 施設	1 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	20 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	0 万円	20 万円	0 万円
	人件費	その他	
	0 万円	0 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	—円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	—円
将来の更新等費用	0.81 億円	(全体の 0.1 %)	
その他			
<ul style="list-style-type: none"> 平成 19 年度に建築された、レストラン、情報提供スペース、物産販売施設です。 指定管理者により運営されています。 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 0.8 億円と想定されます。 指定管理者からの施設利用料約 597 万円が収入としてあります。 			

施設

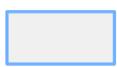


【道の駅はにゆう】

位置図



凡例

 行政界	 小学校区	 鉄道	 駅
 高速道路	 国道	 主要地方道	 一般県道

(5) 学校教育系施設

【対象施設：小学校（11 施設）、中学校（3 施設）】

現況分析			
施設数	14 施設		
延床面積	71,234 m ² (全体の 47.0 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	23.2 %	76.8 %	
児童・生徒数 (平成 26 年度)	4,346 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	14 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	216,306 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	5,499 万円	2,585 万円	0 万円
	人件費	その他	
	208,183 万円	39 万円	
児童・生徒 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	497,713 円	児童・生徒 1 人当たりの保護者支払額 (市の収入)	－円
将来の更新等費用	284.93 億円 (全体の 46.0 %)		
その他			
・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 285 億円と想定されます。			

施設

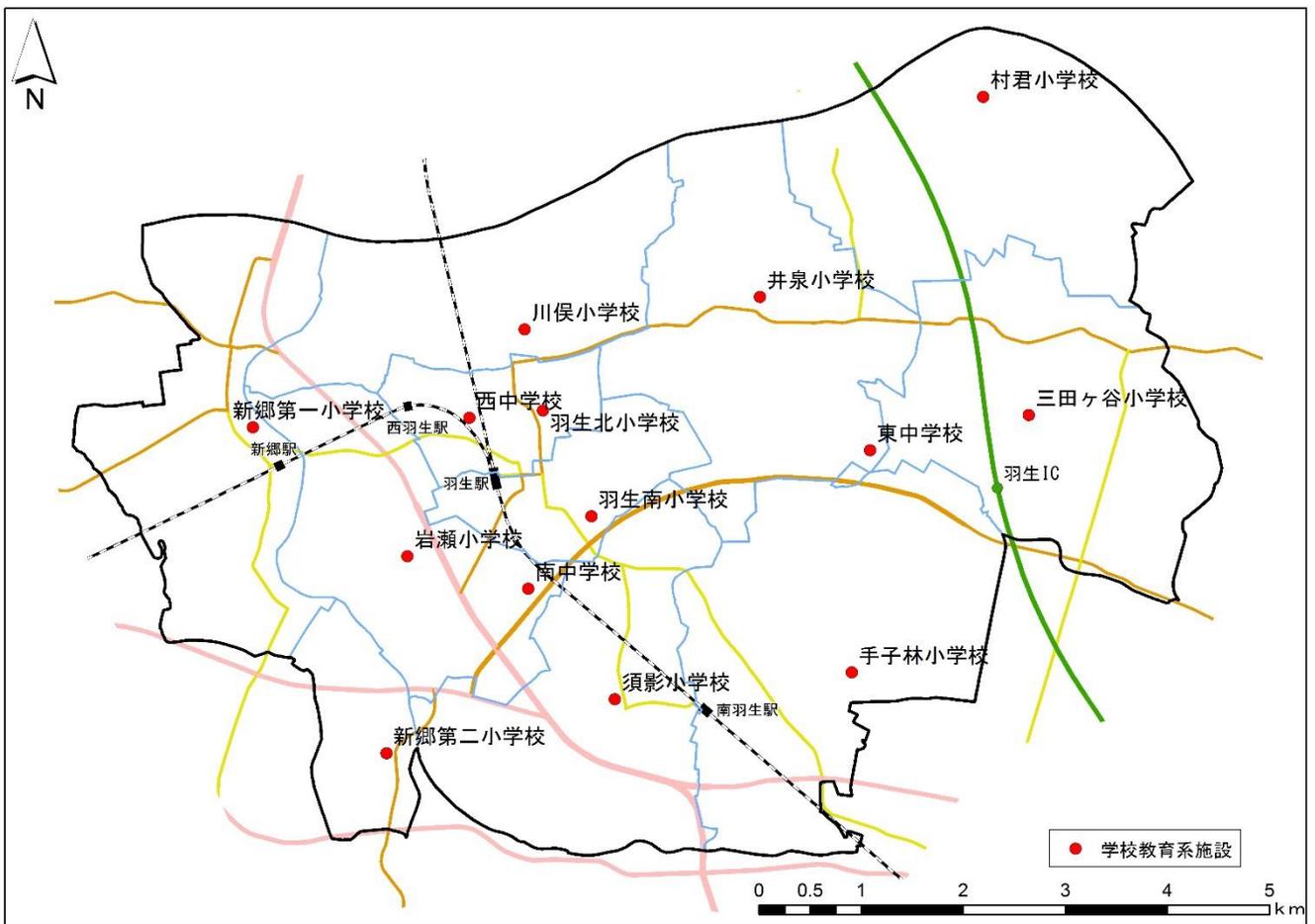


【羽生南小学校】

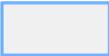


【東中学校】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

【対象施設：羽生市学校給食センター】

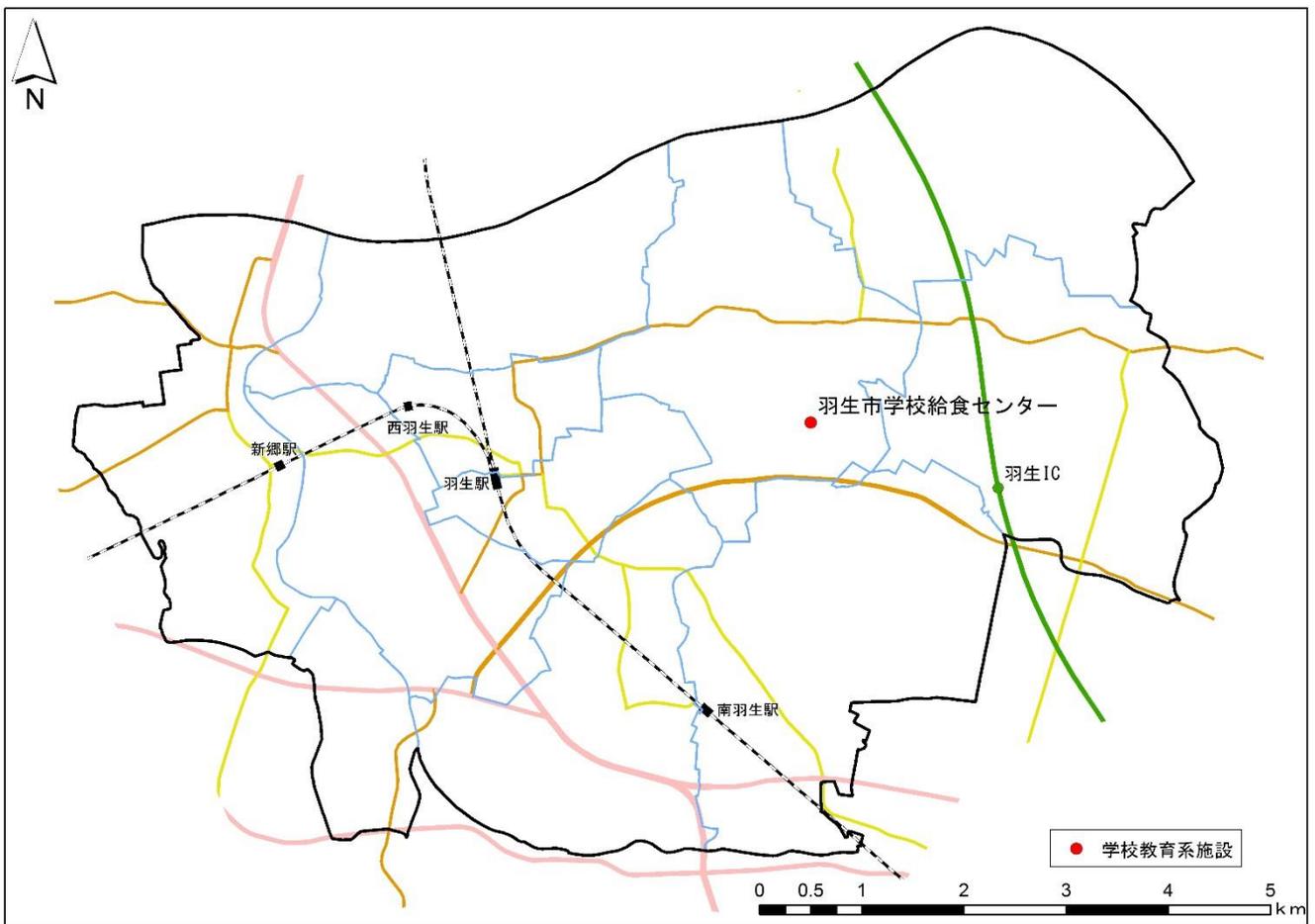
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	1,692 m ² (全体の 1.1 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	100.0 %	0.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	— (対象外)		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	1 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	4,560 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	1,897 万円	1,266 万円	0 万円
	人件費	その他	
	1,397 万円	0 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	—円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	—円
将来の更新等費用	8.46 億円 (全体の 1.4 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> 調理及び運搬業務については民間委託しています。 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 8.4 億円と想定されます。 			

施設

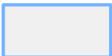


【羽生市学校給食センター】

位置図



凡例

 行政界	 小学校区	 鉄道	 駅
 高速道路	 国道	 主要地方道	 一般県道

(6) 子育て支援施設

【対象施設：保育所（6 施設）】

現況分析			
施設数	6 施設		
延床面積	2,231 m ² (全体の 1.5 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	21.6 %	78.4 %	
児童数 (平成 26 年度)	195 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	5 施設	0 施設	1 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	17,531 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	548 万円	774 万円	0 万円
	人件費	その他	
	16,173 万円	36 万円	
児童 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	899,026 円	児童 1 人当たりの保護者支払額 (市の収入)	－円
将来の更新等費用	11.15 億円 (全体の 1.8 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・羽生市第二保育所は平成 25 年度より休園しています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 11.2 億円と想定されます。 			

施設

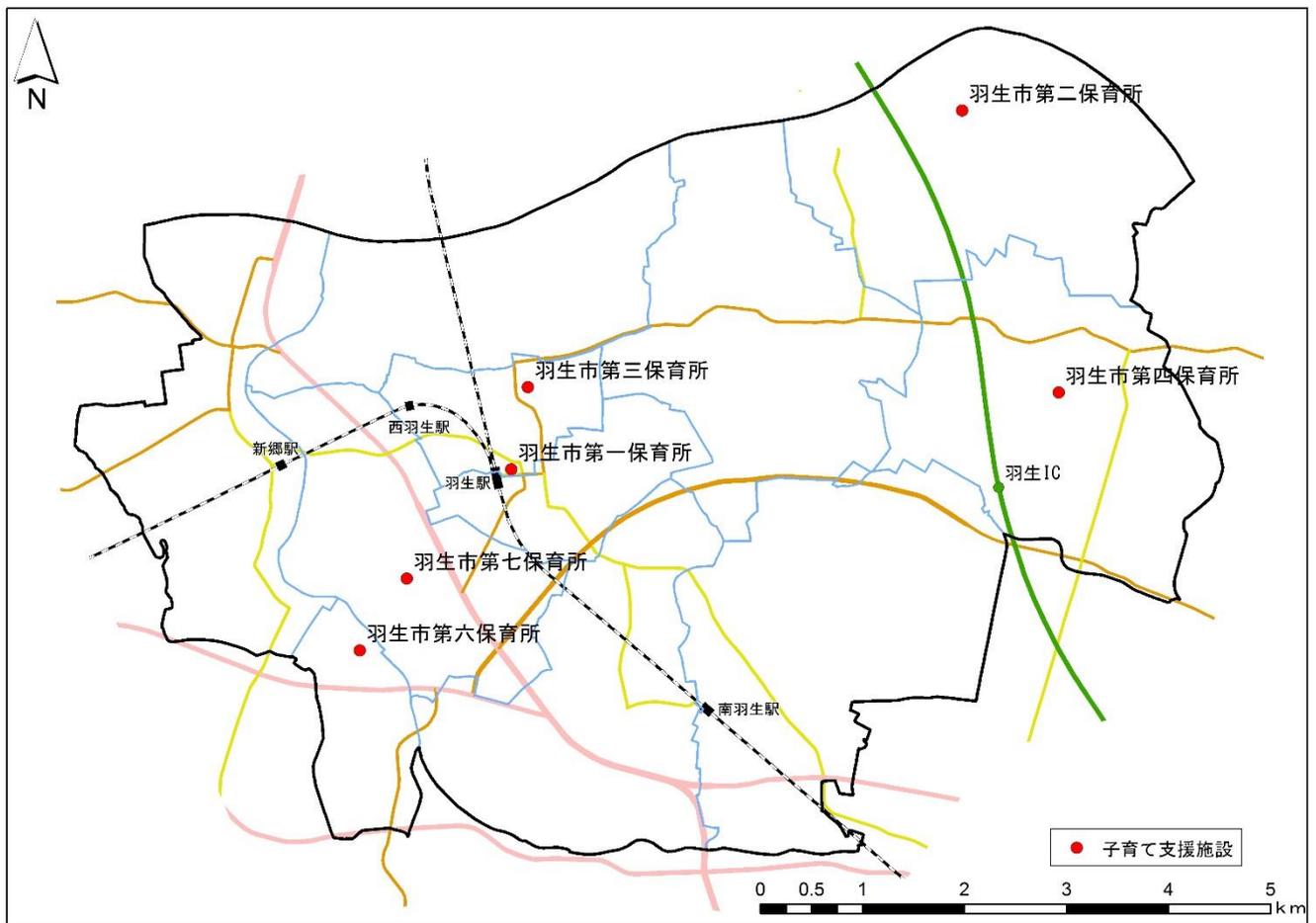


【羽生市第一保育所】

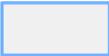


【羽生市第三保育所】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

【対象施設：学童保育室（5施設）】

現況分析			
施設数	5 施設		
延床面積	519 m ² （全体の 0.3 %）		
耐震性を有している施設の割合	100.0%		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	42.2 %	57.8 %	
児童数（平成 26 年度）	194 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	5 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費（平成 26 年度）	3,570 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	43 万円	47 万円	0 万円
	人件費	その他	
	3,480 万円	0 万円	
児童 1 人当たりの市の経費（市の負担）	184,021 円	児童 1 人当たりの保護者支払額（市の収入）	－円
将来の更新等費用	1.76 億円（全体の 0.3 %）		
その他			
<p>・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 1.7 億円と想定されます。</p>			

施設

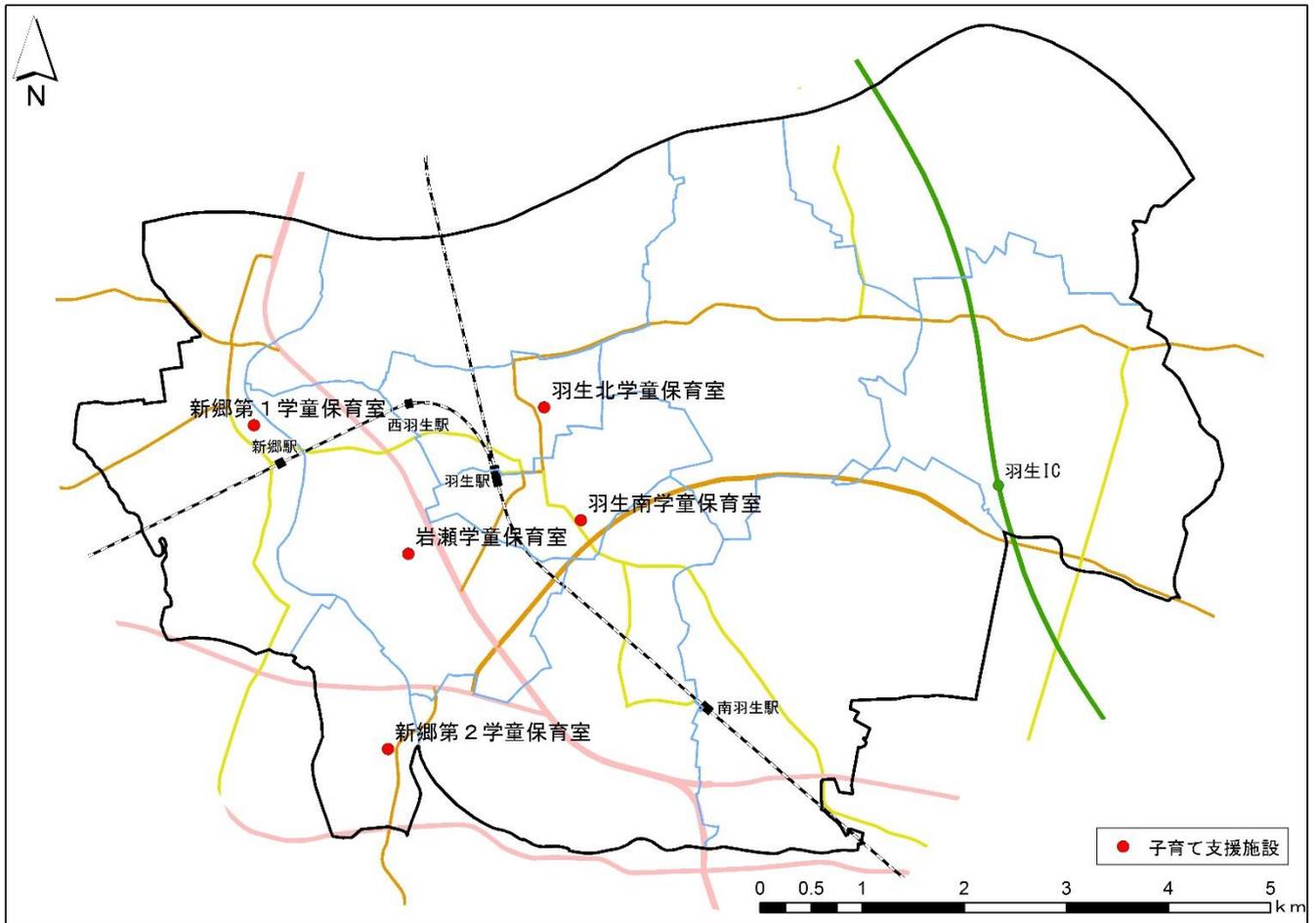


【岩瀬学童保育室】

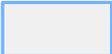


【羽生南学童保育室】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

(7) 保健・福祉施設

【対象施設：羽生市保健センター】

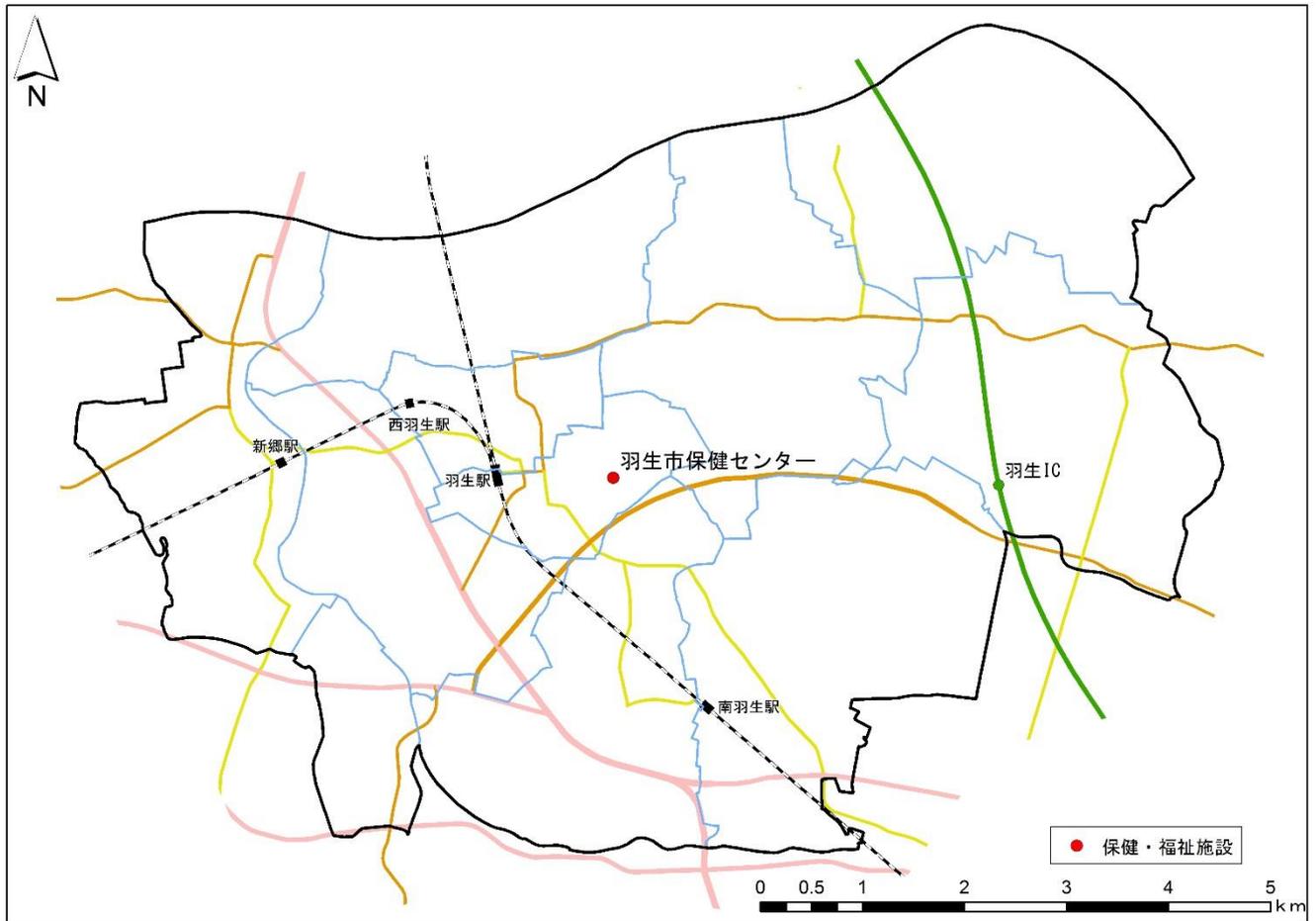
現況分析				
施設数	1 施設			
延床面積	780 m ² (全体の 0.5 %)			
耐震性を有している施設の割合	100.0 %			
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上		
	0.0 %	100.0 %		
利用者数 (平成 26 年度)	9,000 人			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	1 施設	0 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	480 万円			
	内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
		159 万円	169 万円	0 万円
		人件費	その他	
0 万円	152 万円			
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	533 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	－円	
将来の更新等費用	4.51 億円 (全体の 0.7 %)			
その他				
<p>・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 4.5 億円と想定されます。</p>				

施設

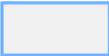


【羽生市保健センター】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

(8) 行政系施設

【対象施設：羽生市役所】

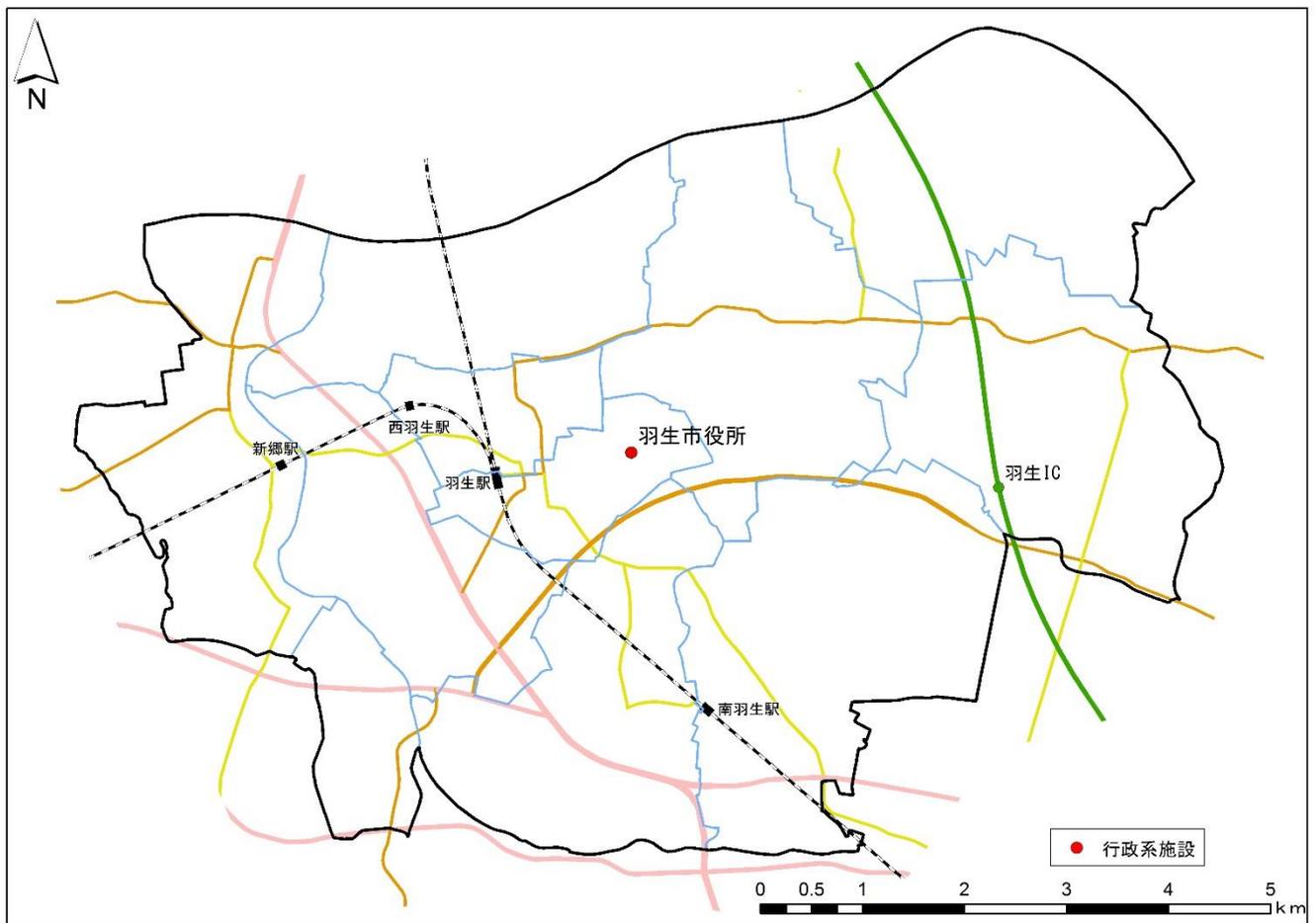
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	8,405 m ² (全体の 5.5 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	0.0 %	100.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	177,957 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	1 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	171,054 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	1,827 万円	4,370 万円	0 万円
	人件費	その他	
	164,857 万円	0 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	9,612 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	－円
将来の更新等費用	34.69 億円 (全体の 5.6 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度に耐震改修を実施しています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 34.7 億円と想定されます。 			

施設

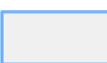


【羽生市役所】

位置図



凡例

 行政界	 小学校区	 鉄道	 駅
 高速道路	 国道	 主要地方道	 一般県道

(9) 公営住宅

【対象施設：宮田団地など 4 施設】

現況分析				
施設数	4 施設			
延床面積	7,292 m ² (全体の 4.8 %)			
耐震性を有している施設の割合	78.9 %			
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上		
	39.0 %	61.0 %		
入居戸数 (平成 26 年度)	100 戸			
運営形態	直営	指定管理	休止中	
	4 施設	0 施設	0 施設	
施設運営経費 (平成 26 年度)	2,714 万円			
	内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
		10 万円	1,363 万円	0 万円
		人件費	その他	
1,341 万円	0 万円			
入居数 1 戸当たりの市の経費 (市の負担)	271,400 円	入居数 1 戸当たりの支払額 (市の収入)	223,800 円	
将来の更新等費用	15.07 億円 (全体の 2.4 %)			
その他				
<ul style="list-style-type: none"> 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 15 億円と想定されます。 市営住宅家賃及び駐車場使用料約 2,238 万円が収入としてあります。 				

施設

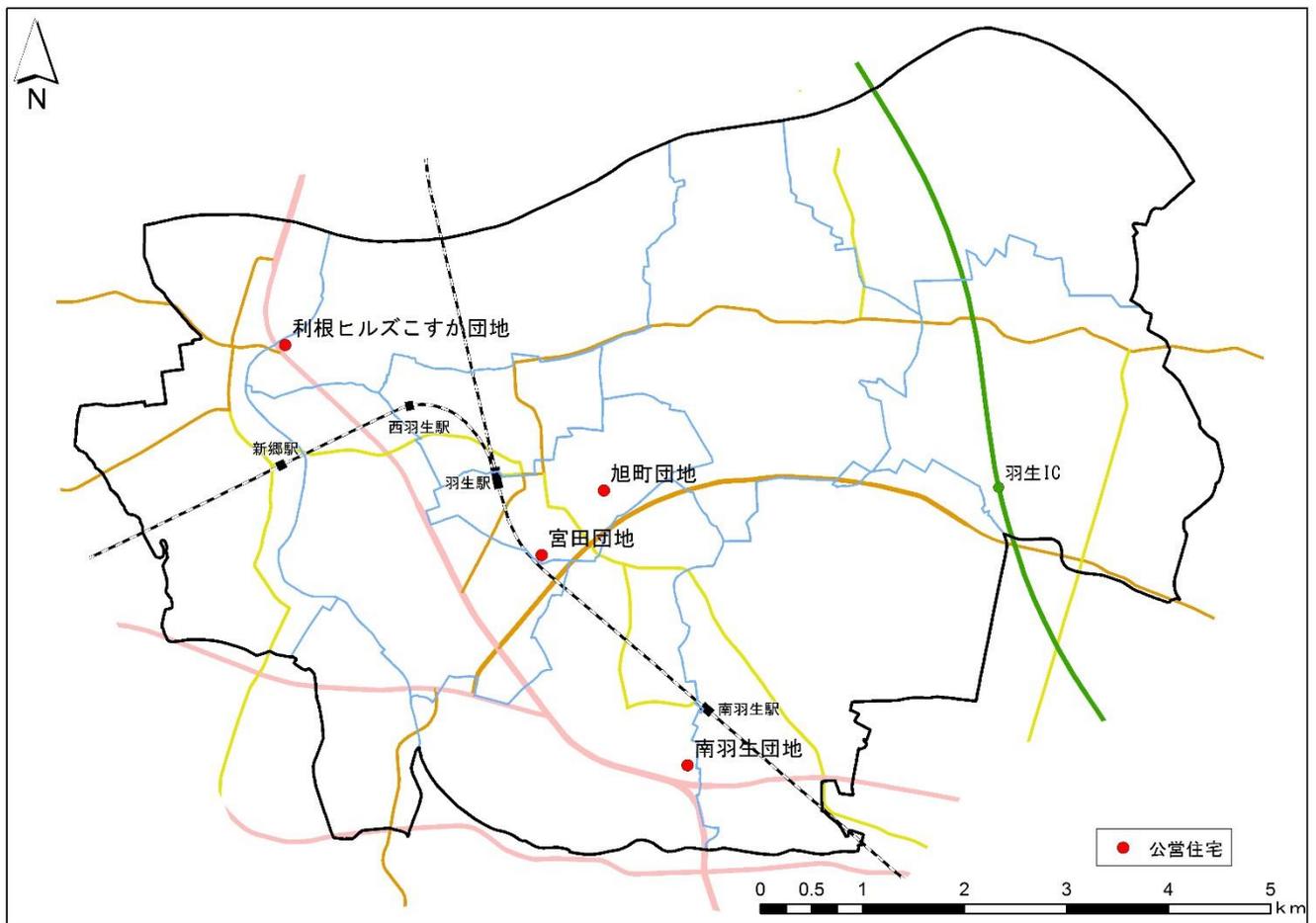


【利根ヒルズこすか団地】

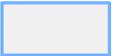


【宮田団地】

位置図



凡例

	行政界		小学校区		鉄道		駅
	高速道路		国道		主要地方道		一般県道

(10) 供給処理施設

【対象施設：羽生市清掃センター、粗大ごみ処理場、羽生市一般廃棄物最終処分場】

現況分析			
施設数	3 施設		
延床面積	3,080 m ² (全体の 2.0 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	48.3 %	51.7 %	
世帯数 (平成 26 年度)	21,940 世帯		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	3 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	40,354 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	6,493 万円	24,315 万円	0 万円
	人件費	その他	
9,543 万円	3 万円		
1 世帯当たりの市の経費 (市の負担)	18,393 円	1 世帯当たりの支払額 (市の収入)	－円
将来の更新等費用	11.94 億円 (全体の 1.9 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・羽生市清掃センターの焼却量は年間約 14,000 トン、粗大ごみ処理場の破砕量は年間約 2,500 トンとなっています。 ・羽生市清掃センターは施設運転業務の一部を民間委託、粗大ごみ処理場と羽生市一般廃棄物最終処分場は施設運転業務の全てを民間委託しています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 12 億円と想定されます。(プラント部分は除く) 			

※1 世帯あたりの市の経費は 21,940 世帯 (平成 27 年 3 月 31 日現在) で算出

施設

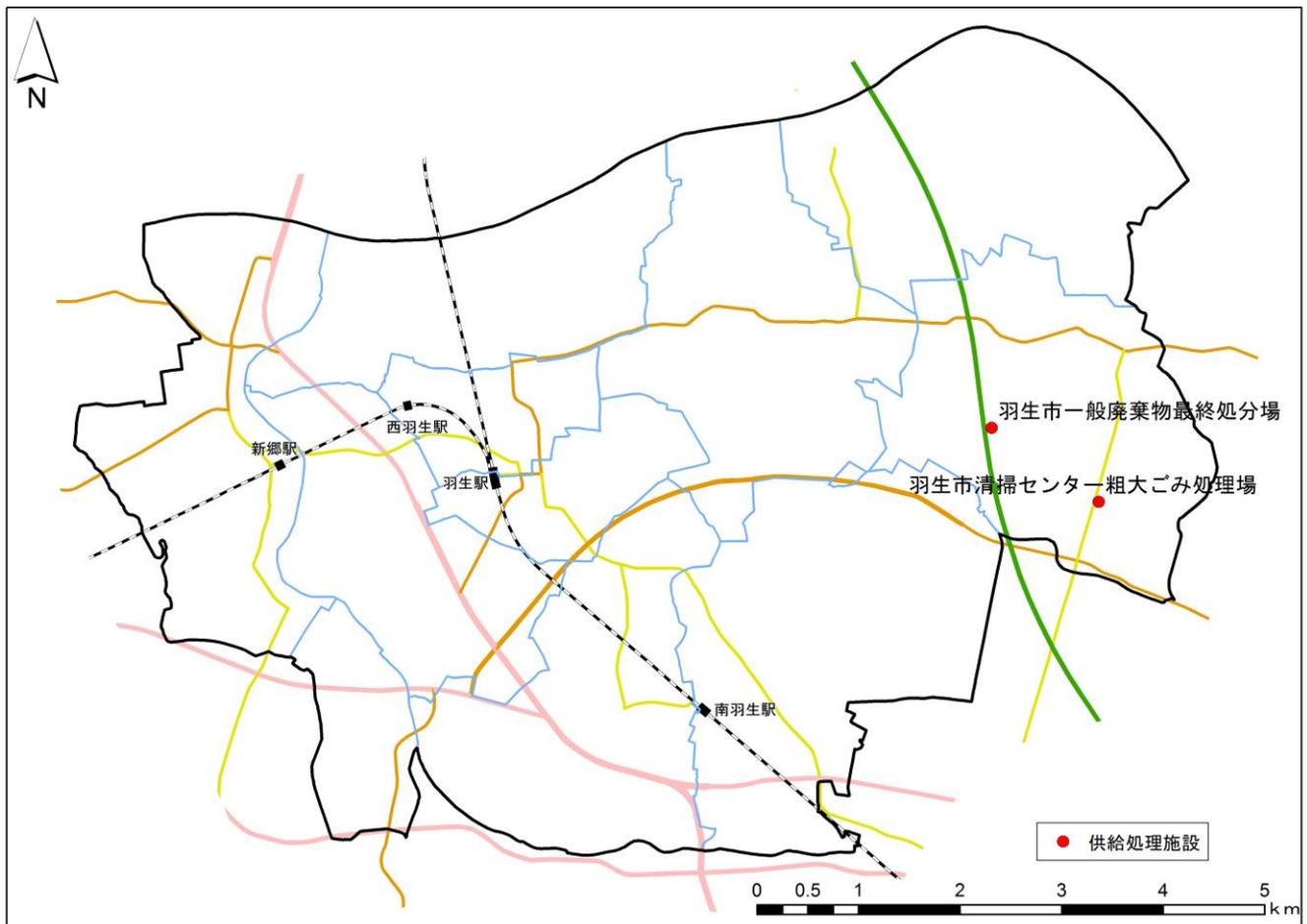


【羽生市清掃センター】



【羽生市一般廃棄物最終処分場】

位置図



【対象施設：羽生市汚泥再生処理センター】

現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	2,519 m ² (全体の 1.7 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	100.0 %	0.0 %	
世帯数 (平成 26 年度)	14,243 世帯		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	1 施設	0 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	10,180 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	3,962 万円	10,538 万円	0 万円
	人件費	その他	
	0 万円	0 万円	
1 世帯当たりの市の経費 (市の負担)	10,180 円	1 世帯当たりの支払額 (市の収入)	－円
将来の更新等費用	5.04 億円 (全体の 0.8 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none"> ・し尿及び浄化槽汚泥収集量は年間約 19,000 キロリットルとなっています。 ・平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 5 億円と想定されます。(プラント部分は除く) 			

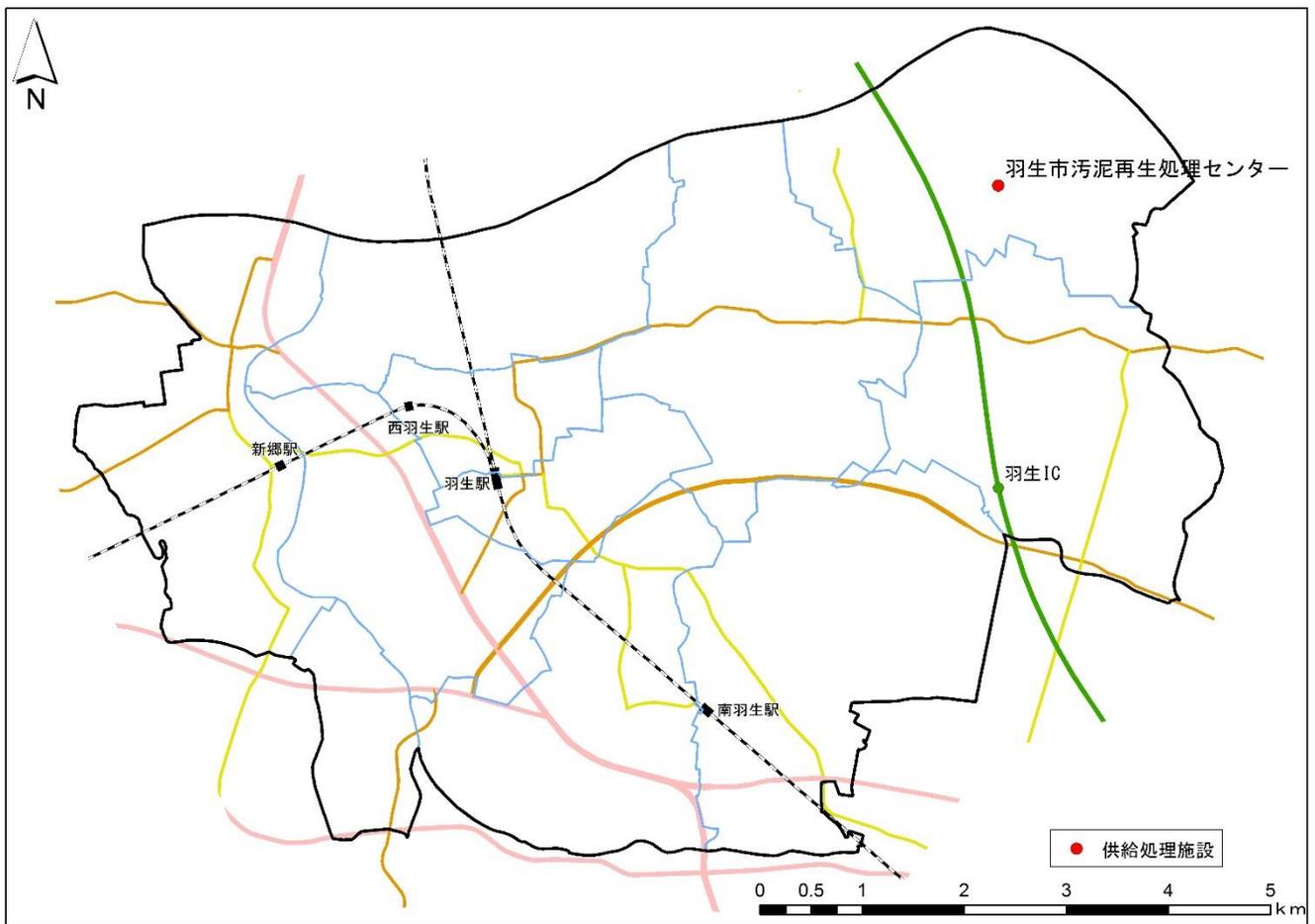
※1 世帯あたりの市の経費は、下水処理世帯を除く 14,243 世帯 (平成 27 年 3 月 31 日現在)で算出

施設



【羽生市汚泥再生処理センター】

位置図



凡例

行政界	小学校区	鉄道	駅
高速道路	国道	主要地方道	一般県道

(11) その他

【対象施設：斎場】

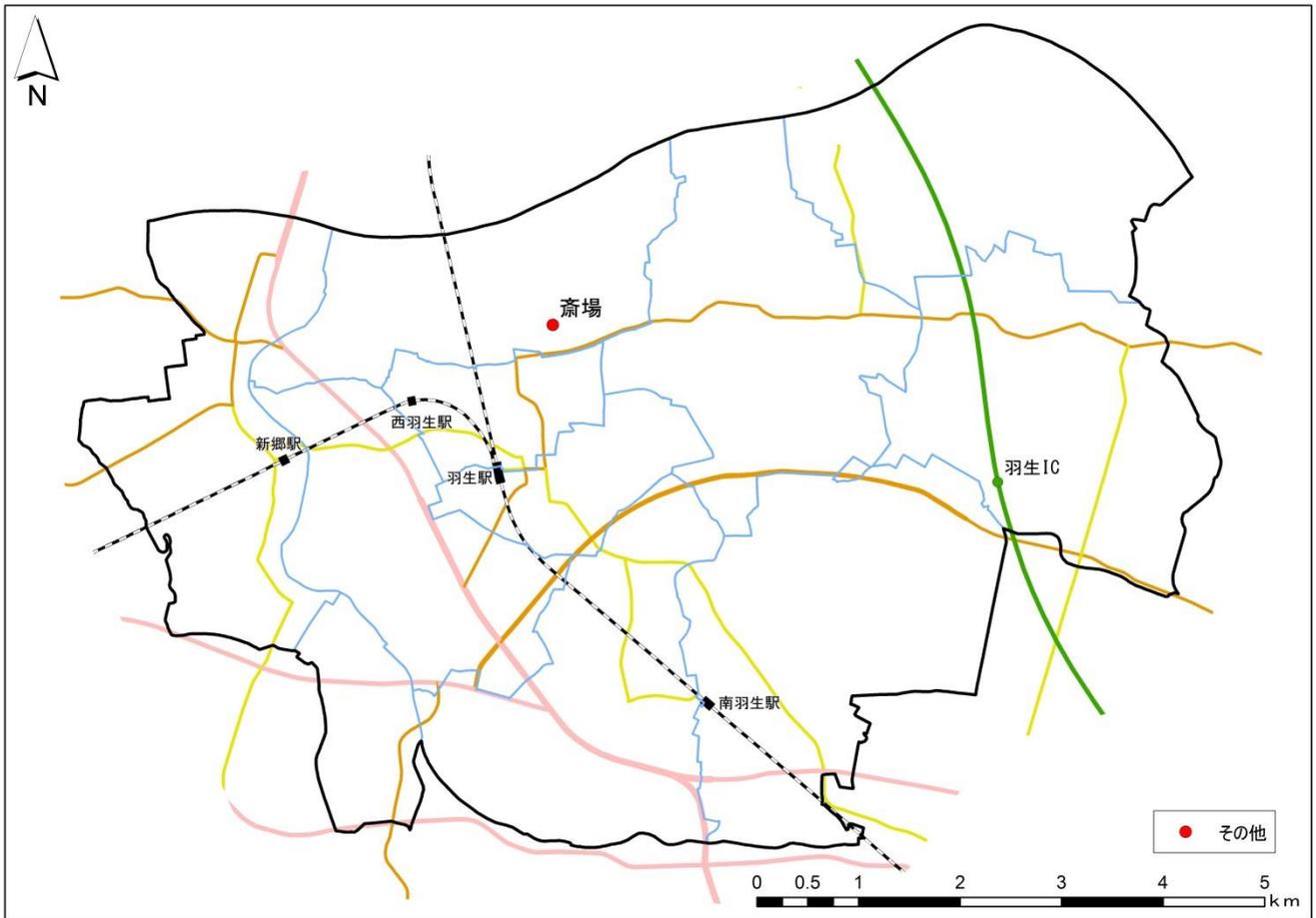
現況分析			
施設数	1 施設		
延床面積	697 m ² (全体の 0.5 %)		
耐震性を有している施設の割合	100.0 %		
経過年別の延床面積の比率	建築後 30 年未満	建築後 30 年以上	
	0.0 %	100.0 %	
利用者数 (平成 26 年度)	10,795 人		
運営形態	直営	指定管理	休止中
	0 施設	1 施設	0 施設
施設運営経費 (平成 26 年度)	2,266 万円		
内訳	光熱水費等	維持保全費	指定管理料
	指定管理料に含む	535 万円	1,731 万円
	人件費	その他	
	指定管理料に含む	0 万円	
利用者 1 人当たりの市の経費 (市の負担)	2,099 円	利用者 1 人当たりの本人支払額 (市の収入)	346 円
将来の更新等費用	2.51 億円 (全体の 0.4 %)		
その他			
<ul style="list-style-type: none">・ 指定管理者による運営となっています。・ 平成 67 年度までの 40 年間の更新等費用は約 2.5 億円と想定されます。・ 斎場使用料約 373 万円が収入としてあります。			

施設

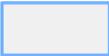


【斎場】

位置図



凡例

 行政界	 小学校区	 鉄道	 駅
 高速道路	 国道	 主要地方道	 一般県道

4章 市民アンケート調査結果

1. 概要

公共施設に関する日常の利用状況や、公共施設の管理・運営のあり方などの公共施設に関する市民の意向を把握するために、アンケート調査を実施しました。

<調査対象者>

- ・平成27年3月31日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出した20歳以上の市民1,500人を対象に実施

<調査方法>

- ・郵送による配布・回収

<回収結果>

- ・標本数：1,500票、回収数：779票、回収率：51.9%

<回答者属性>

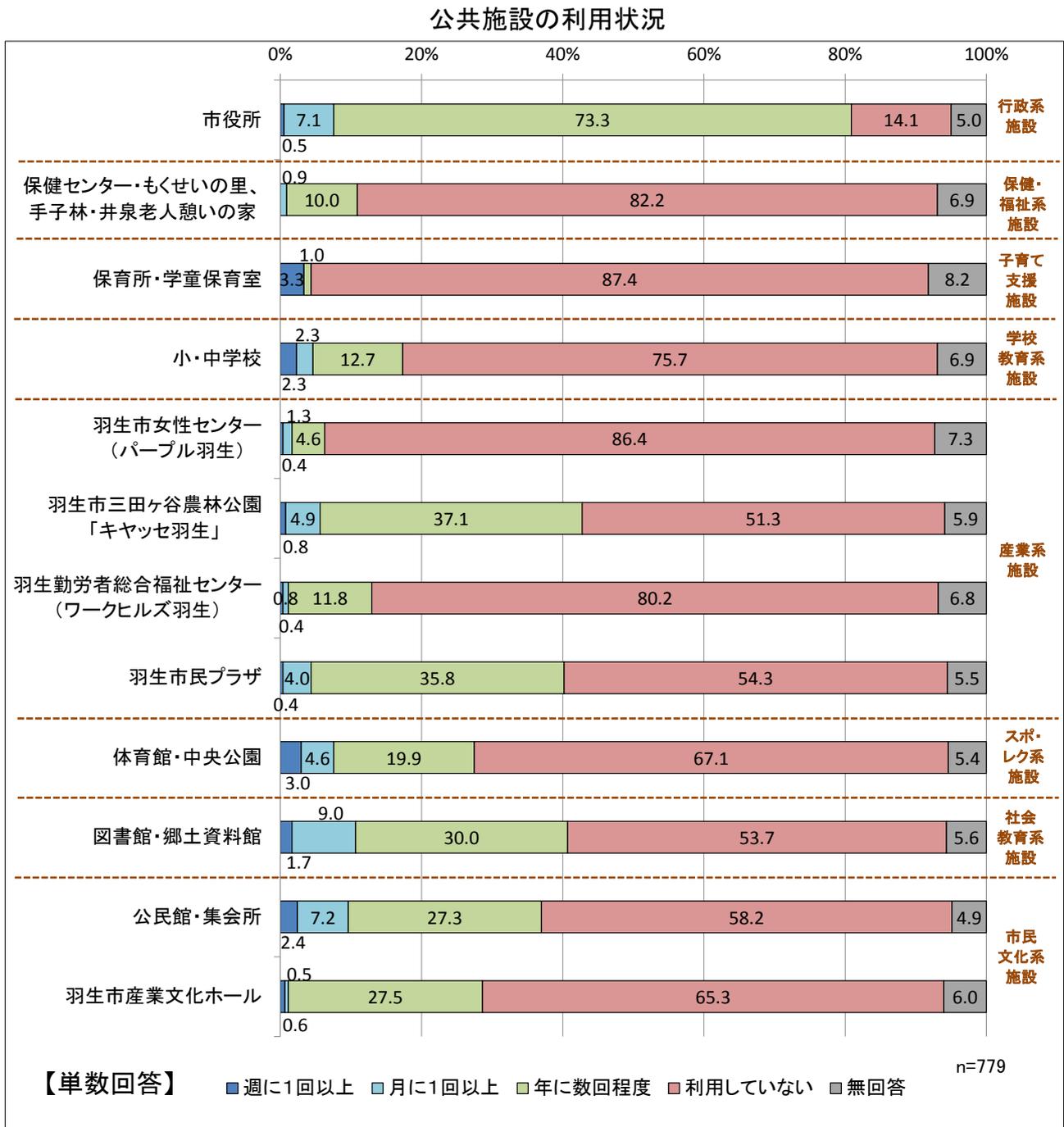
回答者の属性

性別						
男性			女性			
42.9%			56.5%			
年齢						
20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
12.8%	10.4%	15.5%	18.2%	25.2%	17.3%	
居住地区						
羽生地区	南羽生地区	新郷地区	須影地区	岩瀬地区		
35.6%	5.8%	10.3%	8.0%	8.6%		
川俣地区	井泉地区	手子林地区	三田ヶ谷地区	村君地区		
5.4%	9.6%	7.7%	4.9%	3.1%		
職業						
会社員 (公務員を含む)	自営業	パート タイマー・ アルバイト	家事専業	学生	無職	その他
33.9%	6.7%	16.2%	15.5%	2.2%	20.5%	4.4%
居住年数						
1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上
1.4%	2.3%	2.3%	3.5%	4.7%	6.0%	79.2%

2. 公共施設の利用状況

施設ごとの利用状況をみると、利用しているとの回答（週に1回以上、月に1回以上、年に数回程度の合計）が最も多かった施設は市役所で、80.9%を占めており、次いで、羽生市三田ヶ谷農林公園「キャッセ羽生」の42.8%、図書館・郷土資料館の40.7%となっています。また、月1回以上の利用が最も多い施設は図書館・郷土資料館となっています。

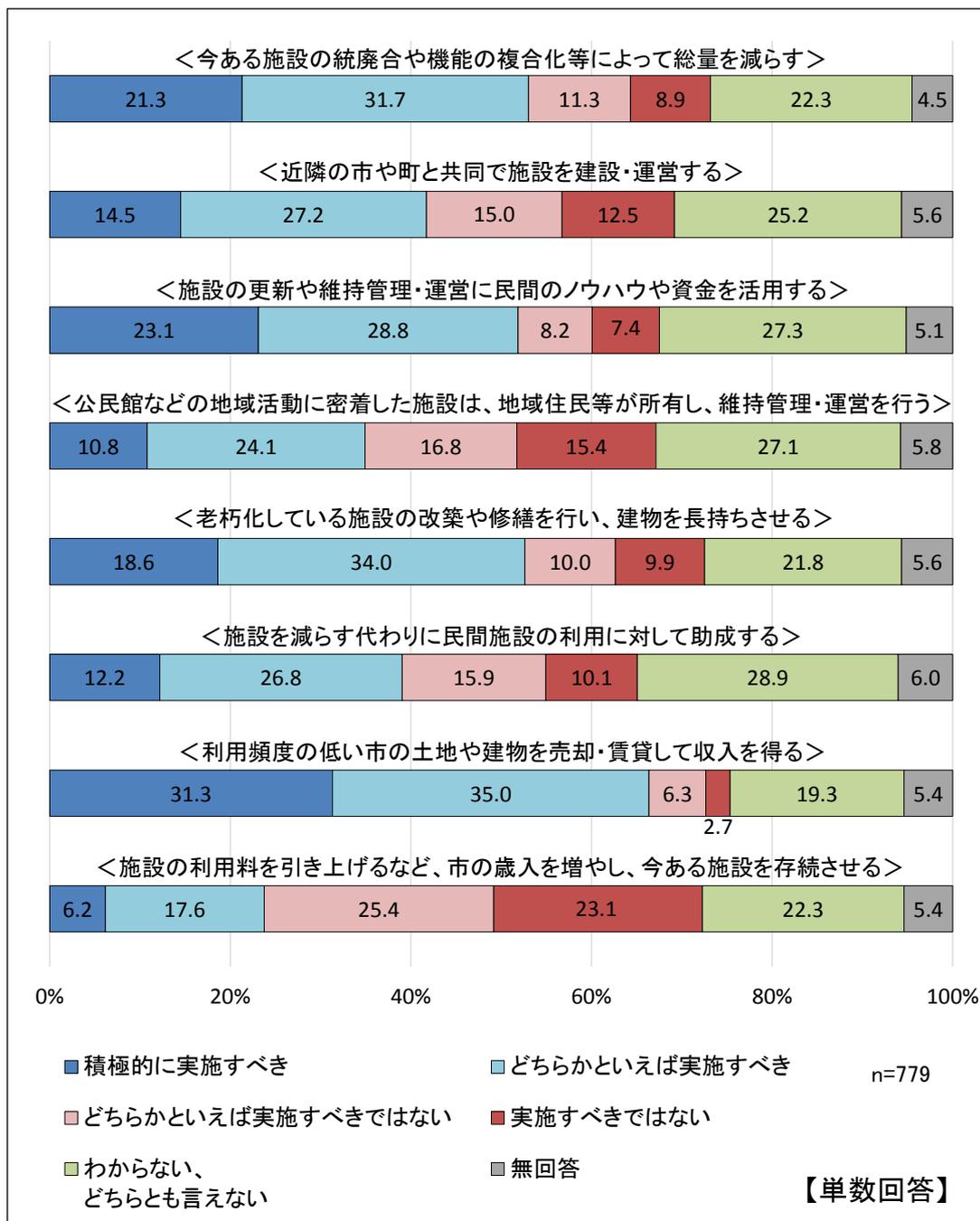
全般的に、「利用していない」が多くなっていますが、その理由としては「利用する機会がない・その他」がすべての施設で最も多くなっています。



3. 将来の公共施設に関する方策

将来の公共施設に関する方策についてみると、最も望まれている方策は「利用頻度の低い市の土地や建物を売却・賃貸して収入を得る」で、「実施すべき」（「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計）が66.3%となっています。次いで「今ある施設の統廃合や機能の複合化等によって総量を減らす」が53.0%、「老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる」が52.6%となっています。

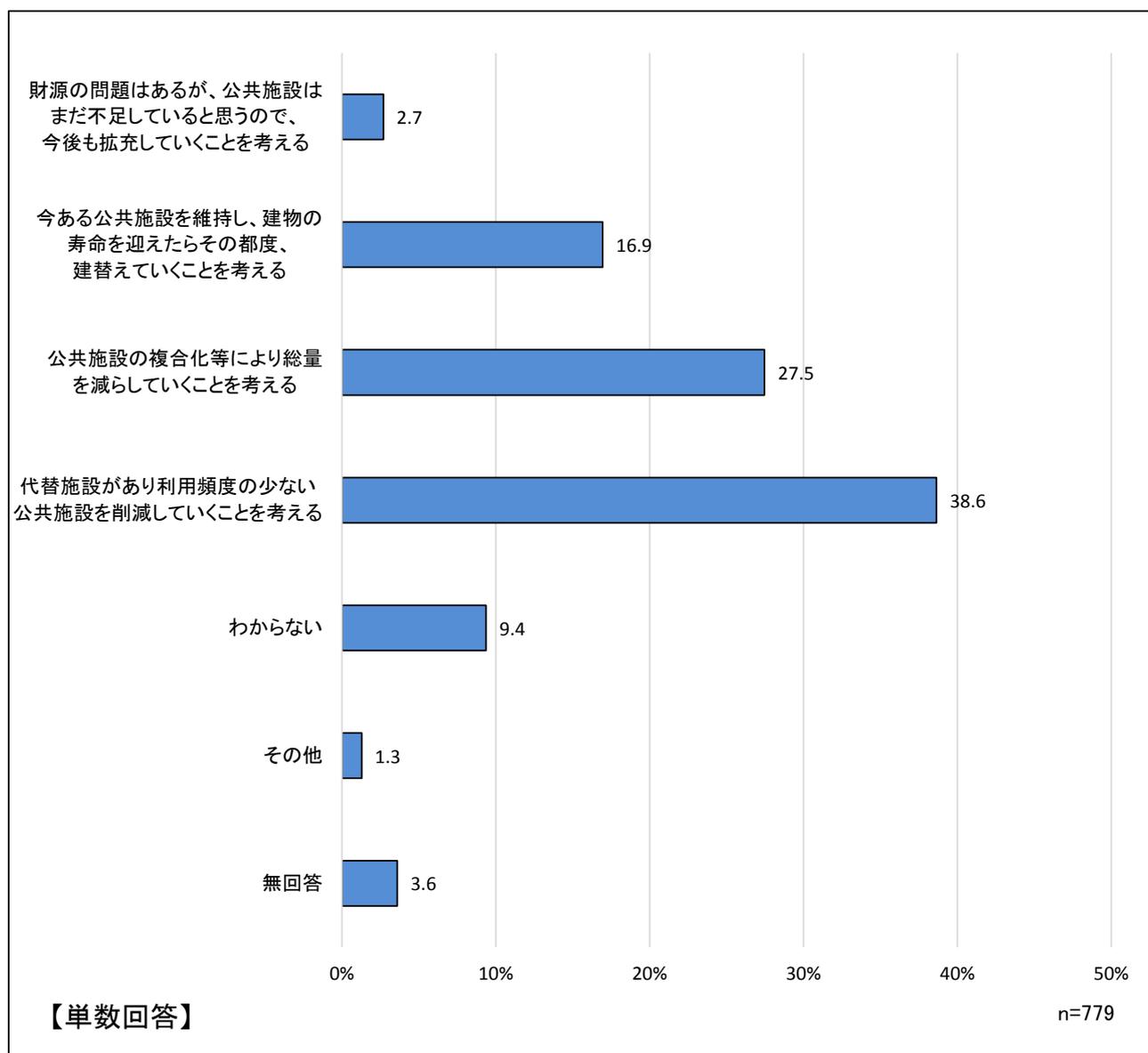
将来の公共施設に関する方策



4. 今後の公共施設のあり方

今後の公共施設の整備や維持管理・運営についてみると、「代替施設があり利用頻度の少ない公共施設を削減していくことを考える」が最も多く 38.6%を占めています。次いで、「公共施設の複合化等により総量を減らしていくことを考える」が 27.5%、「今ある公共施設を維持し、建物の寿命を迎えたらその都度、建替えていくことを考える」が 16.9%となっています。

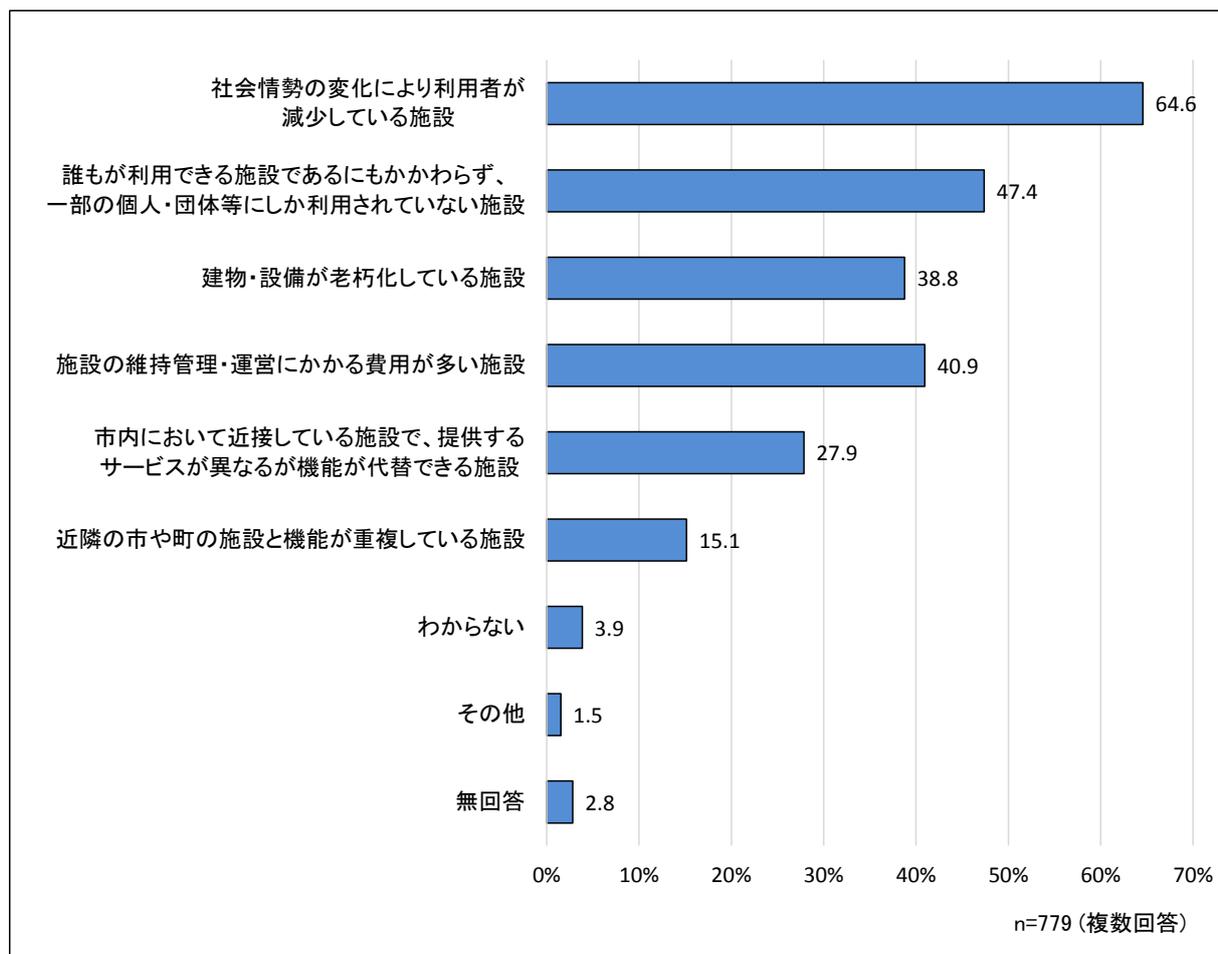
今後の公共施設のあり方



5. 公共施設の削減の考え方

公共施設のうち、削減の対象となりうる施設については、「社会情勢の変化により利用者が減少している施設」が最も多く、64.6%を占めています。次いで、「誰もが利用できる施設であるにもかかわらず、一部の個人・団体等にしか利用されていない施設」が47.4%、「建物・設備が老朽化している施設」、「施設の維持管理・運営にかかる費用が多い施設」が約40%となっています。

削減対象施設の考え方



5章 公共施設の課題

1. 公共施設を取り巻く現状からみた課題

(1) 人口の推移と見通しからみた課題

本市の人口は平成 12 年の約 5 万 7 千人をピークに以降は減少に転じており、平成 42 年には約 4 万 9 千人まで減少するものと予想されています。また、年齢 3 階層別人口では、平成 22 年において高齢者人口の比率が 22.6%を占め、平成 42 年には 32.9%まで上昇するものと予想されています。一方、年少人口及び生産年齢人口は減少傾向であり、今後更に少子高齢化は進行するものと思われます。これらのことから、今後の市の人口構成の変動に伴う市民ニーズの変化に対応した、適正な公共施設の総量や規模及び配置を検討していく必要があります。

(2) 財政状況からみた課題

地方税収入は平成 20 年度の約 80 億円をピークに、以降は 70 億円台後半で推移していますが、今後は生産年齢人口の減少に伴い税収の落込みが懸念されています。また、歳出では、高齢化社会の進行に伴う扶助費の増加が予想されており、財政状況はいっそう厳しくなるものと推測されます。そのため、公共施設の維持管理及び運営においても、限られた財源で効率的な投資を行い、なおかつ機能の維持を図っていく必要があります。

(3) 公共施設の現状からみた課題

本市の公共施設は 84 施設、延床面積は約 15.2 万㎡となっていますが、建築後 30 年以上経過した建物が 76.4%を占めており、老朽化が進んでいます。今後はこれらの施設が随時更新時期を迎え、平成 67 年までの 40 年間に、施設の大規模改修及び更新にかかる費用は約 620 億円と推計され、年平均に換算すると約 16 億円となります。前述したとおり、今後市の財政状況は厳しくなるものと予測されることから、改修・更新等にかかる費用を全体的に抑制するとともに平準化することが必要となります。また、中長期的な視点から、施設総量の適正化や効率的な施設配置についても検討していく必要があります。

2. 市民アンケート調査結果からみた課題

(1) 施設分類ごとの課題

①市民文化系施設

- ・羽生市産業文化ホールの広域的な利用を促進していくことによる施設の有効活用
- ・多くの市民が使いやすくなるような公民館・集会所の適正な配置の検討

②社会教育系施設

- ・施設の適正な維持管理及びサービス水準（利用時間の拡充やレファレンスの充実）の向上

③スポーツ・レクリエーション系施設

- ・施設の予約システムの充実や駐車場の整備など利便性向上による施設の利用促進

④産業系施設

- ・羽生市民プラザにおけるイメージや使い勝手の向上。また、類似施設との機能分担や統合の検討
- ・羽生市民プラザ、羽生市女性センター（パープル羽生）においては、施設の周知等による利用促進及び羽生勤労者総合福祉センター（ワークヒルズ羽生）との機能分担や統合の検討
- ・羽生市三田ヶ谷農林公園「キャッセ羽生」における機能の充実

⑤学校教育系施設

- ・人口動向や地域の年齢構成も踏まえた、適正な施設配置や機能の複合化の検討

⑥子育て支援施設

- ・定住促進を見据えるとともに市民のニーズを踏まえた施設のあり方の検討

⑦保健・福祉施設

- ・市民のニーズを踏まえるとともに、高齢化社会における保健・福祉施設のあり方の検討

⑧行政系施設

- ・市民サービスの充実に向けた市内他施設との連携（窓口設置）や、効率的な施設利用の検討

(2) 公共施設の維持管理等に関する課題

- 需要と供給のバランスに配慮しながら、適正な施設の維持管理を推進
- 公共施設の適正化にあたっては、利用状況や施設の老朽度、運営コストを考慮し、施設の統廃合や機能の複合化を検討
- 利用頻度の低い土地や建物について、民間への売却等による合理的な運用の検討

※レファレンス：図書館で資料・情報を求める利用者に対して提供される文献の紹介、提供などの協力

3. 課題のまとめと検討の方向性

公共施設が抱える課題の解決に向けて、以下の方向性で今後の取組を検討していく必要があります。

《検討の方向性 1 公共施設総量の最適化》

現 状	課 題
○公共施設の老朽化への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後 30 年以上経過した建物は約 80% ・ 老朽化の進行 	■公共施設の大規模改修、更新時期の集中 <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでに整備してきた多くの公共施設の老朽化が進行し、大規模改修及び更新が必要となる時期が集中的に訪れます。 ■全ての公共施設を維持することは困難 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の厳しい財政状況などを考慮すると、市が有している全ての公共施設を維持していくことは困難な状況にあります。
○厳しい財政状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産年齢人口の減少に伴う税収の落込み ・ 高齢化社会の進行に伴う扶助費の増加 	



<p>◎市の人口構成の変化に伴う市民ニーズへの対応や、逼迫する財政状況も踏まえながら、適正な公共施設の総量や規模及び配置の検討</p> <p>【検討の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会構造の変化に対応した供給のあり方 ・ 公共施設の複合化、統廃合のあり方 ・ 効率的な公共施設配置のあり方
--

《検討の方向性 2 効率的な公共施設の維持管理及び運営》

現 状	課 題
○今後も使用していく公共施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 84 施設、144 棟の公共施設 	■効率的な公共施設の維持管理 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の厳しい財政状況などを考慮すると、今後も使用していく公共施設の維持管理の効率化が必要となります。
○厳しい財政状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産年齢人口の減少に伴う税収の落込み ・ 高齢化社会の進行に伴う扶助費の増加 	



<p>◎施設の維持管理及び運営にかかる費用の全体的な抑制及び平準化のための方策の検討</p> <p>【検討の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理費の適正化 ・ 長期的費用の縮減及び平準化 ・ 官民連携のあり方

《検討の方向性3 公共施設の安全性の確保》

現 状	課 題
○公共施設の安全性への対応 ・耐震化未実施の公共施設は約3%	■公共施設の安全性の確保 ・今後も使用していく耐震化未実施の公共施設は、耐震化をおこなっていく必要があります。 ■公共施設の質の維持・向上 ・高齢化社会の進行を踏まえ、必要に応じバリアフリー化等により誰もが使いやすい施設としていく必要があります。
○市民ニーズの変化への対応 ・少子高齢化の進行に伴う社会構造の変化	



◎今後も引き続き利用していく公共施設における安全性の確保及び機能の維持・向上に向けた方策の検討

【検討の視点】

- ・施設の耐震化への対応
- ・予防保全の導入等による機能の維持や施設の長寿命化
- ・老朽化施設の解体・撤去

《検討の方向性4 公共施設マネジメントの推進体制の構築》

現 状	課 題
○公共施設を取り巻く環境の変化 ・社会構造の変動や財政の見直しから、公共施設を取り巻く環境が変化	■全庁的な取組体制 ・公共施設マネジメントについて、全庁的に取り組んでいく必要があります。 ■情報の管理と共有 ・これまで分散していた情報を一元的に管理するための仕組みづくりが必要となっています。
○情報の分散 ・これまでは担当部署で個別に情報を管理していたことにより公共施設の全体の情報把握が困難	



◎継続的な公共施設マネジメントの推進体制の構築に向けた検討

【検討の視点】

- ・庁内横断的な体制づくり
- ・職員の公共施設マネジメントに対する意識の醸成
- ・情報の一元的な管理のための仕組みづくり

6章 資料編

1. 対象施設一覧

本白書で取り扱った施設を以下に示します。また、用いているデータは平成26年度を使用しています。(ただし、運営形態・建築後30年以上経過の施設・耐震改修状況・大規模改修実施年度については、平成27年度末の状況を記載)

※本編で使用している数値は端数の処理の関係で合計値が一致しない場合があります。

・市民文化系施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積(m ²)	運営形態
1	羽生市産業文化ホール	羽生市大字羽生876番地	7,604.00	指定管理
2	羽生市中央公民館	羽生市中央2丁目8番10号	2,125.75	直営
3	羽生市新郷公民館	羽生市大字上新郷5630番地4	554.07	直営
4	羽生市須影公民館	羽生市大字須影714番地	497.30	直営
5	羽生市岩瀬公民館	羽生市大字上岩瀬2367番地	556.02	直営
6	羽生市川俣公民館	羽生市大字川俣630番地	497.30	直営
7	羽生市井泉公民館	羽生市大字藤井上組275番地	543.42	直営
8	羽生市手子林公民館	羽生市大字下手子林805番地	543.42	直営
9	羽生市三田ヶ谷公民館	羽生市大字弥勒634番地1	634.02	直営
10	羽生市村君公民館	羽生市大字下村君2227番地	497.30	直営
11	羽生市須影集会所	羽生市大字須影708番地	209.00	直営
12	羽生市稲子集会所	羽生市大字稲子843番地1	145.74	直営
13	羽生市桑崎集会所	羽生市大字桑崎724番地	135.00	直営
14	羽生市下岩瀬集会所	羽生市大字下岩瀬733番地	397.28	直営
15	羽生市西新田集会所	羽生市大字上新郷6284番地1	113.00	直営
合計			15,052.62	-

・社会教育系施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積(m ²)	運営形態
16	図書館・郷土資料館	羽生市大字下羽生948番地	2,571.23	直営及び委託
17	お種さん資料館	羽生市大字弥勒1536-1	61.00	委託
合計			2,632.23	-

・スポーツ・レクリエーション系施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積(m ²)	運営形態
18	羽生市体育館	羽生市東9丁目1番地1	7,391.15	直営
19	羽生中央公園	羽生市東9丁目1番地1	597.50	直営
合計			7,988.65	-

・産業系施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積(m ²)	運営形態
20	羽生市民プラザ	羽生市中央3丁目7番5号	14,014.45	直営
21	羽生勤労者総合福祉センター(ワークヒルズ羽生)	羽生市大字下羽生1014番地1	1,510.00	指定管理
22	羽生市女性センター(パール羽生)	羽生市南5丁目4番地3	653.33	直営
23	羽生市三田ヶ谷農林公園「キャッセ羽生」	羽生市大字三田ヶ谷1725番地 外	1,595.56	直営
24	羽生市三田ヶ谷農村センター	羽生市大字三田ヶ谷字中新田2277番地	643.81	直営
25	道の駅はにゅう	羽生市大字上新郷7066番地	324.45	指定管理
合計			18,741.60	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
68,516	3,606	1,114	産業文化ホール	1982	○	7,604.00	不要	2014	1
25,694	28,417	10,944	中央公民館	1983	○	2,125.75	不要	-	2
13,480	12,915	3,423	新郷公民館	1985	○	554.07	不要	-	3
10,924	15,498	1,706	須影公民館	1981	○	497.30	実施済み	2014	4
9,957	10,332	2,586	岩瀬公民館	1984	○	556.02	不要	-	5
9,704	12,915	1,814	川俣公民館	1978	○	497.30	実施済み	2013	6
13,906	12,915	2,688	井泉公民館	1982	○	543.42	不要	-	7
17,575	12,915	3,605	手子林公民館	1982	○	543.42	不要	-	8
10,728	15,498	2,304	三田ヶ谷公民館	1984	○	556.02	不要	-	9
			三田ヶ谷公民館(プレイルーム)	1995	-	78.00	不要	-	
7,287	15,498	1,773	村君公民館	1978	○	497.30	実施済み	2015	10
3,323	8,760	1,350	須影集会所	1994	-	209.00	不要	-	11
1,799	5,840	485	稲子集会所	2001	-	145.74	不要	-	12
1,141	5,840	530	桑崎集会所	1974	○	135.00	不要	-	13
4,037	8,760	1,211	下岩瀬集会所	1975	○	397.28	未実施	-	14
470	8,760	203	西新田集会所	1978	○	113.00	不要	-	15
198,541	178,469	35,736	-	-	-	15,052.62	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
75,023	0	0	図書館	1986	○	1,859.84	不要	-	16
			郷土資料館	1986	○	711.39	不要	-	
69	0	0	お種さん資料館	1980	○	61.00	未実施	-	17
75,092	0	0	-	-	-	2,632.23	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
107,226	21,888	6,276	体育館	1979	○	6,328.15	実施済み	2012	18
			体育館サブアリーナ	2002	-	1,063.00	不要	-	
36,884	21,600	6,138	陸上競技場メインスタンド	1986	○	299.50	不要	2012	19
			中央公園物置(格納庫)	1986	○	90.00	不要	-	
			中央公園メイントイレ	1988	-	154.00	不要	-	
			中央公園管理棟	1972	○	54.00	未実施	-	
144,110	43,488	12,414	-	-	-	7,988.65	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
116,454	70,224	11,119	羽生市民プラザ	1982	○	14,014.45	不要	1999	20
47,824	20,262	8,166	ワークヒルズ羽生	1992	-	1,510.00	不要	-	21
17,191	15,660	4,851	パール羽生	1969	○	653.33	不要	1997	22
282,474	0	0	加工体験棟	1999	-	406.00	不要	-	23
			第二農業物産館	2010	-	87.56	不要	-	
			レストラン・地ビール工房	2000	-	514.00	不要	-	
			農業体験棟	2000	-	318.00	不要	-	
			農業物産館	1999	-	270.00	不要	-	
4,927	0	0	三田ヶ谷農村センター	1978	○	643.81	未実施	-	24
209,170	0	0	道の駅はにゅう	2007	-	324.45	不要	-	25
678,040	106,146	24,136	-	-	-	18,741.60	-	-	-

・学校教育系施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
26	羽生北小学校	羽生市北2丁目1番1号	6,769.00	直営
27	新郷第一小学校	羽生市大字上新郷5716番地	3,955.00	直営
28	新郷第二小学校	羽生市大字下新郷1099番地	2,320.00	直営
29	須影小学校	羽生市大字須影672番地	3,970.00	直営
30	岩瀬小学校	羽生市大字上岩瀬1756番地	4,017.00	直営
31	川俣小学校	羽生市大字本川俣629番地	3,544.00	直営
32	井泉小学校	羽生市大字藤井上組270番地	4,570.00	直営
33	手子林小学校	羽生市大字下手子林555番地	4,413.00	直営
34	三田ヶ谷小学校	羽生市大字弥勒87番地	3,413.00	直営
35	村君小学校	羽生市大字堤107番地	2,444.00	直営
36	羽生南小学校	羽生市南6丁目5番地1	5,469.00	直営
37	西中学校	羽生市大字羽生120番地	9,378.00	直営
38	南中学校	羽生市大字中岩瀬226番地	8,840.00	直営
39	東中学校	羽生市大字今泉1448番地	8,132.00	直営
40	准看護学校	羽生市中央1丁目1550番16号	429.00	委託
41	羽生市学校給食センター	羽生市大字藤井下組685番地	1,692.00	直営及び委託
合計			73,355.00	-

施設情報			建物情報						
児童・生徒数 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
475	0	0	羽生北小学校プール施設	1990	-	76.00	不要	-	26
			羽生北小学校屋内運動場	1991	-	978.00	不要	-	
			羽生北小学校校舎1号館	1992	-	2,847.00	不要	-	
			羽生北小学校校舎2号館	1969	○	2,696.00	実施済み	2014	
149	0	0	羽生北小学校校舎3号館	1980	○	172.00	不要	2014	27
			新郷第一小学校プール施設	1996	-	66.00	不要	-	
			新郷第一小学校屋内運動場	1986	○	750.00	不要	2013	
108	0	0	新郷第一小学校校舎	1982	○	3,139.00	不要	-	28
			新郷第二小学校屋内運動場	1983	○	601.00	不要	2007	
			新郷第二小学校校舎	1981	○	1,680.00	不要	-	
309	0	0	新郷第二小学校プール施設	1983	○	39.00	不要	-	29
			須影小学校校舎2号館	1985	○	893.00	不要	-	
			須影小学校屋内運動場	1986	○	750.00	不要	2015	
260	0	0	須影小学校プール施設	1985	○	53.00	不要	-	30
			須影小学校校舎1号館	1985	○	2,274.00	不要	-	
			岩瀬小学校プール施設	1986	○	39.00	不要	-	
137	0	0	岩瀬小学校校舎	1979	○	3,229.00	実施済み	2010	31
			岩瀬小学校屋内運動場	1982	○	749.00	不要	2012	
			川俣小学校校舎	1983	○	2,728.00	不要	-	
389	0	0	川俣小学校プール施設	1998	-	66.00	不要	-	32
			川俣小学校屋内運動場	1985	○	750.00	不要	-	
			井泉小学校校舎1号館	1973	○	2,770.00	実施済み	1996	
379	0	0	井泉小学校校舎2号館	1980	○	998.00	不要	2011	33
			井泉小学校屋内運動場	1981	○	749.00	実施済み	2007	
			井泉小学校プール施設	1985	○	53.00	不要	-	
116	0	0	手子林小学校屋内運動場	1989	-	750.00	不要	-	34
			手子林小学校校舎	1989	-	3,609.00	不要	-	
			手子林小学校プール施設	1989	-	54.00	不要	-	
50	0	0	三田ヶ谷小学校屋内運動場	1983	○	750.00	不要	2014	35
			三田ヶ谷小学校校舎	1978	○	2,597.00	実施済み	2009	
			三田ヶ谷小学校プール施設	2000	-	66.00	不要	-	
418	0	0	村君小学校校舎	1982	○	1,733.00	不要	-	36
			村君小学校プレイルーム棟	1989	-	150.00	不要	-	
			村君小学校屋内運動場	1973	○	495.00	実施済み	2008	
			村君小学校プール施設	1997	-	66.00	不要	-	
505	0	0	羽生南小学校屋内運動場	1977	○	974.00	実施済み	2001	37
			羽生南小学校校舎1号館	1977	○	1,441.00	実施済み	1998	
			羽生南小学校校舎2号館	1977	○	2,835.00	実施済み	1998	
			羽生南小学校プール施設	1977	○	88.00	不要	-	
			生活科室棟	1981	○	131.00	不要	-	
530	0	0	西中学校校舎2号館	2003	-	1,032.00	不要	-	38
			西中学校プール施設	1964	○	26.00	不要	-	
			西中学校校舎3号館	1982	○	1,536.00	不要	-	
			西中学校校舎1号館	1995	-	4,097.00	不要	-	
			西中学校屋内運動場	1994	-	2,687.00	不要	-	
521	0	0	南中学校校舎A棟	1979	○	4,556.00	実施済み	2011	39
			南中学校校舎B棟	1979	○	2,724.00	実施済み	2011	
			南中学校屋内運動場	1980	○	1,489.00	実施済み	2005	
			南中学校プール施設	1979	○	71.00	不要	-	
60	0	0	東中学校屋内運動場	1981	○	1,489.00	実施済み	2006	40
			東中学校プール施設	1981	○	64.00	不要	-	
			東中学校校舎A棟	1980	○	3,865.00	実施済み	2013	
			東中学校校舎B棟	1980	○	2,714.00	不要	2014	
0	0	0	准看護学校	1972	○	429.00	未実施	-	41
0	0	0	学校給食センター	1990	-	1,692.00	不要	-	-
4,406	0	0	-	-	-	73,355.00	-	-	-

・子育て支援施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
42	羽生市第一保育所	羽生市中央1丁目3番23号	372.00	直営
43	羽生市第二保育所	羽生市大字下村君2267番地の1	395.87	休止中
44	羽生市第三保育所	羽生市北2丁目5番22号	481.00	直営
45	羽生市第四保育所	羽生市大字与兵工衛新田119番地	370.34	直営
46	羽生市第六保育所	羽生市大字下新田113番地	272.00	直営
47	羽生市第七保育所	羽生市大字下岩瀬731番地の2	339.52	直営
48	羽生南学童保育室	羽生市南6丁目2番地15号	119.00	直営
49	岩瀬学童保育室	羽生市大字上岩瀬1756番地	59.00	直営
50	羽生北学童保育室	羽生市北2丁目1番1号	181.00	直営
51	新郷第1学童保育室	羽生市大字上新郷5716番地	107.00	直営
52	新郷第2学童保育室	羽生市大字下新郷1099番地	53.00	直営
合計		-	2,749.73	-

・保健・福祉施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
53	羽生市清和園	羽生市大字上岩瀬379番地	984.54	指定管理
54	羽生市保健センター	羽生市東7丁目5番地2	779.73	直営
55	羽生市もくせいの里	羽生市大字下手子林691番地2	205.92	指定管理
56	羽生市手子林老人憩の家	羽生市大字下手子林803番地	102.00	直営
57	羽生市井泉老人憩の家	羽生市大字藤井上組275番地2	100.00	直営
合計		-	2,172.19	-

・行政系施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
58	羽生市役所	羽生市東6丁目15番地	8,405.23	直営
59	羽生市消防本部	羽生市大字藤井下組990番地1	2,444.17	直営
60	羽生市消防署 西分署	羽生市大字上岩瀬718番地の1	330.52	直営
61	羽生第1消防センター	羽生市中央4丁目4297-1 外	86.94	直営
62	羽生第2消防センター	羽生市中央2丁目79番の1の一部	88.80	直営
63	新郷消防センター	羽生市大字上新郷5956-1	117.60	直営
64	岩瀬消防センター	羽生市大字中岩瀬1324の一部 外	70.38	直営
65	川俣消防センター	羽生市大字本川俣527-2	108.30	直営
66	井泉消防センター	羽生市大字藤井上組148-2	107.90	直営
67	須影消防センター	羽生市大字須影1582-7	107.90	直営
68	手子林第1消防センター	羽生市大字下手子林920-1	107.90	直営
69	手子林第2消防センター	羽生市大字中手子林986-6 外	70.38	直営
70	村君消防センター	羽生市大字下村君1615-1の一部	70.38	直営
71	三田ヶ谷消防センター	羽生市大字与兵工衛新田121-1 外	107.90	直営
72	羽生駅自由通路	羽生市南1丁目1番62号	1,252.59	直営
73	西羽生駅自由通路	羽生市西5丁目35番2号	254.00	直営
合計		-	13,730.89	-

施設情報			建物情報						
児童・生徒数 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
33	0	0	第1保育所	1982	○	372.00	不要	-	42
0	0	0	第2保育所	1982	○	395.87	不要	-	43
48	0	0	第3保育所	1995	-	481.00	不要	-	44
38	0	0	第4保育所	1979	○	370.34	実施済み	-	45
29	0	0	第6保育所	1972	○	272.00	実施済み	-	46
47	0	0	第7保育所	1975	○	339.52	実施済み	-	47
48	0	0	羽生南学童保育室	1961	○	119.00	不要	-	48
43	0	0	岩瀬学童保育室	1995	-	59.00	不要	-	49
65	0	0	羽生北学童保育室	1980	○	181.00	不要	2014	50
24	0	0	新郷第1学童保育室	1996	-	107.00	不要	-	51
14	0	0	新郷第2学童保育室	1996	-	53.00	不要	-	52
389	0	0	-	-	-	2,749.73	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
24	0	0	入所棟	1970	○	838.54	未実施	-	53
			付属棟	1970	○	146.00	未実施	-	
9,000	0	0	保健センター	1980	○	779.73	実施済み	-	54
9	0	0	もくせいの里	2000	-	205.92	不要	2011	55
2,265	0	0	手子林老人憩いの家	1995	-	102.00	不要	-	56
2,301	0	0	井泉老人憩いの家	1996	-	100.00	不要	-	57
13,599	0	0	-	-	-	2,172.19	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
177,957	0	0	市役所車庫	1983	○	429.23	不要	-	58
			本庁舎	1974	○	7,976.00	実施済み	2013	
0	0	0	防災資機材備蓄倉庫	1993	-	196.56	不要	-	59
			消防本部	1992	-	1,959.61	不要	-	
			訓練塔(A塔)	1993	-	180.00	不要	-	
			訓練塔(B塔)	1993	-	108.00	不要	-	
0	0	0	西分署	1977	○	330.52	不要	-	60
0	0	0	羽生第1消防センター	1994	-	86.94	不要	-	61
0	0	0	羽生第2消防センター	1978	○	88.80	未実施	-	62
0	0	0	新郷消防センター	1979	○	117.60	未実施	-	63
0	0	0	岩瀬消防センター	2010	-	70.38	不要	-	64
0	0	0	川俣消防センター	1996	-	108.30	不要	-	65
0	0	0	井泉消防センター	1997	-	107.90	不要	-	66
0	0	0	須影消防センター	1999	-	107.90	不要	-	67
0	0	0	手子林第1消防センター	1998	-	107.90	不要	-	68
0	0	0	手子林第2消防センター	2012	-	70.38	不要	-	69
0	0	0	村君消防センター	2008	-	70.38	不要	-	70
0	0	0	三田ヶ谷消防センター	2000	-	107.90	不要	-	71
0	0	0	羽生駅自由通路	2004	-	1,252.59	不要	-	72
0	0	0	西羽生駅自由通路	1981	○	254.00	不要	2013	73
177,957	0	0	-	-	-	13,730.89	-	-	-

・公営住宅

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
74	宮田団地	羽生市南8丁目16番5号	1,454.72	直営
75	南羽生団地	羽生市南羽生3丁目26番2号	1,454.72	直営
76	利根ヒルズこすか団地	羽生市大字小須賀878番地1	2,843.28	直営
77	旭町団地	羽生市南5丁目22番地2号	1,538.86	直営
合計		-	7,291.58	-

・供給処理施設

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
78	羽生市清掃センター	羽生市大字三田ヶ谷1863	1,591.58	直営及び委託
79	粗大ごみ処理場	羽生市大字三田ヶ谷1863	898.88	委託
80	羽生市汚泥再生処理センター	羽生市大字下村君1252	2,519.08	委託
81	羽生市一般廃棄物最終処分場	羽生市大字弥勒553-1	590.00	委託
合計		-	5,599.54	-

・その他

施設情報				
施設番号	施設名	所在地	延床面積 (㎡)	運営形態
82	斎場	羽生市東3丁目42番2号	696.88	指定管理
83	旧し尿処理場	羽生市東9丁目2268-1	1,254.25	-
84	旧第五保育所	羽生市大字上岩瀬390番地1	288.00	-
合計		-	2,239.13	-

施設情報		建物情報						
管理戸数 (戸)	入居戸数 (戸)	棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
24	24	宮田団地	1977	○	1,454.72	不要	2009	74
24	24	南羽生団地	1981	○	1,454.72	不要	2007	75
36	36	利根ヒルズこすか団地	1996	-	2,843.28	不要	2009	76
36	16	旭町団地3号棟	1971	○	256.48	未実施	-	77
		旭町団地7号棟	1972	○	256.48	未実施	-	
		旭町団地6号棟	1972	○	170.98	未実施	-	
		旭町団地4号棟	1971	○	256.48	未実施	-	
		旭町団地2号棟	1971	○	170.98	未実施	-	
		旭町団地1号棟	1971	○	170.98	未実施	-	
旭町団地5号棟	1972	○	256.48	未実施	-			
120	100	-	-	-	7,291.58	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
0	0	0	清掃センター	1983	○	1,591.58	不要	2008	78
0	0	0	粗大ごみ処理場	1988	-	898.88	不要	-	79
0	0	0	汚泥再生処理センター	2005	-	2,519.08	不要	-	80
0	0	0	一般廃棄物最終処分場	1997	-	590.00	不要	-	81
0	0	0	-	-	-	5,599.54	-	-	-

施設情報			建物情報						
利用者数等 (人)	貸室等(時間)		棟名称	建築 年度	建築後30年 以上経過の 施設	延床面積 (㎡)	耐震改修 状況	大規模改修 実施年度	施設 番号
	利用可能 時間	稼働時間							
10,795	1,830	527	斎場	1977	○	696.88	実施済み	1993	82
-	-	-	管理室兼機械室ほか	1965	○	1,254.25	-	-	83
-	-	-	旧第5保育所	1968	○	288.00	-	-	84
10,795	1,830	527	-	-	-	2,239.13	-	-	-

2. 用語集

用 語（五十音別）		説 明
あ	一般会計	地方公共団体の会計の中心をなすもので、基本的な行政運営の経費を網羅し計上する会計名称を指します。
か	義務的経費	支出が義務的で任意では削減できない経費であり、歳出のうち人件費、公債費、扶助費のことをいいます。
	旧耐震基準	建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、昭和56年5月31日までの建築確認において適用されていた基準を指します。震度5強程度の揺れでも建物が倒壊せず、破損したとしても補修することで生活が可能な構造基準として設定されています。
	繰出金	一般会計から特別会計等に対して支払う経費であり、本白書では、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療（老人保健医療）等に対する一般会計の負担金のことをいいます。
	経常的経費	毎年持続して固定的に支出される経費です。
	公営事業会計	法律の規定により、いずれの団体も特別会計を設けてその経理を行わなければならない公営企業や事業に係る会計をいいます。
	公債費	地方自治体が借り入れた地方債（借金）の元金と利子の償還（返済）金および一時借入金の利子の合算額のことをいいます。
	国庫支出金 （都道府県支出金）	国や県から市へ交付される補助金等の総称のことです。
さ	施設の更新	現状存在する施設や設備の全部または一部を撤去し、新しい施設や設備を設置することです。例えば建築物系施設の建替えが該当します。
	指定管理者制度	地方自治体やその外郭団体に限定していた公の施設（体育館、文化施設、社会福祉施設など）の管理を、多様化する住民ニーズに対応するため、民間事業者などのノウハウを積極的に活用することで、住民サービスの向上と経費の節減を目的とする制度です。
	新耐震基準	建築物の設計において適用される地震に耐えることのできる構造の基準で、昭和56年6月1日以降の建築確認において適用されている基準を指します。震度6強から7程度の揺れでも倒壊しないような構造基準として設定されています。

用 語（五十音別）		説 明
た	大規模改修	建物の主要な構造部等（壁、屋根、設備等）の一種以上において、全体の過半を超えて改修等を実施することです。
	地方税	市民税（個人、法人）、固定資産税、軽自動車税など市が収入する税の総称のことです。
	地方交付税	国と地方の財源調整と地域間の財源の偏りを調整するため、国が地方へ交付する交付金のことをいいます。
	投資的経費	学校、ごみ処理施設等、将来に残る施設等を整備するための経費のことをいいます。
	特別会計	法律で特別会計とすることが決められている国民健康保険会計や老人保健会計などの事業会計や、市町村が独自に設けている交通災害共済事業会計、土地取得会計など普通会計に属する特別会計、さらには競輪などの収益事業会計や公営企業会計に区分されます。
な	延床面積	建築物の各階の床面積の合計のことをいいます。
は	扶助費	社会保障制度の一環として、生活保護法などの各種法令に基づいて支払われる経費、及び地方公共団体が単独で行っている住民福祉に要する経費のことをいいます。
	普通会計	公営事業会計以外の会計を総称して一つの会計としてまとめたものです。一般会計の中で公営事業会計に係る収支を経理している場合には、これに係る一切の収支は普通会計から分別して、公営事業会計中の該当会計において経理されたものとして取り扱っています。
	物件費	消耗品などの物品購入費や、光熱水費、委託などに要する経費のことをいいます。

羽生市公共施設白書

発行年月：平成 28 年 3 月

発 行：羽生市

編 集：羽生市 企画財務部 財政課

〒348-8601

埼玉県羽生市東 6 丁目 15 番地

電話 048-561-1121 (代表)

URL <http://www.city.hanyu.lg.jp/>